

船橋市環境基本計画  
平成24年度年次報告書

平成26年2月

船橋市環境部環境保全課

## はじめに

本市は、環境が自然界の微妙な均衡と循環の下に成り立つものであることを認識した上で、環境への負荷が少なく、環境との共生が健全な状態に保たれた「持続可能な社会」の構築を目指して、各種の環境保全の取り組みを総合的かつ計画的に推進してきました。これにより環境保全の取り組みには一定の進展がみられたものの、新たに地球温暖化問題への対応、循環型社会の実現に向けた取り組みの強化、生物多様性の確保に向けた取り組みの推進などが必要となりました。

このような社会経済情勢の変化や環境行政をとりまく状況に対応しながら、多様な環境問題の解決に向けて取り組んで行くため、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間を計画期間とする船橋市環境基本計画を策定しました。

計画では、市民、事業者、市が一体となって環境の保全及び創造に関する施策を推進することにより、人と自然が共生する環境づくりに努め、現在及び将来の市民が健全で良好な環境の恵みを受けられるようにすることを目的としています。また、この目的を実現するための施策を定め、更に、計画の着実な推進を図るため、年度ごとに施策の成果を把握して評価を行い、継続的に見直しを行っていくこととしています。

この報告書は、平成 24 年度における計画の進捗状況の評価を実施し、その結果を年次報告として取りまとめたものです。

# 目 次

第一章 船橋市環境基本計画の進行管理指標及び個別施策の評価について	1
1 施策の基本方針	2
2 評価の対象	3
3 評価方法	3
4 “個別事業”の評価について	3
5 “進行管理指標”の数値目標について	3
第二章 船橋市環境基本計画の進捗状況の評価	9
第1節 安全な生活環境の保全	10
1 大気環境の保全	10
2 水環境の保全	17
3 身近な生活環境の保全	24
第2節 生物多様性の確保	31
1 水辺と緑の保全	31
2 樹林地・農地の保全	36
3 干潟の保全	41
第3節 快適な地域環境の保全	47
1 自然とふれあう場の確保	47
2 良好な生活空間の保全	54
第4節 未来に向けた地球環境の保全	63
1 地球環境の保全	63
2 低炭素社会の形成	86
3 循環型社会の形成	110
第5節 協働による環境保全への取り組み	117
1 環境学習・環境教育の推進	117
2 環境保全活動の推進	125
別表	131

第三章 船橋市環境基本計画の進捗状況の総合的評価	133
1 進行管理指標の状況と評価	134
2 個別施策の実施、進捗状況の評価	135
3 船橋市環境基本計画の進捗状況の総合的評価	136
資料	137

## 第一章

船橋市環境基本計画の進行管理指標

及び個別施策の評価について

# 1 施策の基本方針

船橋市環境基本計画では、望ましい環境像を実現するため、船橋市環境基本計画の第5章「施策の展開」で定めた以下の5つの施策分野をもとに本市の特色を活かした各種の施策を展開しています。なお、施策分野ごとの体系についてはP4～8に記載しています。

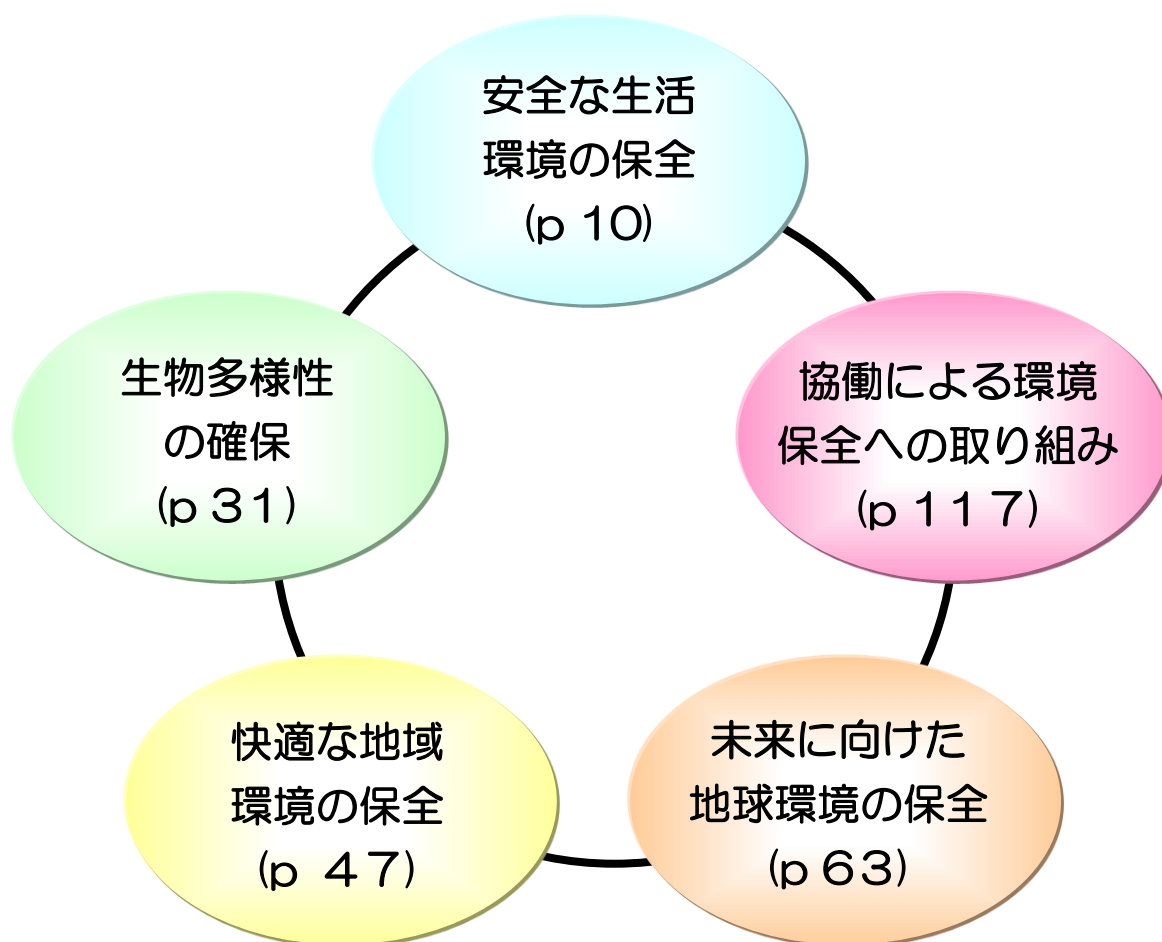


図1 5つの施策分野

## 2 評価の対象

評価の対象は、5つ施策体系(P4～8)の中で掲げた13の基本施策に設定した“**進行管理指標**”と個別施策を支える“**個別事業**”としました。

この報告書は、船橋市環境基本計画の進行管理指標に係る最新のデータ及び個別施策の進捗状況の把握のために、各課を対象として実施した「船橋市環境基本計画施策進捗状況調査」の結果を取りまとめたものです。

## 3 評価方法

基本施策ごとに設定した“**進行管理指標**”については、把握可能な最新のデータを基準年度及び目標年度のデータと比較しています。

また、個別施策を支える“**個別事業**”について、個別事業の担当課に対して自己評価による状況調査を実施し、下記の4段階で評価を行っております。

- 1……施策の実施により、目標・課題を達成・解決した。
- 2……施策は順調に進んでいる。
- 3……施策は実施しているが、遅れがみられる。
- 4……予算上の問題などにより、施策は未実施である。

## 4 “個別事業”の評価について

個別施策ごとに設定している個別事業については、事業ごとの評価を補足するために施策の進捗状況、施策の進捗状況に対するコメント、施策展開上の課題について記載するものとされています。

なお、実施した評価の結果については、船橋市環境審議会に報告し意見を伺うとともに、市ホームページや環境白書などで公開し、市民・事業者等各主体に意見や提言を求め、改善させていくものとしております。

## 5 “進行管理指標”の数値目標について

船橋市環境基本計画の進行管理指標では数値目標が設定していますが、上位計画にあたる船橋市総合計画 実施計画【計画期間：平成25年度～平成27年度】でこれらの数値目標を修正しました。

したがって、平成24年度の年次報告より、船橋市総合計画 実施計画【計画期間：平成25年度～平成27年度】で定められた数値を数値目標として掲げております。

表1 「施策分野 安全な生活環境の保全」の体系

施策分野	基本施策	施策の具体的内容	個別施策（括弧内は個別事業の施策番号）
第1節 安全な生活 環境の保全	1 大気環境 の保全	Ⅰ 大気環境への負荷の低減	固定発生源（工場等）対策の推進（1～4）
			移動発生源（自動車）対策の推進（5～10）
		Ⅱ 大気質の監視と 意識高揚の推進	大気汚染状況の監視（11～15）
			大気汚染防止に向けた情報提供（16）
			自動車運転者への意識高揚の推進（17）
	2 水環境 の保全	Ⅰ 水環境への負荷の低減	生活排水対策の推進（18～24）
			事業所での排水対策の推進（25、26）
			自然系排水対策の推進（27、28）
			水質事故への対応（29）
		Ⅱ 水資源の保全の推進	水質汚濁状況の監視（30）
			地下水の保全（31～33）
			水源の維持・管理（34）
	3 身近な生活 環境の保全	Ⅰ 土壌環境への負荷の低減	節水、水の有効利用（35、36）
			土壌汚染の未然防止対策の推進（37～41）
		Ⅱ 騒音・振動、悪臭、地盤沈下等 の防止対策の推進	土壌汚染対策の実施（42～44）
			騒音・振動、悪臭等の公害防止対策（45～50）
			地盤沈下防止対策（51、52）
		Ⅲ 公害苦情の適正処理、 市民や事業者に対する啓発	生活環境の保全に向けた意識の向上（53）
			公害苦情の適正処理（54）
		Ⅳ 公害の未然防止	市民や事業者の意識高揚と情報提供（55、56）
環境影響評価制度の適正な運用（57）			
		有害化学物質に関する情報の収集、知識の普及（58）	



表2 「施策分野 生物多様性の確保」の体系

施策分野	基本施策	施策の具体的内容	個別施策（括弧内は個別事業の施策番号）
第2節 生物多様性 の確保	1 水辺と緑の保全	Ⅰ 水辺空間・緑地空間の整備	水辺とふれあえる場の整備と意識啓発 (59~63)
			緑とふれあえる場の整備と意識啓発 (64、65)
		Ⅱ 水辺空間・緑地空間のネットワーク化	ビオトープ創りの推進 (66)
			水辺空間・緑地空間のネットワーク化 (67~69)
	2 樹林地・農地 の保全	Ⅰ 動植物の生息環境の確保	動植物の生息環境の確保 (70~73)
			自然保護意識の醸成 (74、75)
		Ⅱ 樹林地・農地の保全	樹林地の保全 (76)
			農地の保全 (77~82)
			市民への情報提供 (83~84)
	3 干潟の保全	Ⅰ 三番瀬の保全・再生と ワイズユース（賢明な利用）の推進	干潟への負荷の抑制 (85、86)
			ワイズユース（賢明な利用）の推進 (87、88)
			海辺のふれあいの推進 (89、90)
			三番瀬のラムサール条約登録 (91)
		Ⅱ 保全・再生に向けた体制の整備	一人ひとりの意識向上の推進 (92、93)
連携・協働による取り組み (94、95)			

表3 「施策分野 快適な地域環境の保全」の体系

施策分野	基本施策	施策の具体的内容	個別施策（括弧内は個別事業の施策番号）
第3節 快適な地域 環境の保全	1 自然とふれあう 場の確保	Ⅰ 自然を体感できる憩いの場の創出	自然を体験できる場の維持・整備 (96~101)
			自然とふれあう活動の推進 (102、103)
			各種イベントの開催と対策 (104~106)
		Ⅱ 公園、緑地の整備、緑化の推進	公園、緑地の整備 (107~111)
			緑化の推進 (112~115)
	2 良好な生活 空間の保全	Ⅰ 良好な景観の創出	良好な景観の形成促進 (116~119)
			啓発活動、情報提供 (120、121)
			自然関係の指定地域の保護 (122)
		Ⅱ 潤いのある都市環境の確保	文化芸術活動の振興 (123~125)
			文化財の保存 (126~130)
			潤いのある都市環境の創造 (131~137)
環境美化の推進 (138~141)			
不法投棄防止対策の強化 (142~144)			

表4 「施策分野 未来に向けた地域環境の保全」の体系

施策分野	基本施策	施策の具体的内容	個別施策（括弧内は個別事業の施策番号）
第4節 未来に向けた地 球環境の保全	1 地球環境 の保全	Ⅰ 地球温暖化防止の推進	温室効果ガスの排出量の削減 (145~147)
			地球温暖化防止に向けた意識の向上 (148~154)
			二酸化炭素の吸収源対策 (155~157)
		Ⅱ オゾン層の保護、 酸性雨対策の継続	オゾン層の保護 (158)
			酸性雨対策 (159~160)
		2 低炭素 社会の形成	Ⅰ 省エネルギーの推進
	事業者に対する意識改革の推進 (164~165)		
	自動車の適正利用、自転車利用の推進 (166~170)		
	省エネルギー設備・機器の普及推進 (171~174)		
	省エネルギー型の建築物の普及推進 (175)		
	Ⅱ 新エネルギー等 の導入の推進		地域特性を生かした新エネルギー等の導入の推進 (176~179)
			温室効果ガスの排出量の少ないエネルギーへの転換等 (180、181)
			理解と意識高揚、情報提供等の推進 (182、183)
	3 循環型 社会の形成	Ⅰ ごみの排出抑制、 資源化の推進	ごみの排出抑制 (184~193)
			資源化の推進 (194~203)
		Ⅱ 産業廃棄物の減量・ 資源化、適正処理	産業廃棄物の減量化・資源化、適正処理 (204~207)

表5 「施策分野 協働による環境保全への取り組み」の体系

施策分野	基本施策	施策の具体的内容	個別施策（括弧内は個別事業の施策番号）
第5節 協働による 環境保全への 取り組み	1 環境学習・ 環境教育の推進	I あらゆる場での環境教育の 推進	自然とふれあう機会の創出 (208~212)
			家庭や学校での環境教育の推進 (213~216)
			事業所での環境教育の推進 (217、218)
			総合的な環境教育の推進 (219~221)
		II 環境情報の提供、環境学習 の場所・機会の整備	環境情報の提供 (222~224)
			環境学習の場所・機会の整備 (225~226)
	2 環境保全 活動の推進	I 一人ひとりの環境保全の 取り組みの推進	市民の取り組みの推進 (227~231)
			事業者の取り組みの推進 (232、233)
			市の取り組みの推進 (234~236)
		II 各種団体等との 連携・協力の推進	人の交流や情報交換による環境保全活動の活 発化 (237~243)

## 第二章

### 船橋市環境基本計画の進捗状況の評価

## 第1節 安全な生活環境の保全

本市では、社会経済活動の活発化とともに人口の集中や産業の集積などが進んだため、大気汚染や河川・海域の水質汚濁など、公害の問題が顕在化してきました。

公害の未然防止のためには、一人ひとりが環境の許容限度や復元力には限界があることを認識するなどの意識改革を進めることが必要です。また、日常生活や事業活動に伴い発生する環境負荷の低減に努め、自然界の健全な物質循環を確保することにより、大気、水、土壌などを良好な状態に保つことが必要です。

本計画では、人の健康や生活環境への被害を及ぼすおそれのある公害の未然防止に努めることにより、安全な生活環境を保全し、未来に受け継いでいくものとします。

### 1 大気環境の保全

#### 【進行管理指標の状況】

表6 大気環境の保全

進行管理指標	基準 (平成 21 年度)	現状 (平成 24 年度)	数値目標	
			中間年度 (平成 27 年度)	目標年度 (平成 32 年度)
市の公用車購入時における低公害車の占める割合 ★1	80.7%	100%	100% (毎年度)	
市内幹線道路交差点での改良整備実績及び達成率 ★2	改良済、暫定改良済 計 22 箇所 49%	改良済、暫定改良済 計 23 箇所 51%	改良済、暫定改良済 計 23 箇所 51%	改良済、暫定改良済 計 24 箇所 53%
その他交差点での改良整備実績及び達成率 ★2	改良済、暫定改良済 計 18 箇所 75%	改良済、暫定改良済 計 20 箇所 83%	改良済、暫定改良済 計 21 箇所 88%	改良済、暫定改良済 計 24 箇所 100%
二酸化窒素の県環境目標値の達成率	70%	75%	80%	100%
浮遊粒子状物質の環境基準の達成率（長期的評価）	一般局：100% 自排局：100%	一般局：100% 自排局：100%	一般局：100% 自排局：100%	
VOC（揮発性有機化合物）排出量	2,310t/年★3	362t/年	1,617t/年	

- ★1 市の環境配慮物品調達方針で定める自動車で、環境に優しい低燃費かつ低排出ガス車です。ただし、特殊自動車などで低公害車に該当しない車両は除きます。
- ★2 市内幹線道路交差点での改良整備実績における対象交差点は、過去に行った交通量調査を基に交差点解析を行い、45 箇所を対象としており、その他の主要な交差点においても 24 箇所を対象としております。
- ★3 VOC の削減割合は、「船橋市揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制のための取組の促進に関する条例」の対象事業者からの排出量を対象とし、削減割合の対象となる基準は平成 12 年度としていることから、基準値欄に平成 12 年度実績値を記載しております。

## 【I 大気環境への負荷の低減】

## ○固定発生源（工場等）対策の推進

個別事業	大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法及び船橋市環境保全条例に基づけばい煙発生施設などの規制の対象とされている施設からのばい煙、揮発性有機化合物、粉じんなどについては、法及び条例による排出基準の遵守徹底を指導します。 1
施策の実施、進捗状況	事業者による自主測定結果の市への報告及び立入検査による測定で遵守を確認し、必要な指導を実施している。
施策の評価	2
コメント	排出量に関するアンケートを行い、規制遵守のための資料として活用している。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	大気環境への負荷の低減のため、より環境への負荷の低い燃料転換を推進していきます。 2
施策の実施、進捗状況	設備更新時に指導を実施している。
施策の評価	2
コメント	平成24年度における市の公用車購入時における低公害車の占める割合は100%である。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	今後耐用年数を迎えて、アスベストを使用した建築物の解体の増加が見込まれるため、解体・処理現場周辺でのアスベスト飛散対策の適正実施を指導します。 3
施策の実施、進捗状況	労働基準監督署及び建築指導課との連携を図り、届出の徹底及び立入検査による飛散防止対策の確認を行い、適正実施を指導している。
施策の評価	2
コメント	大気汚染防止法に基づき届出が必要な作業については、すべてアスベストの養生確認を実施している。
施策展開上の課題	平成25年度に大気汚染防止法が改正され、アスベスト飛散防止に関する内容が変更されたことへの対応が課題である。
施策担当課	環境保全課

個別事業	ごみ焼却施設の適正な運転・管理を継続します。 4
施策の実施、進捗状況	① ISO14001 環境マネジメントシステムを認証取得しており、環境管理マニュアルに基づき環境保全に努め、適正な運転・管理をしている。 ② ・ダイオキシン類の発生抑制 ・炉頂温度管理を徹底する ・一酸化炭素濃度排出基準の遵守 ・ばいじん排出基準の遵守 ・硫黄酸化物濃度排出基準の遵守 ・塩化水素濃度排出基準の遵守 これらすべての項目について目標達成した。
施策の評価	①2 ②1
コメント	②今後も目標達成のために適正な運転・管理を行う。
施策展開上の課題	①今後、清掃工場建替え計画に合わせてISO活動、範囲などの見直しを図る必要がある。
施策担当課	①南部清掃工場 ②北部清掃工場

○移動発生源（自動車）対策の推進

個別事業	公用車については、低公害車の導入を進めます。 5
施策の実施、進捗状況	公用車の新規購入の際は、環境負荷の低減を実現した環境物品等の調達の推進に関する基本方針に基づく適合車両を選出した。
施策の評価	2
コメント	低公害車を7台更新した。
施策展開上の課題	今後、ハイブリッド・電気自動車をはじめとする環境に良いとされる自動車の普及による公用車としての導入、移行について。
施策担当課	管財課

個別事業	市民や事業者における低公害車の普及に向けた情報提供を推進します。また、誘導施策を検討します。 6
施策の実施、進捗状況	国の施策及び自動車業界の販売施策を見守っているが、市独自の普及施策は実施していない。
施策の評価	4
コメント	
施策展開上の課題	自動車単体が日々進化しており、現況に合わせた市独自の施策を実施できていない。
施策担当課	環境保全課



個別事業	自転車利用の推進に向け、駐輪場用地の確保を推進します。 7
施策の実施、進捗状況	京成船橋駅高架下、大神宮下駅高架下については年度内に工事完了。
施策の評価	2
コメント	25年度以降についても、駐輪場用地の確保に努めます。
施策展開上の課題	各鉄道会社の協力。
施策担当課	都市整備課

個別事業	路上駐車や渋滞解消に向け、駐車場の確保を指導します。 8
施策の実施、進捗状況	船橋市建築物における駐車施設の附置等に関する条例により、都市計画によって定められた駐車場整備地区内（船橋駅周辺及び西船橋駅周辺）において、不特定多数の集客が見込まれる店舗、事務所等の特定用途の建築物の建築に際し駐車場の附置を義務付けている。
施策の評価	2
コメント	駐車場整備地区内における特定用途の建築物の建築（新築・改築）に際し、条例に基づき駐車場の附置を適切に行っている。
施策展開上の課題	駐車場整備地区内におけるものである。
施策担当課	都市計画課

個別事業	「船橋市地域公共交通総合連携計画」に基づき、公共交通機関（鉄道・バス）の利用促進に努めます。 9
施策の実施、進捗状況	船橋市地域公共交通総合連携計画で設定された公共交通不便地域のうち、3地区において小型バス等を利用した定時定路線型バスや、4地区でセダン型タクシー車両を使用したデマンド方式による乗り合いタクシーの実証実験を行い、持続可能な公共交通サービスの提供を検討した。 また、バス運行に関し、情報提供システムとしてバスロケーションシステムを導入し、利便性向上を図った。
施策の評価	1
コメント	平成24年度の実証実験では路線バスにおいて延べ320,694人、乗り合いタクシーにおいて延べ2,882人の利用があった。また3年間の実証実験結果をもとに、公共交通不便地域解消へ向けた仕組みを策定した。
施策展開上の課題	「船橋市地域公共交通総合連携計画」に基づく実証実験事業等は平成24年度にて終了し、平成25年度に事業評価を行う。
施策担当課	都市計画課

個別事業	交通流の円滑化や渋滞の解消に向けた道路整備（交差点の立体化、右折レーンの整備等）を推進します。 10
施策の実施、進捗状況	①都市計画道路の整備の推進に努めた。 ②滝不動駅入口交差点（用地取得 1件、踏切拡幅工事 施工中） 大宮神社交差点（暫々定形整備完了）
施策の評価	①2 ②2
コメント	②滝不動駅入口交差点は、平成25年度完了に向け、順調に進んでいる。 大宮神社交差点は、平成24年度で事業完了。
施策展開上の課題	②船橋市総合計画 後期基本計画の実施計画（平成24年度～平成26年度）の目標値設定のあたって、従来の、過去の調査により改良が必要として主要交差点45カ所に加え、交通量の変化により改良が必要になった交差点24カ所の計69カ所の交差点のうち、早期改良が必要な8カ所の交差点を平成32年度までの整備目標に設定した。 平成22年度まで整備済交差点 40カ所 平成32年度まで整備する交差点 8カ所 目標値 48カ所
施策担当課	①街路課 ②道路建設課

## 【Ⅱ 大気質の監視と意識高揚の推進】

### ○大気汚染状況の監視

個別事業	大気汚染防止法に基づく大気質の常時監視を継続し、大気汚染の未然防止に努めます。 11
施策の実施、進捗状況	固定局及び大気測定車により大気質の常時監視を実施している。また、環境監視テレメーターシステムにより、市民への迅速な情報提供を可能としている。
施策の評価	2
コメント	船橋市大気環境情報にて測定結果を確認できる。
施策展開上の課題	一部の測定項目で環境基準を達成していない。
施策担当課	環境保全課

個別事業	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく大気質のダイオキシン類の測定を継続し、公表します。 12
施策の実施、進捗状況	ダイオキシン類対策特別措置法により市内3カ所、4回の調査を実施した。
施策の評価	2
コメント	市内3カ所、4回の調査の結果、全ての測定結果において環境基準(0.6pg - TEQ/m <sup>3</sup> )を満たしていた。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	有害大気汚染物質による汚染実態についての定期的なモニタリング調査を継続し、被害の未然防止に努めます。 13
施策の実施、進捗状況	環境基準が設定されている有害大気汚染物質(ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン)について日の出局、高根台局で測定を実施しているが、すべての項目で環境基準を満たしている。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	過去のデータの活用について検討している。
施策担当課	環境保全課

個別事業	国、県との連携を強化し、化学物質の安全性や環境保全に関する情報、新たな環境汚染物質の情報などの収集に努めます。 14
施策の実施、進捗状況	PRTR法に基づき、千葉県における化学物質の排出量・移動量についての情報提供を受けている。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	県が市町村別の排出量を報告しており、今後の情報提供に向けて活用を検討している。
施策担当課	環境保全課

個別事業	市民、事業者、行政の連携を密にし、情報の共有化や化学物質に対する正しい理解を推進することにより、地域における相互の信頼関係の構築に努めます。 15
施策の実施、進捗状況	HP、広報紙及びメール配信などにより、情報提供を実施している。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	地域パートナーシップ締結についての検討。
施策担当課	環境保全課

○大気汚染防止に向けた情報提供

個別事業	大気汚染や光化学オキシダント発生情報に関する広報・情報提供を推進し、大気汚染防止に向けた意識の向上を図ります。また、インターネット等を活用した広報・情報提供を検討します。 16
施策の実施、進捗状況	HP、広報紙及びメール配信などにより、情報提供を実施している。また、防災無線や市ホームページにより光化学スモッグ注意報等の周知を実施している。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	インターネットや公共放送等を活用した周知の徹底について。
施策担当課	環境保全課

○自動車運転者への意識高揚の推進

個別事業	自動車の利用に際しては、アイドリング・ストップなどのエコドライブを心がけるよう、環境イベントなどを通じて市民と事業者への意識啓発を進めます。 17
施策の実施、進捗状況	広報紙への掲載及び環境フェアにおいて啓発を実施している。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	その他の媒体による周知の検討。
施策担当課	環境保全課

## 2 水環境の保全

### 【進行管理指標の状況の評価】

表7 水環境の保全

進行管理指標	基準 (平成 21 年度)	現 状 (平成 24 年度)	数値目標	
			中間年度 (平成 27 年度)	目標年度 (平成 32 年度)
排水規制に係る立入検査実施率 ★1	42%	38%	43%	50%
BOD の環境基準達成率（河川）★2	100%	100%	100%	
COD の環境基準達成率（海域）★3	75%	75%	100%	
全窒素の環境基準達成率（海域）★3	50%	75%	100%	
全りんの環境基準達成率（海域）★3	0%	0%	100%	
透水性舗装の整備実績	累計 79,398 m <sup>2</sup>	累計 89,429 m <sup>2</sup>	累計 99,909 m <sup>2</sup>	累計 126,700 m <sup>2</sup>

- ★1 水質汚濁防止法に基づく特定事業場（湖沼法のみなし施設を有する事業場を含む：平成21年度末537事業場、平成24年度末550事業場）を対象に行った立入検査の実施率。
- ★2 調査地点については、利用目的等に応じて定められた類型指定されている河川を対象とします。
- BOD の河川調査地点（下記5地点）
    - 海老川 E 類型 八千代橋、さくら橋、八栄橋
    - 真間川 E 類型 柳橋
    - 桑納川 D 類型 金堀橋
- ★3 調査地点については、利用目的等に応じて定められた類型指定されている海域を対象とします。
- COD の海域調査地点（下記4地点）
    - B 類型 船橋2（船橋沖）、海苔漁場
    - C 類型 船橋1（航路A）、航路C
  - 全窒素、全りんの海域調査地点（下記4地点）
    - IV 類型 船橋1（航路A）、船橋2（船橋沖）、航路C、海苔漁場

【I 水環境への負荷の低減】

○生活排水対策の推進

個別事業	「生活排水対策推進計画」に基づき、生活排水対策を推進していきます。 18
施策の実施、進捗状況	環境フェア、親水まつり、福像めぐり及びとよみ福祉まつりにおいて、パネル展示等を行っている
施策の評価	2
コメント	パネル展示等で市民の生活排水に対する意識の向上を図っている。
施策展開上の課題	情報提供の場が限られており、他の手段についても検討している。
施策担当課	環境保全課

個別事業	公共下水道整備事業を推進します。 19
施策の実施、進捗状況	①各年度末における市の人口に対する下水道整備人口の比率を示す普及率は、22年度73.2%、23年度75.1%、24年度76.9%と順調に向上している。 ②公共下水道整備を着実に推進することにより、施策は順調に進んでいる。 ③公共下水道整備事業の推進は順調に進んでおり、普及率も毎年上昇している。
施策の評価	①2 ②2 ③2
コメント	②平成24年度末下水道普及率は約77%である。
施策展開上の課題	②下水道事業は、社会資本整備総合交付金にて実施しているが、近年は、要望どおりの交付金がもらえないことから、効率的な事業の執行が必要である。
施策担当課	①下水道総務課 ②下水道河川計画課 ③下水道建設課

個別事業	東京湾での富栄養化を防止するため、下水処理場における高度処理施設を計画的に整備します。 20
施策の実施、進捗状況	高瀬下水処理場において、平成23年度より水処理第5系列の建設に着手。高度処理施設を導入し、平成28年度より供用開始予定。
施策の評価	2
コメント	平成24年度は予定通りに事業が進行している。
施策展開上の課題	
施策担当課	下水道施設課

個別事業	公共下水道整備区域内の下水道未接続家屋に対する水洗化指導を実施し、下水道への接続を促進します。 21
施策の実施、進捗状況	供用開始後3年経過した下水道の未接続家屋に対し、職員及び水洗化指導業務委託にて水洗化指導を行っている。
施策の評価	2
コメント	継続して水洗化指導が必要であり、評価は難しい。
施策展開上の課題	水洗化指導については、順次実施しているものの、家屋の老朽化、経済的困難等を理由に水洗化に協力いただけない事例が多い。
施策担当課	下水道総務課

個別事業	合併処理浄化槽を設置する場合には、船橋市浄化槽取扱指導要綱に基づいて指導します。 22
施策の実施、進捗状況	船橋市浄化槽取扱指導要綱に基づき指導を行う。
施策の評価	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽法第5条に基づく浄化槽設置届出書の内容と併せて指導を行っている。</li> <li>・宅地開発の事前協議、その他各課ごとの事前協議の際も浄化槽取扱指導要綱に基づき指導を行っている。</li> </ul>
施策展開上の課題	平成24年度より浄化槽取扱指導要綱が改正されたことに伴い、規定が変わった部分があるため、それを周知し指導していく必要がある。
施策担当課	環境衛生課

個別事業	公共下水道整備区域外の地域では、高度処理型合併処理浄化槽設置の普及を図るとともに適正な維持・管理が行われるよう指導・啓発を行います。 23
施策の実施、進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業認可区域外で高度処理型合併処理浄化槽に転換設置される場合に浄化槽設置補助金を交付。</li> <li>・ホームページや地域イベントなどで浄化槽の適正な維持・管理について普及・啓発を行う。</li> </ul>
施策の評価	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助要件を満たした高度処理型合併処理浄化槽への転換設置で申請のあったものに対し補助金を交付し、高度処理型合併処理浄化槽への転換の推進を図っている。</li> <li>・ホームページでの紹介や、地域イベントでパンフレットや堆肥（浄化槽汚泥を再利用して作成したもの）を配布するなどして、浄化槽の適正な維持・管理についての啓発を行っている。</li> </ul>
施策展開上の課題	平成24年度からは新設浄化槽に対しての補助が廃止になっており、対象となる補助基数が極端に減少した。今後の補助政策については、有効な啓発方法を検討していく必要がある。
施策担当課	環境衛生課



個別事業	家庭でできる浄化対策の実践など、水環境の保全意識の高揚に向けて、国、県、関係団体と連携して効果的な情報提供等を推進します。 24
施策の実施、進捗状況	環境フェア、親水まつり、福像めぐり及びとよみ福祉まつりにおいて、啓発物品の配布及びパネル展示を行っている。また、流域の自治体と協働して啓発事業を行っている。
施策の評価	2
コメント	主に生活排水対策についてのパネル展示を実施している。
施策展開上の課題	情報提供の場が限られており、他の手段についても検討している。
施策担当課	環境保全課

○事業所での排水対策の推進

個別事業	水質汚濁防止法、湖沼水質保全特別措置法、ダイオキシン類対策特別措置法及び船橋市環境保全条例に基づく特定施設からの排水については、立入検査を行うなど、法令の遵守徹底を指導し、汚濁負荷を低減します。 25
施策の実施、進捗状況	事業場に立ち入り検査を行い指導を行っている。
施策の評価	2
コメント	排水基準違反のおそれがある事業場については立ち入り回数を増やしている。
施策展開上の課題	職員の数が限られているため、立ち入り件数を増加させるのは難しい。
施策担当課	環境保全課

個別事業	小規模事業場に対して、指導を行います。 26
施策の実施、進捗状況	排水基準がない小規模事業場についても施設・書類等の確認のため立ち入り検査を行っている。
施策の評価	2
コメント	例年、一定数の立ち入りを実施している。
施策展開上の課題	職員の数が限られているため、立ち入り件数を増加させるのは難しい。
施策担当課	環境保全課

○自然系排水対策の推進

個別事業	市街地における雨水浸透施設（透水性舗装など）の整備により、雨水が直接河川に流出しないようにします。 27
施策の実施、進捗状況	①歩道に透水性舗装を施工し、雨水の浸透に努めた 透水性舗装面積 1,930㎡ ②透水性舗装整備面積 3,653㎡
施策の評価	①2 ②3
コメント	②ゾーン30整備事業や踏切拡幅事業を優先させたため、歩道整備延長はクリアしたが、透水性舗装整備面積の整備目標の4,300㎡には届かなかった。
施策展開上の課題	
施策担当課	①街路課 ②道路建設課



個別事業	多自然川づくりなど、浄化作用を期待できる河川改修を推進します。 28
施策の実施、進捗状況	二重川改修延長：L=2,410m（平成18年度事業完了） 木戸川改修延長：L=791.2m（平成24年度末） 多自然川づくり改修延長：L=3,201.2m（整備対象延長：L=5,110m） 進捗率：62.6%
施策の評価	2
コメント	多自然川づくりで川面が増え、また、ヨシ等の発生により浄化作用が進み、清らかで安全な川づくりが期待できる。
施策展開上の課題	
施策担当課	河川整備課

### ○水質事故への対応

個別事業	有害物質や油等の流出の未然防止を徹底するとともに、被害を最小限に抑えるための対応を行います。 29
施策の実施、進捗状況	緊急事態対応マニュアルを定め、オイルマット等機材を適正に管理運用を行っている。
施策の評価	2
コメント	平成24年度は、2件の油の流出があったが、マニュアルに基づき関係機関と連携して油の拡散を防止した。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

### ○水質汚濁状況の監視

個別事業	水質汚濁防止法及びダイオキシン類対策特別措置法に基づく公共用水域の監視を継続的に実施し、調査結果を市民にわかりやすくお知らせします。 30
施策の実施、進捗状況	ホームページ・広報等で周知を行っている
施策の評価	2
コメント	ホームページでは、公共用水域における水質・底質状況について詳細な情報を提供している。
施策展開上の課題	公共用水域の調査結果は情報量が多く、市民への新しい周知方法について検討している。
施策担当課	環境保全課

【Ⅱ 水資源の保全の推進】

○地下水の保全

個別事業	有害物質の地下浸透禁止の徹底について指導します。 31
施策の実施、進捗状況	事業場等に立ち入り指導を行っている
施策の評価	2
コメント	水質汚濁防止法及び船橋市環境保全条例の規定に基づき、適切に実施している。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	市街地における雨水浸透施設（透水性舗装など）の整備により、地下水の涵養を図ります。 32
施策の実施、進捗状況	①歩道には透水性舗装を施工し、雨水の浸透に努めた。 透水性舗装面積 1,930㎡ ②透水性舗装整備面積 3,653㎡
施策の評価	①2 ②3
コメント	②ゾーン30整備事業や踏切拡幅事業を優先させたため、歩道整備延長はクリアしたが、透水性舗装整備面積の整備目標の4,300㎡には届かなかった。
施策展開上の課題	
施策担当課	①街路課 ②道路建設課

個別事業	雨水の地下浸透を促進するための雨水浸透枡の設置について支援します。 33
施策の実施、進捗状況	平成25年度より補助金の増額をするため、補助金制度を見直している。
施策の評価	3
コメント	他市の補助制度等を調査し、見直しを進めている。
施策展開上の課題	要綱の整理・改訂と予算の確保を要する。
施策担当課	下水道河川管理課

## ○水源の維持・管理

個別事業	樹林地や農地の水源涵養機能を重視し、これらの保全に努めます。 34
施策の実施、進捗状況	①船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例に基づき指定樹林の助成を行うとともに、新規の指定樹林の指定ならびに新規の市民の森の借地、現在借地箇所の継続を行っています。 ②県民の森の林地借上げ、森林整備養成講座、工作教室、森林ボランティア事業、を実施している。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①平成24年度は5緑地を都市計画決定しました。また、良好な樹林地の寄付、及び開発に伴う緑地の帰属を受けています。 ②森の適切な整備や施業が行われ、森の水資源涵養機能の維持につながっている。
施策展開上の課題	①近年指定樹林等の解除や、宅地開発による樹林の伐採が多く見られる。 ②市内森林整備は、ボランティアに頼ることが多いので、森林整備養成講座やボランティア支援事業を特に続けていくことが重要と考えられる。
施策担当課	①公園緑地課 ②農水産課

## ○節水、水の有効利用

個別事業	貯留施設を使用した雨水の有効利用の方法を検討します。 35
施策の実施、進捗状況	平成25年度より雨水貯留タンク型や浄化槽転用型の雨水貯留タンクについても補助対象とするため、現行の補助制度を見直している。
施策の評価	4
コメント	他市の補助制度等を調査し、見直しを進めている。
施策展開上の課題	要綱の整理・改訂と予算の確保を要する。
施策担当課	下水道河川管理課

個別事業	水資源の保全のため、市民向けの出前講座などで節水や水の有効利用への理解を深めます。 36
施策の実施、進捗状況	市役所内環境保全課のカウンター前に雨水貯留タンクを展示し、水の有効利用について啓発を行っている。
施策の評価	2
コメント	生活排水等の意識の向上のためにパネル展示等も実施している。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

### 3 身近な生活環境の保全

#### 【進行管理指標の状況と評価】

表8 身近な生活環境の保全

進行管理指標	基準 (平成 21 年度)	現状 (平成 24 年度)	数値目標	
			中間年度 (平成 27 年度)	目標年度 (平成 32 年度)
幹線道路に面する地域の騒音環境 基準達成状況(昼夜間基準値以下)	83.3%	89.1%	達成率の向上(毎年度)	
公害苦情件数 ★	28 件	13 件	減少させます(毎年度)	

★ 典型 7 公害(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)への公害苦情件数。

#### 【I 土壌環境への負荷の低減】

##### ○土壌汚染の未然防止対策の推進

個別事業	有害物質の地下浸透禁止の徹底について指導を継続します。 37
施策の実施、進捗状況	事業場等に立ち入り調査を実施し指導を行っている。
施策の評価	2
コメント	水質汚濁防止法及び船橋市環境保全条例に基づき、適切に実施している。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	農業生産者団体を通じて講習会などを実施し、農薬の適正使用・適正処理を指導します。 38
施策の実施、進捗状況	土壌汚染の未然防止対策では、肥料については、土壌診断を行い過剰な施肥にならないよう指導を行っている。また、農薬については、農業生産者団体を通じて講習会を行っている。
施策の評価	2
コメント	24 年度も農業生産者団体に対し、講習会を開催。使用農薬の取り扱いについてさらなる意識の向上がはかられた。
施策展開上の課題	農業生産者団体に加入していない生産者への知らしめについて、遅れがみられる点。
施策担当課	農水産課、農業センター

個別事業	土砂等の埋立て等を行う事業者に対し、安全基準の遵守を指導します。 39
施策の実施、進捗状況	500㎡以上の土地に土砂等を搬入し盛土、又は埋立て等を行う際の許可時において、搬入土壌、及び事業の安全性等の指導を行い、土壌の汚染及び災害の発生の未然防止を図った。
施策の評価	2
コメント	今後も指導を継続していくことにより、土壌環境の負荷の低減を図っていく。
施策展開上の課題	
施策担当課	産業廃棄物課

個別事業	土壌汚染が発生した場合のリスク等について知識の普及を図ります。 40
施策の実施、進捗状況	ホームページ及びパンフレット等で周知を行っている。
施策の評価	2
コメント	平成24年度は土壌汚染に関する苦情は報告されていない。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	土壌中のダイオキシン類の概況を把握するため、調査を継続し公表します。 41
施策の実施、進捗状況	調査を実施し、ホームページ・広報にて公表している。
施策の評価	2
コメント	調査の結果、平成24年度は土壌のダイオキシン類濃度は環境基準を満たしている。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

### ○土壌汚染対策の実施

個別事業	土壌汚染対策法の規定に基づき、汚染のおそれがある土地については土地所有者等に調査の実施を徹底させます。 42
施策の実施、進捗状況	法律及び開発協議において指導を行っている。
施策の評価	2
コメント	平成24年度は、土壌汚染対策法に基づく新たな要措置区域等の指定はありませんでした。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	土壌汚染が判明し、健康被害のおそれのある場合には汚染の除去や拡散防止措置等の対策を指導します。 43
施策の実施、進捗状況	土壌汚染対策法に基づき土地所有者に指導を行っている。
施策の評価	2
コメント	平成24年度は、土壌汚染対策法に基づく新たな要措置区域等の指定はありませんでした。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	土壌汚染状況の調査が適切に行われるよう有害物質使用等の履歴がある土地の情報を整備します。 44
施策の実施、進捗状況	関係書類を整理し公開をしている
施策の評価	2
コメント	ホームページに土壌汚染対策法に基づく要措置区域等の状況を公開している。また、詳細については市役所内環境保全課で台帳の閲覧できる。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

## 【Ⅱ 騒音・振動、悪臭、地盤沈下等の防止対策の推進】

### ○騒音・振動、悪臭等の公害防止対策

個別事業	事業者への騒音規制法、振動規制法、船橋市環境保全条例の遵守を徹底させます。 45
施策の実施、進捗状況	届出時の指導及び立入検査により遵守の徹底を行っている。
施策の評価	2
コメント	事業者の騒音、振動に関する意識の向上を図っている。
施策展開上の課題	指導は行っているが、騒音・振動は感覚に大きく依存するため、苦情が発生する場合のその対処方法について。
施策担当課	環境保全課

個別事業	事業者に対して、事業や建設作業における環境配慮型の機器（低騒音型の機械など）の導入を要請します。 46
施策の実施、進捗状況	開発行為許可申請時及び建設作業届出時に適切な指導を実施している。
施策の評価	2
コメント	低騒音型などの環境配慮機器はかなり普及している。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	道路への低騒音舗装の導入を推進し、道路交通騒音の低減を図ります。 47
施策の実施、進捗状況	①排水性舗装を施工し、道路交通騒音の低減に努めた。 ②該当ありません。
施策の評価	①2
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	①街路課 ②道路建設課

個別事業	道路交通騒音・振動などの測定を継続し、現状把握に努めます。 48
施策の実施、進捗状況	法の規定に基づき、的確に実施している。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	要請限度を超過している路線の道路管理者に改善要請を実施しているが、相手方の計画に依存している。
施策担当課	環境保全課

個別事業	事業活動に起因する近隣騒音や悪臭を防止するため、商工団体などに対し、指導を行うよう協力を要請します。 49
施策の実施、進捗状況	①開発行為許可申請時及び建設作業届出時に適切な指導を実施している。 ②農家に対する悪臭等の苦情が来た場合に、農家に対し指導を行う場合はあるが、基本的には行っていない。
施策の評価	①2 ②4
コメント	①事業者の騒音、振動に関する意識の向上を図っている。 ②実施していない。
施策展開上の課題	①指導は行っているが、騒音・振動は感覚に大きく依存するため、苦情が発生する場合のその対処方法について。 ②船橋市の農業は都市農業であり、農家はまわりの住民に対し、臭い等、十分な配慮をしなければならない状況であり、農家もその事を十分理解していると思われる。しかしながら、神経質な市民から苦情もあり、農家としては最大限努力をしているので指導を行うのが難しい場合がある。
施策担当課	①環境保全課 ②農水産課



第2章第1節3 身近な生活環境の保全

個別事業	深夜営業を行う事業者への意識改革を推進し、店舗からの営業騒音の未然防止を図ります。 50
施策の実施、進捗状況	船橋市環境保全条例により深夜営業についての規制している。また、事業者向けパンフレットを配布するなどの施策を実施している。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	深夜営業を把握することは難しく、苦情が発生して初めて対応している。
施策担当課	環境保全課

○地盤沈下防止対策

個別事業	地下水揚水量の規制を継続し、地盤沈下の再発防止に努めます。 51
施策の実施、進捗状況	県・市条例で規制を行っています。また、揚水の使用量等の報告を受け指導を行っている
施策の評価	2
コメント	船橋市宅地開発事業に関する要綱にて、開発区域内の水源に地下水を使用を禁止している。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	地下水の涵養に関する知識の普及、広報・情報提供を進めます。 52
施策の実施、進捗状況	①パンフレット等で情報を提供している。 ②ビジュアルボードや秋季啓発イベントにて、パネルや模型の展示及びパンフレットを配布し、雨水浸透柵の普及活動を行った。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①宅地開発協議時に事業者にも地下水の涵養をお願いしている。 ②啓発活動を行っているが、流域によって活動内容にバラツキがある。
施策展開上の課題	②各流域において、均等な啓発活動の取り組みを検討。
施策担当課	①環境保全課 ②下水道河川計画課

○生活環境の保全に向けた意識の向上

個別事業	騒音・振動、悪臭などに関する広報・情報提供を推進し、公害防止に向けた意識の向上を図ります。 53
施策の実施、進捗状況	開発行為許可申請時及び建設作業届出時に事業者に対して指導を実施している。
施策の評価	3
コメント	
施策展開上の課題	市民への騒音・振動、悪臭に関する情報提供が課題である。
施策担当課	環境保全課



## 【Ⅲ 公害苦情の適正処理、市民や事業者に対する啓発】

## ○公害苦情の適正処理

個別事業	市民の相談や関係機関との連絡調整に努め、公害苦情を受け付けたときの現状の確認、関係者への調査や指導など、適正な対応を行います。 54
施策の実施、進捗状況	現地調査の徹底などにより状況に応じた対応を実施している。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	騒音、振動、悪臭に関する公害苦情は感覚に大きく依存するため、解決が難しいケースがある。
施策担当課	環境保全課

## ○市民や事業者の意識高揚と情報提供

個別事業	家庭生活や事業活動が周囲に迷惑を及ぼさないよう、住民・事業者一人ひとりの意識の高揚を図ります。 55
施策の実施、進捗状況	苦情が発生した場合は、現地調査の徹底などにより状況に応じた対応を実施している。また、パンフレット等で情報提供を行っている。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	騒音や振動に関する公害苦情は感覚に大きく依存するため、解決が難しいケースがある。
施策担当課	環境保全課

個別事業	近隣関係をめぐる苦情の解決のため、生活マナーの向上に向けた情報提供を実施します。 56
施策の実施、進捗状況	未実施である。
施策の評価	4
コメント	環境新聞「エコふなばし」等で広く市民に呼びかけることを検討。
施策展開上の課題	施策について他市の事例など、そのあり方について研究している。
施策担当課	環境保全課

## 【IV 公害の未然防止】

### ○環境影響評価制度の適正な運用

個別事業	環境影響評価制度を活用し、環境汚染の未然防止を図ります。 57
施策の実施、進捗状況	環境影響評価制度に基づき、環境影響評価書の縦覧を行うとともに、市民説明会を開き意見を募った。
施策の評価	2
コメント	法令に基づき、知事からの依頼により実施している。
施策展開上の課題	特になし。
施策担当課	環境保全課

### ○有害化学物質に関する情報の収集、知識の普及

個別事業	PRTR 制度を活用し、市内に登録された特定化学物質の種類や排出量の把握、化学物質による環境へのリスクの把握に努めます。 58
施策の実施、進捗状況	未実施である。
施策の評価	4
コメント	
施策展開上の課題	県が市町村別の排出量を報告しており、今後の情報提供に向けて活用を検討している。
施策担当課	環境保全課

## 第2節 生物多様性の確保

本市では、雑木林や斜面林、水辺環境などの自然が残され、市民の森などとして保全が図られていますが、広範囲にわたって都市化・宅地化が進行し、樹林地や農地の減少、耕作放棄地の増加などにより生物多様性を育む環境が失われつつあります。

自然を保全し生物多様性を確保するためには、生物多様性の保全の基本的事項を定めた生物多様性地域戦略の策定の検討を進めるとともに、損なわれた自然を回復するには長い時間を要することを正しく認識した上で、残された貴重な自然を適切に保護・利用することが必要となっています。また、新たな水辺や緑などを積極的に創出することにより、質の高い自然環境の確保に努めることが求められています。

本計画では、生物多様性を確保するため、水辺や緑といった貴重な自然を活かし、人と自然が共生するまちづくりを進め、良好な自然環境を未来に受け継いでいくものとします。

### 1 水辺と緑の保全

#### 【進行管理指標の状況と評価】

表9 水辺と緑の保全

進行管理指標	基準 (平成 21 年度)	現 状 (平成 24年度)	数値目標	
			中間年度 (平成 27 年度)	目標年度 (平成 32 年度)
多自然川づくり改修延長	2,527m	3,201m	5,110m ★	未定

★多自然川づくり改修延長根拠（中間年度以降の数値目標は未定）。（二重川 2,410m、木戸川 2,700m）

【 I 水辺空間・緑地空間の整備】

○水辺とふれあえる場の整備と意識啓発

個別事業	河川改修にあたっては、自然を活かした水辺空間の創出を推進します。 59
施策の実施、進捗状況	二重川改修延長：L=2,410m（平成18年度事業完了） 木戸川改修延長：L=791.2m（平成24年度末） 多自然川づくり改修延長：L=3,201.2m（整備対象延長：L=5,110m） 進捗率：62.6%
施策の評価	2
コメント	二重川については、ピオトープの核となるワンドの設置により水辺空間を創出しております。木戸川については、今後中州を設けて、鳥類、水生植物が生息、生育できる場を復元します。
施策展開上の課題	多自然川づくりは、人の手を入れないで自然による川づくりを行っている。そのため、雑草の繁茂等維持管理上における利用者の理解と保全のための意識の向上を図る必要がある。
施策担当課	河川整備課

個別事業	堤防や河川敷（高水敷）に遊歩道や緑地などの整備を行うことで水辺空間としての利用を推進します。 60
施策の実施、進捗状況	二重川改修延長：L=2,410m（平成18年度事業完了） 木戸川改修延長：L=791.2m（平成24年度末） 多自然川づくり改修延長：L=3,201.2m（整備対象延長：L=5,110m） 進捗率：62.6%
施策の評価	2
コメント	二重川については、市民が堤防（管理用通路）を散策路として、多数の地元の人に利用されている。木戸川については、今後、管理用通路を開放する予定でいる。また、河川改修完了後は、人々が自然とふれあえる広場や休憩施設を整備する。
施策展開上の課題	自然とふれあえる拠点整備ゾーンについて、整備方針が決まっているので、今後具体化に向けての検討が必要である。
施策担当課	河川整備課

個別事業	水辺での散策などのレクリエーション活動を広報等に掲載することにより水辺空間の利用促進を図ります。 61
施策の実施、進捗状況	各流域協議会で作成した流域マップを配布し、水辺空間の利用促進を図っている。
施策の評価	2
コメント	啓発活動を行っているが、流域によって活動内容にバラツキがある。
施策展開上の課題	各流域において、均等な啓発活動の取り組みを検討。
施策担当課	下水道河川計画課

個別事業	水辺での学習活動など、水辺の利用を通じて水環境への関心を高め、水辺空間の保全のための意識の向上を図ります。 62
施策の実施、進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動団体等に水質測定用器具の貸し出しを行っている。</li> <li>海辺（ふなばし三番瀬海浜公園）での三番瀬生き物さがしや三番瀬クリーンアップを通じて保全意識の向上を図っているが、平成24年度は大震災の影響により中止した。</li> </ul>
施策の評価	2
コメント	東日本大震災による影響が続いている。海浜公園における立ち入りの制限がなくなれば復活したい。なお、平成25年度においては、海浜公園への立ち入りが解除したため、三番瀬の生き物さがし、三番座クリーンアップを実施した。
施策展開上の課題	参加者の安全の確保は事業の実施を検討する上で大切な要素である。
施策担当課	環境保全課

個別事業	河川及び周辺部の清掃・草刈を行い、清潔で快適な空間づくりに努めます。 63
施策の実施、進捗状況	草刈においては、東部・西部のエリアに分け、年間スケジュールにより実施している。また、清掃においても適宜実施している。
施策の評価	3
コメント	要望が多く、対応が遅れる箇所がある。
施策展開上の課題	市街化調整区域にも、住宅系建物が建設されることにより、従前、実施しなかった箇所も苦情等により、実施する状況となっており、また、予算についても、確保しづらい状況である。
施策担当課	下水道河川管理課

### ○緑とふれあえる場の整備と意識啓発

個別事業	市民の森について市民への周知を図り、利用を推進します。 64
施策の実施、進捗状況	市ホームページに市民の森に関する情報（開設年月日、所在地、面積、休憩所、解説等）を提供している。
施策の評価	2
コメント	市民の森は、緑地の保全とともにその利用も兼ねる制度であり、主に樹林に覆われたおおむね5,000m <sup>2</sup> 以上の土地について所有者と借地契約（10年間）を結び施設の整備を市が行ない市民に開放している森です。平成2年度からスタートし、現在7箇所の「市民の森」が開設されています。
施策展開上の課題	借地の地権者の高齢化などにより、買取要望に対応する必要がある。
施策担当課	公園緑地課

個別事業	自然歩道・緑道・遊歩道などの整備について検討します。 65
施策の実施、進捗状況	開放型緑地の整備を推進中であり、平成24年度は三咲5丁目緑地の整備を行いました。
施策の評価	2
コメント	平成24年度末 ・都市緑地 107箇所 34.89 ha
施策展開上の課題	市民の安全が確保できる緑地の確保(借地も含む)が必要である。
施策担当課	公園緑地課

## 【Ⅱ 水辺空間・緑地空間のネットワーク化】

### ○ビオトープ創りの推進

個別事業	身近に自然を体験できる場所として、学校などでのビオトープ創りを支援します。 66
施策の実施、進捗状況	学校で設けているビオトープは現在、小学校9校、中学校1校、高等学校1校である。各学校の実態に応じて教材として活用している。指導課では学習での活用方法について支援している。
施策の評価	2
コメント	学校ビオトープの教育活動上の活用は順調である。
施策展開上の課題	ビオトープでは適切な管理維持が困難な面があることから、学習に適したビオトープ創りについて支援をしていく。
施策担当課	指導課

### ○水辺空間・緑地空間のネットワーク化

個別事業	水（水辺空間）と緑（緑地空間）のネットワーク化を推進し、動植物の生息に適した環境の形成を図ります。 67
施策の実施、進捗状況	平成23年度については、北部アンデルセン環境軸のアンデルセン公園内の自然体験ゾーンの整備を行ったが、平成24年度については未実施である。
施策の評価	4
コメント	アンデルセン公園内自然体験ゾーンは、湿性植物や水生昆虫などが観察できる散策路および田植えや稲刈り、生き物の観察会などのイベントが開催される棚田を整備している。
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

個別事業	水辺空間・緑地空間のネットワーク化に際しては、これらをつなぐ遊歩道の整備についても検討します。 68
施策の実施、進捗状況	①多自然川づくり改修延長：L=3,201.2m（平成24年度末） （整備対象延長：L=5,110m） 進捗率：62.6% ②未実施である
施策の評価	①2 ②4
コメント	①木戸川整備事業では、多自然川づくりとして、遊歩道の整備も進めている。 ②・平成24年度末 遊歩道 2箇所 ・街路樹の補植については、適時実施している。
施策展開上の課題	①環境基本計画の中間年度である平成27年度以降の整備箇所が決まっておらず、現在検討中。
施策担当課	①下水道河川計画課 ②公園緑地課

個別事業	水辺空間・緑地空間の広域的な整備に向けて、県や近隣市、関係機関などとの調整・検討を進めます。 69
施策の実施、進捗状況	・平成22年度より、三番瀬の再生に係る共通の話題について、県と地元4市が連携・協力して取り組んでいくための情報交換会が開催されている。（平成24年度開催回数：2回） ・海老川調節池について、庁内の担当課の確認を行った。
施策の評価	3
コメント	・千葉港港湾行政船橋市域連絡調整会議や海老川調節池に関する県との会議については、平成24年度は開催されなかった。
施策展開上の課題	・水辺空間・緑地空間の広域的な整備については、県が主体となった事業が多く、調査・検討活動を行うにあたり、県の意向と調整を図る必要がある。
施策担当課	政策企画課



## 2 樹林地・農地の保全

### 【進行管理指標の状況と評価】

表10 樹林地・農地の保全

進行管理指標	基準 ★1	現状 (平成22～24 年度の平均)	数値目標	
			中間年度 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
自然観察会等の参加延人数 ★2	841 人	583 人	900 人以上 (毎年度)	

★1 自然観察会等の参加延人数は、年度ごとに変動が大きいため、基準値は平成19～21年度の平均としております。

★2 自然観察会等の具体的内容

- ・環境保全課が実施する自然散策会、三番瀬生き物調べ、セミのぬけがら調査
- ・公民館で自然観察会に関する講座

### 【I 動植物の生息環境の確保】

#### ○動植物の生息環境の確保

個別事業	環境共生まちづくり条例により、環境に配慮した開発指導を行います。 70
施策の実施、進捗状況	①環境共生まちづくり条例第3条第3項に基づき、開発指導に伴う樹木の伐採や水辺や草地等の動植物の生息空間の破壊、オープンスペースの喪失、水循環の阻害などの自然環境を悪化させる影響に対し植栽、人工構造物の緑化等を行い配慮するよう地区環境形成計画書の提出及び4条協議締結を求めている。 ②「環境共生まちづくり条例」に基づいて指導を行っている。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①平成24年度地区環境形成計画書 届出件数：28件（そのうち協議締結件数：4件） ②目的に即した指導をしている。
施策展開上の課題	①アスファルト舗装について、透水性舗装への変更は耐久性やコストの問題で協力を得ることが難しい場合がある。 ②指導する職員の育成について。
施策担当課	①都市計画課 ②宅地課



個別事業	生態系における相互作用に配慮しながら、動植物の生息環境の保全に努めます。 71
施策の実施、進捗状況	動植物の生育環境の確保について、指針となる生物多様性地域戦略策定の準備を進めた。
施策の評価	2
コメント	基礎資料となる自然環境調査を実施し、その後、生物多様性戦略の策定を行うこととなる。なお、自然環境調査については、平成25年度秋季より実施している。
施策展開上の課題	市域内の自然環境調査の結果や地域戦略に基づき、個別具体的な取り組みを行うこととなる。
施策担当課	環境保全課

個別事業	市内における動植物の分布や生息状況を把握するため自然環境調査を行います。 72
施策の実施、進捗状況	自然環境調査の実施に向けて、スケジュール案の作成および担当者の研修を行った。
施策の評価	2
コメント	調査の準備は進めており、平成25年度秋季より市内16カ所で自然環境調査を実施している。
施策展開上の課題	自然環境調査を実施する体制を構築するための専門職員の確保が課題である。
施策担当課	環境保全課

個別事業	外来種の分布・生息状況などを把握し、既存の生態系に著しい影響が生じないように対策を講じます。 73
施策の実施、進捗状況	①市民から依頼があった時に、アライグマ捕獲用ワナを貸し出す業務を実施している。 ②環境保全課の依頼によるアライグマ用捕獲罠の貸出 ③環境保全課が貸出したワナにアライグマが捕獲された場合、環境保全課と調整の上、動物愛護センターに連絡する。
施策の評価	①2
コメント	①捕獲ワナの貸し出しにより、1頭の捕獲実績をあげた。
施策展開上の課題	③農水産課では、外来種の分布・生息状況の把握は行っていない。
施策担当課	①環境保全課 ②衛生指導課 ③農水産課

○自然保護意識の醸成

個別事業	貴重な動植物の保護や外来生物の防除等に対する理解や協力を得るための情報提供を推進します。 74
施策の実施、進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度より自然環境調査を実施し、平成28年度末に生物多様性地域戦略を策定することが決定した。</li> <li>外来生物（アライグマ）の防除について、エコふなばし等で情報提供している。</li> </ul>
施策の評価	3
コメント	実施予定の事業は計画段階である。
施策展開上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期の計画であり、遅滞なく進めることが望ましい。</li> <li>市民への速やかな調査結果の公表およびわかりやすい情報提供が課題である。</li> </ul>
施策担当課	環境保全課

個別事業	市民参加型の自然観察会などにより、日常生活と自然環境との関わりや自然保護の必要性について意識の高揚に努めます。 75
施策の実施、進捗状況	<p>①例年、三番瀬において自然観察会を実施するが、ふなばし三番瀬海浜公園の工事の影響により中止となった。</p> <p>②別表1、2参照（P139、P140）</p>
施策の評価	①4 ②2
コメント	<p>①東日本大震災による影響が続いていた。なお、平成25年度より三番瀬の自然観察会を再開している。</p> <p>②特になし。</p>
施策展開上の課題	<p>①屋外イベントは、天候に左右されやすく、開催延期も難しい。また現職員数では開催回数の増加も困難である。</p> <p>②公民館での実施事業により、現代的課題や地域住民のニーズに左右される。</p>
施策担当課	①環境保全課 ②社会教育課

【Ⅱ 樹林地・農地の保全】

○樹林地の保全

個別事業	買い取りや借り上げなどにより、良好な樹林地の保全を計画的に進めます。 76
施策の実施、進捗状況	平成24年度においては、圃場として利用していた三咲5丁目緑地を緑地として新規に借地しました。また、緑地を1件寄付受納しました。
施策の評価	2
コメント	平成25年度については、約2000㎡の緑地の寄付を受けています。
施策展開上の課題	市民1人当たりの都市公園面積は増加傾向にあるが、全国的には低い値である。
施策担当課	公園緑地課

## ○農地の保全

個別事業	優良農地の確保のため、担い手農家による賃貸借など農地の流動化を促進し、経営規模拡大などを図ります。 77
施策の実施、進捗状況	優良農地の確保のために、認定農業者へ農地の斡旋をしている。また、市単補助事業により農地の流動化を推進している。
施策の評価	2
コメント	認定農業者による、農地の流動化が徐々にではあるが増加している。
施策展開上の課題	高齢により離農者が、年々増加しているため、優良農地の維持が困難になってきている。
施策担当課	農水産課

個別事業	耕作放棄地を担い手農家などに斡旋し、農地の集積を図ります。 78
施策の実施、進捗状況	農業経営実態調査により、耕作放棄地の確認をし、担い手農家への斡旋を行っているが契約まで至っていない。
施策の評価	3
コメント	候補地が、貸し手農家の条件に合わない為難しい。
施策展開上の課題	第一に、農地として使用できるか、確認し出来るだけ貸し借りの契約を実施するよう努める。
施策担当課	農水産課

個別事業	耕作放棄地をふるさと農園や学童農園などに活用し、耕作放棄地の解消を図ります。 79
施策の実施、進捗状況	現在、9校の学校が学童農園推進事業を活用し活動をしている。
施策の評価	2
コメント	学童農園として活用しているため、耕作放棄地の減少に寄与している。
施策展開上の課題	農業委員、農業士が、学童農園の支援をしているが、負担が掛かり過ぎている。
施策担当課	農水産課

個別事業	耕作放棄地や休耕田をふるさと農園として活用するなど、農業を体験できる場として整備し、農業への理解を深めます。 80
施策の実施、進捗状況	現在、13園のふるさと農園を開園している。利用希望者も多く順調に推移している。
施策の評価	2
コメント	ふるさと農園として活用しているため、耕作放棄地の減少に寄与している。
施策展開上の課題	地主と行政の役割分担の整理。農園の管理や事務が煩雑であり、今後業務委託等を検討する必要がある。
施策担当課	農水産課

個別事業	営農組織や認定農業者の育成等により、農業の担い手を育成支援します。 81
施策の実施、進捗状況	現在、認定農業者が25年3月末で232名を承認している。認定農業者の中で農地の規模拡大をする生産者に利用権設定により推進している。
施策の評価	2
コメント	市単の補助事業を活用し、担い手の育成に支援している。
施策展開上の課題	高齢が進んでいる中で、担い手及び後継者の育成を充実することが必要と思われる。
施策担当課	農水産課

個別事業	農産物の「地産地消」を推進し、地域の「食」と「農」と「環境」を守ります。 82
施策の実施、進捗状況	船橋の農水産物の地産地消を推進するため地場野菜即売会や梨の味自慢コンテスト、農水産祭を開催している。
施策の評価	2
コメント	市の農水産物を知ってもらう良い機会であり成果も上がっている。
施策展開上の課題	地場野菜即売会の場所や農水産祭の内容を工夫し、さらに地産地消を推進できるよう努める。
施策担当課	農水産課

○市民への情報提供

個別事業	樹林地の公益的機能に対する理解を深めるため、情報提供を行い意識の向上を図ります。 83
施策の実施、進捗状況	市ホームページにて市民の森、都市公園のデータおよび新しくできる公園についての情報等を提供中です。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	その他の媒体による周知の検討。
施策担当課	公園緑地課

個別事業	農地の保全や農業振興に対する市民の理解を深めるため、情報提供を行い意識の向上を図ります。 84
施策の実施、進捗状況	船橋市広報にて、農業についての理解が得られるよう情報提供をしている。
施策の評価	3
コメント	農業についての理解が得られるよう広報誌での情報提供は行っているところですが、それ以外の媒体での情報提供は実施していないので、多少の情報提供不足はあります。
施策展開上の課題	情報化社会の中で近年色々な情報配信の方法がある中で、すべての市民に情報をいきわたらせることは難しいが、今後検討したい。
施策担当課	農水産課

### 3 干潟の保全

#### 【進行管理指標の状況と評価】

表11 干潟の保全

進行管理指標	基準	現状 (平成22～24 年度の平均)	数値目標	
			中間年度 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
三番瀬クリーンアップ参加延人数	1,100人 ★1	中止 ★2	1,100人以上(毎年度)	
ガンカモ類の個体数 ★3	37,772羽 ★4	25,182羽	2万羽以上維持(毎年度)	
ミヤコドリの個体数 ★5	164羽 ★6	225羽	100羽以上維持(毎年度)	

- ★1 三番瀬クリーンアップ参加延人数は、年度ごとに変動が大きいため、基準値は平成20～22年度の平均としております。
- ★2 平成24年度は東日本大震災の影響により中止となりました。
- ★2 ラムサール条約の国際的な基準5(定期的に2万羽以上の水鳥)を満たすものです。
- ★3 平成19年～21年の冬の観測(全国ガンカモ一斉調査)、3ヶ年の平均。
- ★4 ラムサール条約の国際的な基準6(水鳥の1種または1亜種の個体群で、個体数の1%を満たすミヤコドリ100羽以上)を満たすものです。
- ★5 平成19年～21年の冬・春の観測(モニタリングサイト1000 シギチドリ類調査)、3ヶ年の平均。

#### 【I 三番瀬の保全・再生とワイズユース(賢明な利用)の推進】

##### ○干潟への負荷の抑制

個別事業	富栄養化の原因である窒素・リンの流入を削減し、流入河川の水質改善など負荷の低減に努めます。 85
施策の実施、進捗状況	県及び農水産課と協力し、指導を行っている
施策の評価	2
コメント	河川の水質状況は改善傾向にある。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	清掃活動の継続的な実施により、ごみのない清潔な環境の維持に努めます。 86
施策の実施、進捗状況	三番瀬クリーンアップを平成12年より実施してきたが、ふなばし三番瀬海浜公園の工事の影響により中止となった。
施策の評価	4
コメント	東日本大震災による影響が続いていた。なお、平成25年度においては、三番瀬クリーンアップを再開した。
施策展開上の課題	屋外イベントは、天候に左右されやすく、開催延期も難しい。
施策担当課	環境保全課

### 〇ワイスユース（賢明な利用）の推進

個別事業	漁業や観光業など、干潟のさまざまな恵みを活用し、地域の活性化につなげます。 87
施策の実施、進捗状況	①漁業体験・講座を通じ市民に三番瀬の恵みを体感してもらうほか、直売所・移動販売車の導入による船橋産水産物のPRに努め、地域の活性化を図っている。 ②・潮干狩りを実施し、来場者の確保、地域の活性化を図った。 ・「ふなばし朝市」で干潟で獲れるアサリ、ホンビノス貝、海苔を活用（販売）して地域の活性化を図った。 ③平成14年度に策定された「海を活かしたまちづくり」の行動計画において三番瀬の活用が掲げられており、毎年度、各課の事業の進捗状況を確認し、結果を庁内に公表している。
施策の評価	①2 ②2 ③3
コメント	①順調に進んでいる。 ②継続実施していく。 ③事業によって、完了したもの・実施中のもの・進捗が遅れているものがそれぞれみられる。
施策展開上の課題	①漁業体験については参加者に偏りがある。直売所・移動販売車による船橋産水産物のPRは一部成果がみられるが、水産物の消費低下もあり困難。 ③事業によっては着手に至っていないものがある。
施策担当課	①農水産課 ②商工振興課 ③政策企画課



個別事業	過度の利用や自然への過大な負荷を避けるため、利用ルールの確立に努めます。 88
施策の実施、進捗状況	①三番瀬クリーンアップの中でワイズユースについて周知してきたが、東日本大震災の影響によりクリーンアップは中止した。 ②千葉県が平成23年4月に策定した「千葉県三番瀬再生計画（新事業計画）」に利用ルールづくりの取り組みが示されたことから、その実施状況を注視している。 ③公園内に「利用者の遵守事項」、「海のルールを守りましょう」などの看板を設置して利用者への啓発を図った。 ④ふなばし三番瀬海浜公園沖には、船橋市漁業協同組合の漁業権があるので、同公園に「海のルールを守りましょう」の啓発看板の設置や広報誌・ホームページ等でルールを守るよう啓発している。
施策の評価	①4 ②4 ③3 ④2
コメント	①東日本大震災による影響が続いていた。なお、平成25年度においては、三番瀬クリーンアップを再開した。 ②・県はルールづくりに向けた情報収集中であり、具体的なルール策定には至っていない。 ・県の動向を注視しつつ、本市においてもワイズユースについて検討していく。 ③継続実施していく。 ④進展しているが、モラルを守らない人が増加している。
施策展開上の課題	①屋外イベントは、天候に左右されやすく、開催延期も難しい。 ②三番瀬が複数市にまたがることから、県が主体となり、各市や関連団体等と調整をとりながら推進していく必要がある。 ③千葉県、船橋市、関係機関と連携して推進する必要がある。 ④日本人の他に外国人でもモラルを守らない人が増加しており、どのようにモラルを守るよう訴えていくかが課題。また、平成25年9月より「ホンピノスガイ」が漁業権に加わり、そちらの啓発についても今後の課題。
施策担当課	①環境保全課 ②政策企画課 ③商工振興課 ④農水産課

### ○海辺のふれあいの推進

個別事業	ふなばし三番瀬海浜公園を活用し、海や海洋生物、鳥などの自然と親しみ、自然を学び、憩える場としての整備・充実を図ります。 89
施策の実施、進捗状況	・「海浜に暮らす仲間たち」（干潟入口）や「三番瀬コーナー」（余熱棟ロビー）を設置し、海の生物などの紹介を行った。 ・「三番瀬写真展」を実施し、貴重な干潟「三番瀬」のPRを図った。
施策の評価	2
コメント	継続実施していく
施策展開上の課題	
施策担当課	商工振興課

個別事業	三番瀬をより身近に感じてもらうため、自然への理解を深め、自然を体験できる場としての利用推進を図ります。 90
施策の実施、進捗状況	ふなばし環境フェア、三番瀬クリーンアップ、三番瀬生き物さがしを活用して、三番瀬の紹介を行っているが、クリーンアップと生き物さがしはふなばし三番瀬海浜公園の工事により中止した。
施策の評価	4
コメント	東日本大震災による影響が続いていた。なお、平成25年度においては、三番瀬クリーンアップを再開した。
施策展開上の課題	屋外イベントは、天候に左右されやすく、開催延期も難しい。
施策担当課	環境保全課

○三番瀬のラムサール条約登録

個別事業	県や近隣市と連携を図りながら、三番瀬のラムサール条約登録を目指します。 91
施策の実施、進捗状況	①三番瀬専門家会議や三番瀬ミーティングに出席し、情報収集を図っている。 ②平成22年度より、三番瀬の再生に係る共通の話題について、県と地元4市が連携・協力して取り組んでいくための情報交換会が開催されている。(平成24年度開催回数：2回) ③進展なし。
施策の評価	①3 ②3 ③4
コメント	①具体的な進展はない ②会議開催により三番瀬に関する情報共有は図られているが、ラムサール条約登録に係る検討は進展しなかった。 ③近隣市との連携不足や、利害関係者等の意見不一致により施策は未実施。
施策展開上の課題	①合意形成が進まない ②・三番瀬が複数市にまたがることから、県が主体となり、各市や関連団体等と調整をとりながら推進していく必要がある。 ・漁場再生への影響など、関連団体と協議が必要。 ③近隣市との連携不足や利害関係者等の意見の調整をどこの機関が実施するのかという点が明確でなく、調整に関わっていた人も異動などにより連携がとれなくなっている。また、登録についての主体が誰なのかははっきりせず、行政が信頼を得られる体制作りになっていない。
施策担当課	①環境保全課 ②政策企画課 ③農水産課



## 【Ⅱ 保全・再生に向けた体制の整備】

## ○一人ひとりの意識向上の推進

個別事業	市民参加による講演会や学習会、自然観察会などを通じて、三番瀬の保全・再生に向けた理解を深めます。 92
施策の実施、進捗状況	ふなばし環境フェア、三番瀬クリーンアップ、三番瀬生き物さがしを活用して、三番瀬の紹介を行っているが、クリーンアップと生き物さがしはふなばし三番瀬海浜公園の工事により中止した。
施策の評価	2
コメント	環境フェア、環境パネル展で展示を行った。クリーンアップ、生き物さがしも今後、再開を予定している。
施策展開上の課題	海浜公園内に展示スペースを確保するとともに、観察会等での活用が望まれる。
施策担当課	環境保全課

個別事業	干潟の重要性について、わかりやすい情報提供や効果的な広報などを行い、保全に向けた意識の高揚に努めます。 93
施策の実施、進捗状況	ふなばし環境フェア、三番瀬クリーンアップ、三番瀬生き物さがしを活用して、三番瀬の紹介を行っているが、クリーンアップと生き物さがしはふなばし三番瀬海浜公園の工事により中止した。
施策の評価	2
コメント	環境フェア、環境パネル展で展示を行った。クリーンアップ、生き物さがしも今後、再開を予定している。
施策展開上の課題	海浜公園内に展示スペースを確保するとともに、観察会等での活用が望まれる。
施策担当課	環境保全課

○連携・協働による取り組み

個別事業	三番瀬の保全・再生に向けて、行政、市民、漁業者、事業者、NPOなど各種団体が参加し、適切な分担のもとに協働して取り組みます。 94
施策の実施、進捗状況	市民、事業者、環境団体と協働して三番瀬クリーンアップを平成12年から実施しているが、平成24年度は東日本大震災の影響により中止した。
施策の評価	4
コメント	東日本大震災による影響が続いていた。なお、平成25年度においては、三番瀬クリーンアップを再開した。
施策展開上の課題	屋外イベントは、天候に左右されやすく、開催延期も難しい。
施策担当課	環境保全課

個別事業	三番瀬の保全・再生に向けて、県や近隣市、関係機関などと広域的に連携を図りながら取り組みます。 95
施策の実施、進捗状況	①三番瀬専門家会議や三番瀬ミーティングに出席し、情報収集に努め今後の事業の参考とした。 ②・専門的な見地から評価・助言を得ることを目的とした「三番瀬専門家会議」、地元住民・漁業関係者・環境保護団体などから広く意見を聴くことを目的とした「三番瀬ミーティング」が千葉県が主体となって開催されている。(平成24年度開催回数：各2回) ・県と地元4市が連携・協力して取り組んでいくための三番瀬情報交換会も平成24年度に2回開催されている。
施策の評価	①2 ②2
コメント	②各会議において、三番瀬に係る各種調査結果や各市の状況等の情報共有が図れた。
施策展開上の課題	①特になし。 ②三番瀬が複数市にまたがることから、県が主体となり、各市や関連団体等と調整をとりながら推進していく必要がある。
施策担当課	①環境保全課 ②政策企画課

## 第3節 快適な地域環境の保全

本市では、高度成長期における急速な人口増加と都市化により、市街地における公園・緑地の整備や都市景観への対応などが十分に行われていない状況にあります。

このため、今後は市街地における公園・緑地の整備と緑の創出、まちなみ景観の形成、環境美化の推進など、潤いのある都市環境の創造を進めることにより、清潔で快適な生活基盤の整備に努める必要があります。

本計画では、地域住民が生活していく上での満足度の向上に努め、誰もが安らげる環境を創出することにより、快適な地域環境を保全し、未来に受け継いでいくものとします。

### 1 自然とふれあう場の確保

#### 【進行管理指標の状況と評価】

表12 自然とふれあう場の確保

進行管理指標	基準 (平成 21 年度)	現状 (平成 24 年度)	数値目標	
			中間年度 (平成 27 年度)	目標年度 (平成 32 年度)
潮干狩り入場者数 ★1	139,722 人	64, 852 人	維持	
市民一人当たりの都市公園面積	2.84 m <sup>2</sup> /人	2.97 m <sup>2</sup> /人	5.0 m <sup>2</sup> /人 ★2 (当面の目標水準)	

★1 潮干狩り入場者数は、有料入場者数（開催期間は4月～6月）を示します。

潮干狩り入場者数の基準値は、平成 21 年度の実績値です。

★2 船橋市緑の基本計画では、目標水準を 9.0 m<sup>2</sup>/人としていますが、当面の目標水準としては 5.0 m<sup>2</sup>/人です。

【I 自然を体感できる憩いの場の創出】

○自然を体験できる場の維持・整備

個別事業	市民に親しまれる港づくりの一環として、海岸部での親水公園の活用を促進します。また、民間団体と協働して、漁師町という特徴を活かしたフィッシャーマンズワーフなどのような施設整備により、市民が楽しみ憩える場の検討を進めます。 96
施策の実施、進捗状況	①未実施である。 ②親水公園の活用、フィッシャーマンズワーフなどの施設整備については「海を活かしたまちづくり・行動計画」に定めており、その進捗状況については毎年調査を行っている。
施策の評価	①4 ②3
コメント	②親水公園（県施設）を含めた沿岸部の整備については、港湾管理用地の活用を含めて、県に要望を行っている。
施策展開上の課題	①・実現性について調査・研究する必要がある。 ・市有地がないために事業の展開が困難。 ②漁業関係者や周辺の飲食店等と連携を図り、地元食材や海を活かした回遊性の創出について検討を行っていく。
施策担当課	①商工振興課 ②政策企画課

個別事業	自然性の高い地域を緑地や市民の森として整備し、森林浴・バードウォッチングなど自然とふれあえる場として提供します。 97
施策の実施、進捗状況	平成24年度においては三咲5丁目緑地を整備し、緑地内に遊歩道やベンチの設置を行いました。
施策の評価	2
コメント	平成24年度末 ・都市緑地 107箇所 34.89 ha ・市民の森 7箇所 7.84 ha
施策展開上の課題	借地の地権者の高齢化などにより、買取要望に対応する必要がある。
施策担当課	公園緑地課

個別事業	水辺において、市民が身近に自然を体験できる憩いの場の整備を検討し、自然に親しめる地域づくりを進めます。 98
施策の実施、進捗状況	多自然川づくり改修延長：L=3,201.2m（平成24年度末） （整備対象延長：L=5,110m） 進捗率：62.6%
施策の評価	2
コメント	木戸川整備事業では、多自然川づくりとして、市民が身近に自然を体験できるような整備を進めている。
施策展開上の課題	環境基本計画の中間年度である平成27年度以降の整備箇所が決まっておらず、現在検討中。
施策担当課	下水道河川計画課

個別事業	既存の野外レクリエーション施設を適正に維持します。また、新たな野外レクリエーション施設の整備について検討します。 99
施策の実施、進捗状況	公園・緑地施設の維持管理を随時行うと共に、公園長寿命化計画策定を行っています。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

個別事業	市民が気軽に野外レクリエーションに親しむことのできる施設として、アンデルセン公園の整備を進め、利用者の増加と利便性の向上を図ります。 100
施策の実施、進捗状況	平成24年度は「花の城ゾーン」におけるトイレ及び連絡橋の施設整備を行っています。
施策の評価	2
コメント	平成25年度以降についても拡張整備を実施している。
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

個別事業	アンデルセン公園や県民の森を中心に、散歩道の整備などを行い、自然を体験できるネットワークの形成を図ります。 101
施策の実施、進捗状況	平成24年7月にアンデルセン公園内の自然体験ゾーンを拡張しました。
施策の評価	2
コメント	自然体験ゾーンは、湿性植物や水生昆虫などが観察できる散策路および田植えや稲刈り、生き物の観察会などのイベントが開催される棚田を整備している。
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

### ○自然とふれあう活動の推進

個別事業	自然とふれあえる場所、施設についての案内板や標識などを設置し、PRします。 102
施策の実施、進捗状況	平成24年7月にオープンしたアンデルセン公園内自然体験ゾーンには、案内板を設置している。
施策の評価	3
コメント	必要に応じて設置の検討をしている。
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

個別事業	アンデルセン公園やふなばし三番瀬海浜公園の利用推進を図り、小動物たちとのふれあい、自然環境を学ぶ自然体験などを推進します。 103
施策の実施、進捗状況	①平成24年7月にアンデルセン公園内の自然体験ゾーンを拡張しました。 ②野鳥観察会や三番瀬の素材を生かした工作教室（シーサイドアトリエ）などのイベントを実施した。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①自然体験ゾーンは、湿性植物や水生昆虫などが観察できる散策路および田植えや稲刈り、生き物の観察会などのイベントが開催される棚田を整備している。 ②継続実施していく
施策展開上の課題	②・ふなばし三番瀬海浜公園のあり方の検討。 ・公園前の人工海浜の所有者である千葉県企業庁の事業収束に伴い、その後の管理・活用について千葉県、市川市、船橋市で協議を行う必要がある。
施策担当課	①公園緑地課 ②商工振興課

○各種イベントの開催と対策

個別事業	自然観察会などの体験イベントを開催し、自然とふれあう機会の増加を図ります。 104
施策の実施、進捗状況	毎年、運動公園、アンデルセン公園、行田公園を会場にセミのぬけがら調査を行い、自然とふれあう機会を設けている。
施策の評価	1
コメント	定員を超える応募があり、事業に対する関心が高い。
施策展開上の課題	会場における収容制限や協力してくれる講師の数から、受講者に定員を設けている。
施策担当課	環境保全課

個別事業	自然散策マップの更新や自然散策会などの各種イベントを実施していきます。 105
施策の実施、進捗状況	自然散策マップは作成後10年以上が経過し、現状とそぐわなくなったので配布を中止した。自然観察会も中止している。 自然環境調査を実施したのち、その成果を散策マップとして公表する予定である。
施策の評価	4
コメント	自然散策マップをリニューアルし、散策会を実施したい。
施策展開上の課題	前回の自然散策マップの作成者が高齢化しており、同様の方法で作成することが困難である。
施策担当課	環境保全課



個別事業	アンデルセン公園や農業センター、県民の森、キャンプ場、周辺の果樹園などの連携を進め、観光の振興を図ります。 106
施策の実施、進捗状況	①未実施である。 ②未実施である。 ③県民の森での、市民との工作教室の実施や、農業センターの開放デーの実施等の市民が自然とふれあう場のイベント等を実施している。
施策の評価	①4 ②4 ③2
コメント	③県民の森や農業センター等で、それぞれの施設の特色を活かしたイベントを開催し、市民に対し少しでも自然に触れ合う機会を提供している。
施策展開上の課題	①アンデルセン公園内でのイベントは随時行っていますが、周辺の果樹園などとの連携は行っていません。 ②・観光施設として、駐車場等の施設整備が必要。※アンデルセン公園除く。 ・各施設の連携。 ・魅力あるイベントの検討。 ③この周辺の果樹園については、基本的に観光農園ではなく、生産のための果樹園であるため、観光農園の要素（なし狩り等）は将来的にも難しい。
施策担当課	①公園緑地課 ②商工振興課 ③農水産課

## 【Ⅱ 公園、緑地の整備、緑化の推進】

### ○公園、緑地の整備

個別事業	市街地部における公園、緑地の計画的な整備に努めます。 107
施策の実施、進捗状況	平成24年度は三山6丁目公園、芝山2丁目高芝公園、三咲5丁目緑地の整備を行ったほか、民間の宅地開発時に公園等の整備を指導しています。
施策の評価	2
コメント	・平成25年度は、2つの公園の整備を実施しています。 ・平成24年度末 都市公園面積 182.70 ha
施策展開上の課題	近年、宅地開発による樹林の伐採が多く見られる。
施策担当課	公園緑地課

個別事業	市民の意向を踏まえた身近な公園づくり、町会委託制度の充実などにより、市民参加による公園管理について検討します。 108
施策の実施、進捗状況	平成24年度は公園緑地等の管理を自治会・町会に354箇所を委託しています。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	公園管理に参加する市民の高齢化。
施策担当課	公園緑地課

第2章第3節1 自然とふれあう場の確保

個別事業	「船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例」及び「船橋市環境共生まちづくり条例」に基づく緑地の確保に努めます。 109
施策の実施、進捗状況	新規の指定樹林・指定樹木の指定ならびに指定樹林等の所有者への助成を行うとともに開発時に公園・緑地の確保を指導しています。
施策の評価	2
コメント	平成24年度 宅地開発に伴う緑化協定締結実績 件数 112件 緑地面積 54,441㎡ 植栽本数 113,613本
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

個別事業	市内に残された貴重な緑として、斜面緑地の保全に努めます。 110
施策の実施、進捗状況	緑地の維持管理を行うとともに、開発に伴う緑地の帰属を受けています。また、緑地を恒久的なものとするために小室1号緑地ほか3緑地を新規に都市計画決定しました（斜面緑地は2緑地）。また、緑地を1件寄付受納しました。
施策の評価	2
コメント	平成24年度に追加された都市計画緑地 ・小室1号緑地 約0.70 ha（斜面緑地） ・小室2号緑地 約0.26 ha（斜面緑地） ・小室3号緑地 約0.77 ha（樹林地） ・西船4丁目緑地 約0.19 ha（樹林地）
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

個別事業	公園、緑地の整備にあたっては、ビオトープとしての機能など、生物の生息空間の確保にも配慮します。 111
施策の実施、進捗状況	未実施である。
施策の評価	4
コメント	ビオトープの定義に基づいた公園や緑地の整備を実施していない。
施策担当課	公園緑地課



## ○緑化の推進

個別事業	「船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例」及び「船橋市環境共生まちづくり条例」に基づき、市街地や道路沿道における緑化を推進します。 112
施策の実施、進捗状況	街路樹の補植・管理を行うとともに、開発時に公園・緑地の確保を指導しています。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

個別事業	街路樹の整備や公園の緑化修景による緑の街並みづくりを推進します。 113
施策の実施、進捗状況	公園・緑地・街路樹の剪定、消毒、枯損木伐採等を行っています。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	落ち葉や消毒時等の周辺住民への配慮および市民の理解向上。
施策担当課	公園緑地課

個別事業	市街地において、住民の緑化の意識高揚を図ることを目的としたイベント等を実施します。 114
施策の実施、進捗状況	例年春と秋の年二回、花と緑のジャンボ市を開催しています。
施策の評価	2
コメント	苗木・草花の即売、緑の相談・体験コーナー等を実施している。
施策展開上の課題	花と緑のジャンボ市の出展者および来場者数の減少傾向について。
施策担当課	公園緑地課

個別事業	市内の健全な民有樹木等を指定樹林制度を活用し、緑の保全に努めます。 115
施策の実施、進捗状況	平成24年度の指定樹林・指定樹木の追加はありませんでした。
施策の評価	3
コメント	健全に生育している樹木等のうち、樹容が美観上特にすぐれている独立樹木、樹林及び生垣を指定樹木等に指定している。
施策展開上の課題	近年、指定樹林等の解除や宅地開発による樹林の伐採が多く見られる。
施策担当課	公園緑地課

## 2 良好な生活空間の保全

### 【進行管理指標の状況と評価】

表13 良好な生活空間の保全

進行管理指標	基準 (平成 21 年度)	現状 (平成 24 年度)	数値目標	
			中間年度 (平成 27 年度)	目標年度 (平成 32 年度)
風致地区指定面積	508.3ha	508.3ha	維持	

### 【 I 良好な景観の創出】

#### ○良好な景観の形成促進

個別事業	「船橋市景観計画」に基づき、良好な景観の形成を進めます。 116
施策の実施、進捗状況	船橋市景観計画及び船橋市景観条例を平成22年3月31日に告示、公布し、同年7月1日より施行しており、ある一定規模以上の開発行為、建築物について景観に配慮した計画とするため景観法第16条により届出を求めている。
施策の評価	2
コメント	平成24年度届出件数：62件
施策展開上の課題	市全域が景観計画区域であることから、建築物の建築、開発行為等に対して届出対象の要否に限らず指導が必要である。
施策担当課	都市計画課

個別事業	「船橋市宅地開発事業に関する要綱」に基づき、良好なまちなみの創出に向けた宅地開発事業の指導を行います。 117
施策の実施、進捗状況	①「船橋市宅地開発事業に関する要綱」に基づいて指導を行っている。 ②都市景観に配慮したまちづくりを宅地開発事業を行おうとする事業者と協議し、良好な景観の形成を図るための配慮事項を計画に盛り込む。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①目的に即した指導をしている。 ②景観法第16条の届出対象行為に満たない物件であっても、第13条に基づき景観への配慮について指導し配慮事項及び関係図面を提出してもらっている。
施策展開上の課題	①指導する職員の育成について ②船橋市宅地開発事業に関する要綱の適用対象事業以外の事業の対応の検討が必要である。
施策担当課	①宅地課 ②都市計画課

個別事業	「船橋市環境共生まちづくり条例」に基づき、土地の造成や建築物の建築などに際して景観への配慮について指導を行うことにより、良好な景観の形成に努めます。 118
施策の実施、進捗状況	環境共生まちづくり条例第4条「地区環境形成計画書」の協議、条例第5条「土地の区画形質の変更に関する届出」、条例第13条「都市景観に配慮したまちづくり」について配慮事項を提出するよう事業者に対し、協力を求めている。
施策の評価	2
コメント	平成24年度土地の区画形質の変更に関する届出件数：0件
施策展開上の課題	市全域が景観計画区域であることから、建築物の建築、開発行為等に対して届出対象の要否に限らず指導が必要である。
施策担当課	都市計画課

個別事業	「屋外広告物法」及び「船橋市屋外広告物条例」に基づき、違反屋外広告物の除却などを行うことにより、景観の保全に努めます。 119
施策の実施、進捗状況	屋外広告物条例に違反している広告物は、道路上や公共施設等に放置されている場合、簡易除却を実施し良好な景観の維持や公衆に対する危害の防止を図っている。この簡易除却は休日、祝日、年末年始を除く毎日実施。 JR船橋駅、JR西船橋駅、JR津田沼駅周辺の違反広告物について関係機関（所轄の警察署、葛南土木事務所並びに東京電力、市道路管理者等）の協力を仰ぎ違反屋外広告物を掲出している事業主等に対して自主的に撤去すること、今後違反広告物の掲出を行わないこと等の違反広告物に対する啓発活動を実施。
施策の評価	2
コメント	平成24年度実施状況 JR船橋駅周辺：2回 JR西船橋駅周辺：2回 JR津田沼駅周辺：2回
施策展開上の課題	屋外広告物法、船橋市屋外広告物条例に基づく違反屋外広告物の除却等を行っているが、張り紙、はり札、立て看板、のぼり旗等の違反掲出が後を絶たない。広告主、屋外広告業者への啓発活動を検討。
施策担当課	都市計画課

○啓発活動、情報提供

個別事業	良好な景観の形成及び景観資源の保全に対する市民、事業者の理解と協力に向けて広報・啓発活動を強化します。 120
施策の実施、進捗状況	景観重要建造物の指定にあわせ、広報、ホームページ等で意見募集をかけ、景観資源に対する市民の理解を図った。
施策の評価	2
コメント	必要に応じて内容の変更等、対応をしている。
施策展開上の課題	ホームページ以外の啓発方法の検討も必要である。
施策担当課	都市計画課

個別事業	景観資源の活用に向けて、パンフレットやホームページなどによる広報を推進します。 121
施策の実施、進捗状況	景観重要建造物の指定について、ホームページに掲載することにより広報を行っている。
施策の評価	2
コメント	必要に応じて内容の変更等、対応をしている。
施策展開上の課題	ホームページ以外の啓発方法の検討も必要である。
施策担当課	都市計画課

○自然関係の指定地域の保護

個別事業	風致地区などの適正な保護に努めます。 122
施策の実施、進捗状況	風致地区内での開発行為等について、随時指導を行っています。
施策の評価	2
コメント	風致地区指定面積 508.3 ha
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

【Ⅱ 潤いのある都市環境の確保】

○文化芸術活動の振興

個別事業	文化芸術活動の振興に努めます。 123
施策の実施、進捗状況	主催事業については、文化団体との協働。 共催事業については、文化団体への支援。 併せて、多くの後援をすることにより振興に努めている。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	文化課

個別事業	良質な文化芸術活動の発表機会を、より一層充実させます。 124
施策の実施、進捗状況	市民ギャラリー、茶華道センターの月曜開館の実施により、発表の機会が増加した。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	文化課

個別事業	多様な文化芸術情報の提供を、より一層図ります。 125
施策の実施、進捗状況	情報提供するための様々な媒体があるが、活かしきれていない
施策の評価	3
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	文化課

### ○文化財の保存

個別事業	地域における文化財の適正な保存に努めます。 126
施策の実施、進捗状況	指定文化財及び未指定文化財、並びに埋蔵文化財に対しての多くの調査を実施し、適正な保存に努めた。
施策の評価	1
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	文化課

個別事業	市内の文化財の調査をすすめ、貴重な文化財については新たに指定します。 127
施策の実施、進捗状況	徳川家康寄進状、徳川将軍朱印状等の船橋大神宮が所蔵する貴重な社宝の調査を実施し、市文化財に指定すべく市文化財審議会と共に調査研究を重ねた。
施策の評価	1
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	文化課

個別事業	各地域に伝わる歴史的遺産、郷土芸能、伝統行事などの文化財への関心を高め、将来への継承に向けた意識の高揚を図ります。 128
施策の実施、進捗状況	法典公民館開館記念に伴う「法典の歴史と文化財展」、「太宰治と船橋展」(東図書館)、「船橋の大神宮展」等多くの展示等を実施した。
施策の評価	1
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	文化課

個別事業	博物館・資料館などの充実により、文化財とふれあう機会の拡充を図ります。 129
施策の実施、進捗状況	耐震化診断を終え、耐震化工事が必要となったため予算要求し、また併せて展示室の改修、エレベータ設置工事を行う予定である。
施策の評価	2
コメント	今後とも施策の達成に向けて努力する。
施策展開上の課題	耐震化等各工事の必要性・緊急性を内外に十分に説明し、必須予算の確保を図ることが必要。
施策担当課	郷土資料館

個別事業	地域の文化・歴史とふれあうことができる冊子やマップなどを作成します。 130
施策の実施、進捗状況	冊子等の作成は行っていないが広報紙等を活用し、多くの文化財に関する情報を市民に提供した。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	文化課

○潤いのある都市環境の創造

個別事業	河川や海の特性を活かした散歩道や親水空間の整備を進め、水辺とふれあえる場を増やします。 131
施策の実施、進捗状況	①多自然川づくり改修延長：L=3,201.2m（平成24年度末） （整備対象延長：L=5,110m） 進捗率：62.6% ②平成23年度については、北部アンデルセン環境軸のアンデルセン公園内の自然体験ゾーンの拡張整備を行ったが、平成24年度については未実施である。 ③未実施である。
施策の評価	①2 ②4 ③4
コメント	①木戸川整備事業では、多自然川づくりとして、市民が身近に自然を体験できるような整備を進めている。 ②アンデルセン公園内自然体験ゾーンは、湿性植物や水生昆虫などが観察できる散策路および田植えや稲刈り、生き物の観察会などのイベントが開催される棚田を整備している。
施策展開上の課題	①環境基本計画の中間年度である平成27年度以降の整備箇所が決まってなく、現在検討中。 ③・実現性について調査・研究が必要である。 ・市有地がないために事業の展開が困難。
施策担当課	①下水道河川計画課 ②公園緑地課 ③商工振興課



個別事業	樹林地や水辺と既に整備されている公園や散歩道の連絡により、緑のネットワークの形成を推進します。 132
施策の実施、進捗状況	平成23年度については、北部アンデルセン環境軸のアンデルセン公園内の自然体験ゾーンの拡張整備を行ったが、平成24年度については未実施である。
施策の評価	4
コメント	アンデルセン公園内自然体験ゾーンは、湿性植物や水生昆虫などが観察できる散策路および田植えや稲刈り、生き物の観察会などのイベントが開催される棚田を整備している。
施策担当課	公園緑地課

個別事業	公園、緑地の整備、学校や公共施設の緑化を進めます。また、植樹、花壇の整備などにより、市街地部に花や緑を増やします。 133
施策の実施、進捗状況	①平成24年度は新規公園2つ、緑地1つを整備し、ほか開発に伴う公園・緑地の帰属を受けています。また、花いっぱい助成金制度により、花の苗などの代金を助成しているほか、市の花であるヒマワリの種を配布しました。 ②船橋小学校に屋上緑化を実施している。
施策の評価	①2 ②2
コメント	
施策展開上の課題	②樹木の管理には、剪定等の費用がかさむため、予算の確保が必要である。
施策担当課	①公園緑地課 ②施設課

個別事業	魅力的な道路づくりのため、街路樹の整備などを推進し、美しい都市景観の創出に努めます。 134
施策の実施、進捗状況	都市計画道路3・4・20号線に低木を植栽し、都市景観の創出に努めた。 ヒラドツツジ 353本
施策の評価	3
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	街路課

個別事業	建物の屋上や壁面の緑化などにより、都市内における緑の創出を図ります。 135
施策の実施、進捗状況	屋上や壁面緑化に対する助成等はありませんが、船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例、環境共生まちづくり条例の特例として、屋上や壁面を緑化した場合に、当該面積(またはその一部)を緑地設置面積と見なしています。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

個別事業	放置自転車の整理、撤去などを推進し、歩行者の通行の安全確保を図ります。 136
施策の実施、進捗状況	平成24年度については、合計429回、12,794台の 放置自転車を撤去し、歩行者等の安全確保に努めました。
施策の評価	2
コメント	25年度以降も継続していきます。
施策展開上の課題	放置禁止区域の拡張。
施策担当課	都市整備課

個別事業	バリアフリーに配慮した道路整備を図り、誰もが行き交うことのできるやさしいまちづくりを推進します。 137
施策の実施、進捗状況	①歩道整備延長 1,025m ②バリアフリーに配慮した歩道等の整備に努めた。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①ペDESTリアンデッキ整備事業が終わり、歩道整備を優先できたため、整備目標の1,000mをクリアできた。
施策展開上の課題	①船橋市総合計画 後期基本計画の実施計画の目標値設定のあたって、平成26年度より整備目標を1,000mから2,000mに引き上げた。
施策担当課	①道路建設課 ②街路課

### ○環境美化の推進

個別事業	「船橋市路上喫煙及びポイ捨て防止条例」に基づき、ポイ捨て防止を徹底し、まちの美化に努めます。 138
施策の実施、進捗状況	路上喫煙及びポイ捨て防止重点地区を主に、市内全域で生活環境巡視員4名によるパトロールを実施した。また、広報ふなばし、駅前キャンペーンや環境イベントで啓発活動を行った。
施策の評価	2
コメント	より一層の充実を図る。
施策展開上の課題	
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	市民や事業者との連携により、駅前や沿道などの清掃活動を行います。 139
施策の実施、進捗状況	市民が一斉に参加する清掃活動（クリーン船橋530の日・船橋をきれいにする日）を実施した。
施策の評価	1
コメント	より一層の充実を図る。
施策展開上の課題	
施策担当課	クリーン推進課



個別事業	市民や事業者と市が協働で進める環境美化モデル活動認定制度などによる道路の清掃活動を推進します。 140
施策の実施、進捗状況	認定団体に対し、ごみ袋の提供やごみ収集の協力を行った。
施策の評価	2
コメント	より一層の充実を図る。
施策展開上の課題	
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	地域における一斉清掃などの活動を推進します。 141
施策の実施、進捗状況	自治会・町会や団体が実施する清掃活動に、環境指導員が積極的に参加し、活動を推進した。
施策の評価	1
コメント	より一層の充実を図る。
施策展開上の課題	
施策担当課	クリーン推進課

### ○不法投棄防止対策の強化

個別事業	市は、定期的な不法投棄パトロールを実施しますが、行政や地域住民だけで不法投棄を防止することは困難なことから、市民、事業者、行政の連携のもと、監視体制を強化し、不法投棄防止に努めます。 142
施策の実施、進捗状況	①自治会・町会、警察と連携し、パトロールを実施し、不法投棄防止に努めた。 ②定期的な日常パトロールのほか、休日（月1回）、夜間（年2回）、及び年末（12/29～31）パトロールを実施した。また、市のホームページに「不法投棄の情報提供」についての掲載を行い市民等からの情報収集を行う他、船橋・船橋東・白井郵便局、京葉瓦斯(株)、東京電力(株)、NTT東日本(株)、及び京葉地区タクシー運営協議会と締結している「廃棄物の不法投棄情報提供に関する覚書」による情報収集等により不法投棄の防止に努めた。
施策の評価	①1 ②2
コメント	①より一層の充実を図る。 ②今後も市民、事業者、行政の連携を図り、監視体制の強化を継続していく。
施策展開上の課題	
施策担当課	①クリーン推進課 ②産業廃棄物課

個別事業	市民に対して不法投棄発見時の連絡先の周知を図り、環境美化を推進するため、広報やパンフレット等により、不法投棄防止についてPRに努めます。また、ルール違反者には、厳重な注意を与えるほか、悪質な場合は警察と連携して対応にあたります。 143
施策の実施、進捗状況	①地域の会合やごみ出し説明会等において、不法投棄の対応について周知を図った。また、不法投棄が懸念される箇所には、不法投棄禁止看板を設置し、不法投棄防止に努めた。 ②「産業廃棄物の適正処理について」のパンフレットを作成し、窓口及び立入検査時等に配布をすることにより、適正処理の啓発を行った。また、船橋警察署、並びに船橋東警察署と連携して不適正処理に対する現地指導等を行った。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①より一層の充実を図る。 ②今後も適正処理に関する啓発活動、並びに警察との連携により不適正処理に対する指導を継続していく。
施策展開上の課題	
施策担当課	①クリーン推進課 ②産業廃棄物課

個別事業	空き地等の土地所有者や管理者に対して、柵の設置等により不法投棄されない環境づくりを行うよう促すほか、行政としては看板掲示物の設置等を行います。 144
施策の実施、進捗状況	不法投棄が懸念される箇所には、不法投棄禁止看板を設置し、不法投棄防止に努めた。
施策の評価	2
コメント	より一層の充実を図る。
施策展開上の課題	
施策担当課	クリーン推進課

## 第4節 未来に向けた地球環境の保全

本市では、エネルギー消費量の増加に伴い、市域からの温室効果ガス排出量が増加してきていることが報告されています。

このため、今後は一人ひとりが自らの活動が地球レベルでの環境問題に影響を及ぼしていることを認識した上で、環境に配慮した行動に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイル・ビジネススタイルを確立することが必要です。

本計画では、資源やエネルギーの合理的かつ循環的な利用、及び廃棄物の排出抑制とリサイクルの推進に努め、環境への負荷の少ない循環型社会を構築することにより、かけがえのない地球環境を保全し、未来に受け継いでいくものとします。

### 1 地球環境の保全

#### 【進行管理指標の状況と評価】

表14 地球環境の保全

進行管理指標	基準 (平成 21 年度)	現状 (平成 24 年度)	数値目標	
			中間年度 (平成 27 年度)	目標年度 (平成 32 年度)
市民一人あたりの温室効果ガス排出量	6.7t-CO <sub>2</sub>	7.1t-CO <sub>2</sub> ★1	7.4t-CO <sub>2</sub> ★2	6.4t-CO <sub>2</sub>
市の事業による温室効果ガスの排出量	196,439 t-CO <sub>2</sub>	190,520 t-CO <sub>2</sub>	186,617 t-CO <sub>2</sub> ★3	★4
緑のカーテンコンクール応募件数	64 件	106 件	100 件	200 件
地球温暖化防止推進員派遣回数	4 回	6 回	20 回	30 回
地球温暖化に関する環境講座実施回数 ★5	14 回	6 回	20 回	30 回

- ★1 統計書が整備される時期の関係で、最新の値は平成 22 年度となっています。
- ★2 平成 24 年度の目標値。
- ★3 平成 26 年度の目標値。
- ★4 平成 26 年度に地球温暖化対策地方公共団体実行計画（事務・事業編）を改定し、その際に平成 31 年度の目標値を作成予定。
- ★5 出前講座の実施回数。

【 I 地球温暖化防止の推進】

○温室効果ガスの排出量の削減

個別事業	「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」を策定し、市内の温室効果ガス排出量の削減に努めていきます。 145
施策の実施、進捗状況	市ホームページや広報ふなばし等で温暖化対策や節電を呼びかけている。
施策の評価	2
コメント	平成24年3月に「船橋市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、今後も市全体で温室効果ガス削減にむけて意識の向上を図る。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	「船橋市環境保全率先行動計画」に基づき、市の事業からの温室効果ガス排出量の削減を推進します。 146
------	--

課名	広報課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下階への移動は、階段を利用した2アップ・3ダウンに努めた。</li> <li>照明点灯箇所の削減。</li> <li>エコドライブに努めた。</li> </ul>		
コメント	各自が執務室内の環境保全に取り組むよう心がけた。また、業務上外出することが多いためエコドライブに努めた。		
施策展開上の課題	紙資源の使用頻度の削減、有効活用。業務上、印刷部数を削減するのは困難であるが、電子メールによる校正依頼や両面印刷、裏紙使用に努める。紙資源の使用頻度の削減、有効活用を継続して行っていく。また、課内職員に向けた印刷については一部で2アップ・両面印刷をするなど、いっそうの削減を図る。		

課名	市民の声を聞く課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>公用車運転中のアイドリングストップに努める。</li> <li>コピーをする際は、プレビュー等で再確認し、無駄なコピーをしないように取り組む。</li> </ul>		
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ運転に努めた。</li> <li>コピーの無駄を減少させた。</li> </ul>		
施策展開上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ運転の一層努める</li> <li>コピーをする際のプレビューの再確認を徹底する。</li> </ul>		

課名	秘書課(国際交流室)	施策の評価	1
施策の進捗状況	温室効果ガス排出量の削減に向け、低公害車の市長車を導入した。		
コメント	低公害車の導入を行うことができたが、今後も低公害車の情報を収集していき、次回導入の際に最善の低公害車が入られるように努めていきたい。		
施策展開上の課題	今回5年のリース契約により低公害車を導入した。リース満了後は最善の低公害車に乗り換えたいが、現時点では予算上の話ができないので、導入計画を立てるのが難しい。		

課名	政策企画課	施策の評価	1
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー使用量を削減するため、不必要な照明の消灯、照明の勤務時間中のみでの点灯、階段の利用などを行った。</li> <li>用紙類の削減のため、両面コピーやNアップ印刷、使用済み用紙の裏面再利用等を行った。</li> <li>廃棄物の量を削減するため、資源回収ボックスを設置し、ゴミの分別を行った。</li> </ul>		
コメント	今後も温室効果ガスの削減に努める。		
施策展開上の課題			

課名	財政課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務用品を購入する際、エコマーク商品を購入するよう努めている。</li> <li>コピー用紙の節約のため、用紙裏面の利用を心がけている。</li> </ul>		
コメント			
施策展開上の課題	特になし		

課名	管財課	施策の評価	2
施策の進捗状況	電気量の節減等、実行プログラムに基づき庁舎エネルギー使用量の節減等を行っている。		
コメント	夏季節電対策等の目標は達成しており、その他の時期においても照明等の節電を継続的に行っている。		
施策展開上の課題	節電の実施については、業務や来庁者に支障がないように、配慮して取り組んでいかなければならない。		

第2章第4節1 地球環境の保全（施策146）

課名	契約課	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコオフィスプラン実行プログラムに基づき、節減に意識的に取り組んでいる。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	男女共同参画センター	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電への取組。</li> <li>・再生文具の使用によるリサイクルの推進。</li> </ul>		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	総務課(法務室)	施策の評価	2
施策の進捗状況	業務に支障の無い範囲で、節電を徹底する。		
コメント	印刷室を含め、昼休みの消灯、使わない印刷機を節電モードにするなどして、消費電力の削減に努めた。		
施策展開上の課題	今後も消費電力の削減のため、節電を徹底していく。		

課名	行政管理課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不必要な照明の消灯</li> <li>・使用していないパソコンの電源オフの徹底</li> <li>・印刷物の両面印刷・両面コピーの徹底</li> <li>・使用済み用紙の裏面使用</li> </ul>		
コメント	一人一人が意識することにより、概ね順調に施策を実施することができたが、まれにパソコンの電源がついたまま長時間離席してしまっていることがあった。		
施策展開上の課題	今後は使用していないパソコンの電源オフの徹底を図りたい。		

課名	職員課（人材育成室）	施策の評価	2
施策の進捗状況	平成24年5月1日から平成24年10月31日までを、市職員の軽装勤務推奨期間とした。		
コメント	従来、地球温暖化防止対策として軽装勤務を6月1日から9月30日までの期間推奨してきた。しかし昨年度東日本大震災による電力不足に配慮し期間を拡大したことに引き続き、平成24年度も節電意識の醸成及び啓発に資することを目的に期間を拡大した。なお、ウォームビズについては特段推奨の働き掛けはしていないが、適切な室温管理のもと、それに対応した服装が個々になされていると考えている。		
施策展開上の課題	今後も国や県、他市町村の動向を見ながら軽装勤務の推奨をしていく。		

課名	情報システム課	施策の評価	2
施策の進捗状況	公用車による外出の際など、エコ運転を推進しました。		
コメント	引き続き取り組んでいきます。		
施策展開上の課題			

課名	税制課	施策の評価	2
施策の進捗状況	こまめな消灯、電化製品の使用を控えるなど使用電力の削減に努めている。		
コメント	今後もしっかり取り組んでいく。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	市民税課	施策の評価	3
施策の進捗状況	照明（蛍光灯）の間引きによる消費電力等の削減。		
コメント			
施策展開上の課題	昼の間も窓口、電話対応が多いため思うように進んでいない。		

課名	固定資産税課	施策の評価	2
施策の進捗状況	節電・不要な照明の消灯に努めた。		
コメント	概ね実施できたと思うが、今後さらに徹底する。		
施策展開上の課題			

課名	納税課	施策の評価	2
施策の進捗状況	温室効果ガスの排出量の削減のため、公用車の利用を控える。		
コメント	出張時には、公共機関を利用するなどし、公用車の利用の自粛に努めている。		
施策展開上の課題			

課名	債権管理課	施策の評価	1
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不必要な照明の消灯、OA 機器のスイッチオフを励行した。</li> <li>・ 外勤の際は、公共交通機関を利用し、公用車の使用を控えた。</li> </ul>		
コメント	各職員において実施できた。平成25年度以降も継続して実施し、温室効果ガスの排出量の削減に努めていく。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	戸籍住民課	施策の評価	2
施策の進捗状況	両面コピー、使用済用紙の裏面利用、コピー機利用後リセットボタンを押す、OA 機器スイッチオフ、昼休みの不要な照明の消灯等に努めた。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	自治振興課	施策の評価	2
施策の進捗状況	昼休み時など不必要な照明の消灯。両面印刷、両面コピーの徹底。使用済用紙の裏面利用。マイカップを使用（使い捨て商品の使用抑制）		
コメント	ほぼ実施している。		
施策展開上の課題	両面印刷・両面コピー等の徹底。		

第2章第4節1 地球環境の保全（施策146）

課名	市民協働課	施策の評価	2
施策の進捗状況	「船橋市地球温暖化対策実施計画（第3次ふなばしエコオフィスプラン）」に基づき、温室効果ガス排出量の削減を推進する。		
コメント	従来どおり実施する。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	国民年金課	施策の評価	2
施策の進捗状況	unnecessary 照明の消灯の実施。両面印刷、両面コピーの徹底。マイカップを使用し、使い捨て商品の使用を抑制する。		
コメント	ほぼ実施しているが、紙コップの使用がまだ多く見られる。		
施策展開上の課題	マイカップ等を徹底し、紙コップの使用の抑制を図る		

課名	市民安全推進課	施策の評価	2
施策の進捗状況	特に、消耗品については、グリーン購入法の趣旨に則り、購入している。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	二宮出張所	施策の評価	2
施策の進捗状況	1階出張所内の照明（蛍光灯）の間引きによる消費電力の削減を行った（48灯中17灯消灯、35%削減）。 また、空調温度について、毎日当番の所内見回りに際し温度計の計測を実施し、適正に管理している冷房 28℃ 暖房 18℃。		
コメント	来所市民及び職員の執務に支障のない程度に実施している。		
施策展開上の課題	日々、削減に努めており、これ以上は執務上困難と考えます。		

課名	船橋駅前総合窓口センター	施策の評価	
施策の進捗状況	特に環境基本計画施策として、実施及び、計画はしておりません。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	健康政策課(指導監査室)	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明点灯箇所の削減及び昼休み時間中の消灯。</li> <li>・使用していないOA機器の電源オフ。</li> </ul>		
コメント	課内の照明点灯箇所を削減し、時間外においても unnecessary 照明は消灯している。昼休みに入る時は使用していないOA機器をスリープ状態等にするなどした。		
施策展開上の課題			

課名	健康増進課	施策の評価	2
施策の進捗状況	移動は電動自転車や乗合自動車を利用するよう努めた。		
コメント	今後も排気ガスの削減に努めたい。		
施策展開上の課題	排気ガス以外の温室効果ガス排出要因に目を向けた削減努力をすること。		



課名	国民健康保険課(特定健康診査室)	施策の評価	4
施策の進捗状況	本課実施事業で「温室効果ガスの排出量の削減の推進」と直接関連する事業はないが、本課所有の自動車（1台）の使用頻度を抑えることで効果が得られると思われる。ただし、国民健康保険料の徴収業務等に係る業務に使用することが多く、収納率向上については「部局の取り組み方針」に掲げている重要事項でもあり計画的に実施は出来ない。		
コメント	※「施策の実施、進捗状況」欄の理由により「4」を選択		
施策展開上の課題			

課名	看護専門学校	施策の評価	2
施策の進捗状況			
コメント			
施策展開上の課題	特になし		

課名	(保健所)総務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	昼休みに不要な電気を消すなど、積極的に節電に取り組んだ。		
コメント	特になし		
施策展開上の課題	特になし		

課名	(保健所)保健予防課	施策の評価	3
施策の進捗状況	廃棄する紙等は、裏面印刷やカットしてメモ帳として使用した。また、地域活動支援センターでは、「緑のカーテン事業」で事務室の温度を下げることを実施した。		
コメント			
施策展開上の課題	一気に実施することができないため気をつくことから少しずつ行っていく。		

課名	(保健所)衛生指導課	施策の評価	2
施策の進捗状況	エアコンの設定温度28度の徹底。執務室の蛍光灯については、必要がなければ消灯、必要があるときは半数のみ点灯。		
コメント	職員全員理解し、実行できた。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	地域福祉課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要のない照明を消灯している</li> <li>・印刷物の両面印刷、まとめて印刷（2 in 1）、裏紙の利用、電子データの活用等、紙の削減に努めている</li> <li>・消耗品、文具はエコ対象商品を購入している</li> </ul>		
コメント	・職員各々が無駄の削減を意識しながら業務できているため、引き続き注意喚起を行いながら施策を進めていきたい。		
施策展開上の課題			

第2章第4節1 地球環境の保全（施策146）

課名	高齢者福祉課	施策の評価	1
施策の進捗状況	照明点灯箇所の削減やエレベーター使用の削減（2アップ3ダウン）、コピー用紙使用量の削減等を行っている。また、公共施設においては、空調の温度管理（冷房28℃、暖房20℃）を適切に行う等、節電に努めている。		
コメント	使用していない電灯をこまめに消す・できる限り両面印刷や裏紙を使用してコピー用紙使用量の削減を図る等といった取り組みを職場全体で行うことができた。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	介護保険課	施策の評価	2
施策の進捗状況	不要な照明の消灯、不要な周辺機器の電源OFF。		
コメント	退庁後に不要となる照明については、それぞれの職員が自発的に消灯するよう心がけている。周辺機器についても同様に、使用後は電源をオフにするよう心がけ、また不要であればあらかじめ起動を控えるようにしている。		
施策展開上の課題	照明については各自気をつけるようになってきている。 周辺機器等端末についてはより改善する必要がある。		

課名	包括支援課	施策の評価	3
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クールビス及び昼休み帯の照明器具の消灯を実施している。</li> <li>・電動自転車等の整備により、公用自動車利用の抑制を推奨している。</li> </ul>		
コメント	本課の取り組みは、恒常的に行われるようになった。		
施策展開上の課題	建築設備関連の実行プログラムは、課単独では整備が進まないことから全市的な整備計画が必要と考える。		

課名	障害福祉課	施策の評価	2
施策の進捗状況	昨年度に引き続き、紙の消費の抑制と不要な照明の使用抑制を掲げる。両面印刷等による紙の消費の抑制と、昼休みによる消灯を実践している。		
コメント	今後も実施していく。		
施策展開上の課題			

課名	生活支援課	施策の評価	2
施策の進捗状況	公用車の使用を削減し、交通機関及び自転車を使用している。		
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関及び自転車を使用。</li> <li>・訪問を2～3人で行くようにして、公用車の使用台数減らしている。</li> </ul>		
施策展開上の課題	なお一層公用車の使用を減らす。		

課名	ケア・リハビリセンター	施策の評価	3
施策の進捗状況	施設内照明の間引き・長時間部屋をあけるときは照明・エアコンを消しました。また、2台あるエレベータ1台を一定期間停止し節電しました。		
コメント	2階～4階は高齢者が居住しています。居住者の協力を得て一定期間エレベータを停止し少しでも排出量の削減に努力しました。		
施策展開上の課題	高齢者が居住しているため、居住者に影響が及ばない節電を実施していますので、排出量の大幅な削減は難しいと思われます。		

課名	児童家庭課	施策の評価	2
施策の進捗状況	消耗品を購入する際に、エコ商品を優先的に購入するように心がけた。用紙を印刷する際は、両面印刷、2アップ印刷する等用紙の削減を図った。		
コメント			
施策展開上の課題	身の回りの実施可能なことから心がけて推進していきたい。		

課名	保育課	施策の評価	2
施策の進捗状況	印刷物のミスプリントに気を付け、可能なものは裏紙を使用する等、ごみの削減に心掛けた。また、各保育園においても調理や保育、事務においてごみの削減に努めるよう、園長会議等において周知を図った。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	保育施設整備課	施策の評価	2
施策の進捗状況	庁舎内での勤務にあたり、クールビズ・ウォームビズ、階段の利用等を推進している。		
コメント	今後も自転車の活用、ごみ減量など、可能な範囲で更なる推進を図っていく。		
施策展開上の課題			

課名	児童育成課	施策の評価	2
施策の進捗状況	コピー用紙使用の節減、節水、節電等により温室効果ガスの削減を図っている。		
コメント	前年度と比較して、多くの施設で電気の使用量等を削減出来ている。		
施策展開上の課題	さらなる資源使用の削減をを推進していく。		

課名	療育支援課	施策の評価	2
施策の進捗状況	施設の空調管理、照明の消灯、印刷物の縮減、廃棄物の分別・削減、エコ商品の購入等に努めた。		
コメント	職員の意識が高く、リサイクルや節減に取り組むことができた。		
施策展開上の課題	効果を上げるため、施設利用者へも周知し、可能な範囲で協力を依頼する必要がある。		

課名	環境保全課	施策の評価	1
施策の進捗状況	船橋市地球温暖化対策実行計画（第3次ふなばしエコオフィスプラン）に基づき推進している。平成24年度の温室効果ガス排出量は190,520 t-CO <sub>2</sub> で、基準年比で3.0%削減しており、目標を達成している。		
コメント	特に夏季などの消費電力が大きい時期には、節電に関する周知を強化している。		
施策展開上の課題	関係各所属の事業への理解を図り、さらなる意識の向上を目指す。		

課名	クリーン推進課（ごみ処理施設整備室）	施策の評価	2
施策の進捗状況	昼休み等休憩時間の消灯徹底、印刷物の再利用、資料の両面印刷、積極的な階段利用等		
コメント	所属職員の積極的な実施により、目標の達成に向かっている。		
施策展開上の課題	特になし		

第2章第4節1 地球環境の保全（施策146）

課名	産業廃棄物課	施策の評価	2
施策の進捗状況	不要な証明の消灯、使用済み用紙の裏面使用などにより、温室効果ガス排出量の削減に努めた。		
コメント	今後も温室効果ガス排出量削減のための施策を継続していくことに努める。		
施策展開上の課題			

課名	環境衛生課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み時の照明点灯箇所の消灯</li> <li>・緑のカーテン等を利用して空調効率を高める</li> </ul>		
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車の使用については、訪問先の位置により、出来る限り公共交通機関を利用し、必要に応じて公用車で移動するようにしている。</li> <li>・空調効率は高まっている。</li> </ul>		
施策展開上の課題			

課名	北部清掃工場	施策の評価	3
施策の進捗状況	粗大ごみからのリサイクルできる粗大物を回収し、焼却ごみの減量化を図る。		
コメント	西浦資源リサイクル施設試運転に伴い、2月中旬から粗大ごみのほとんどをそちらに搬入したため、目標に届かなかった。（目標：2400個→実績：2173個）		
施策展開上の課題	粗大ごみの搬入が大幅に規制されるため、リサイクルできる物が少なくなることが予想されるが、できるだけ多くのものを回収し、ごみの減量に努める。		

課名	南部清掃工場	施策の評価	2
施策の進捗状況	焼却により生じる熱エネルギーを回収し、工場内で有効利用するとともに、蒸気エネルギーによる発電を行い、工場内で使用する電力として有効利用を図っている。		
コメント			
施策展開上の課題	老朽化している施設なので、延命のための維持管理は必要。		

課名	清掃センター	施策の評価	2
施策の進捗状況	平成6年度から、低公害車普及対策として塵芥収集車をディーゼル車からLPG車へ順次更新を実施し、平成12年度に全車両転換済み以来、現在も引き続き更新時にはLPG車を購入している。		
コメント	LPG車への更新により、温室効果ガスの排出量の削減に期待できるものと考えている。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	商工振興課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境配慮物品（グリーン）の購入</li> <li>・使用済み用紙の裏面再利用</li> </ul>		
コメント	継続実施していく		
施策展開上の課題			

課名	消費生活課	施策の評価	2
施策の進捗状況	課で実施している事務事業において、用紙類の使用削減、廃棄物の発生抑制、再使用を進め、廃棄物の量を削減する		
コメント	各職員が常に、温室効果ガス排出量の削減を念頭に置き、事務を遂行するよう意識している。		
施策展開上の課題			

課名	農水産課	施策の評価	2
施策の進捗状況	空調、室温の設定温度、夏場28度・冬場19度、不要なエリアの空調の停止の徹底。業務に支障のない範囲での消灯、使用済み用紙の裏面使用、環境物品グリーン購入の推進等が出来た。		
コメント	職員全員に第3次ふなばしエコオフィスプランへの取り組みに対する意識・行動が深まった。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	(中央卸売市場)管理課	施策の評価	①1 ②3
施策の進捗状況	①事務室内の冷暖房の使用を控える。冷房については室温30度超で使用し、設定温度は29度にする。 ②公用車の使用をより一層控える。		
コメント	①設定温度を守り、計画は順調である。 ②エコドライブに努めるなど、可能な限り、燃料削減に向けた取り組みを行っているが、事務量の増加に伴い、公用車使用も増加している状況である。		
施策展開上の課題			

課名	(中央卸売市場)業務課	施策の評価	①1 ②3
施策の進捗状況	①事務室内の冷暖房の使用を控える。冷房については室温30度超で使用し、設定温度は29度にする。 ②公用車の使用をより一層控える。		
コメント	①設定温度を守り、計画は順調である。 ②エコドライブに努めるなど、可能な限り、燃料削減に向けた取り組みを行っているが、事務量の増加に伴い、公用車使用も増加している状況である。		
施策展開上の課題			

課名	都市総務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコオフィスプラン実行プログラムに基づき、意識的に削減に取り組んでいる		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	技術管理課	施策の評価	2
施策の進捗状況	不必要な照明の消灯、OA機器のスイッチオフを励行する。		
コメント	昼休み及び退庁時には、照明の消灯及びOA機器のスイッチオフを実施している。		
施策展開上の課題	特になし		

第2章第4節1 地球環境の保全（施策146）

課名	都市計画課(まちづくり支援室、交通政策室)	施策の評価	2
施策の進捗状況	各職員がこまめに掲示板やメールを確認することを徹底し、簡易な連絡事項等の回覧は行わない。		
コメント	不要な回覧を減らすことにより、紙の使用量を削減した。		
施策展開上の課題	ペーパーレス化を図るとともに、印刷設定により紙の使用量を削減する。 長時間離席する場合等における、パソコンの電源管理を行う。		

課名	都市整備課	施策の評価	2
施策の進捗状況	複数人での公用車の利用や公共交通機関の利用等業務に支障をきたさない範囲で業務を遂行している。		
コメント	平成25年度以降についても継続していきます。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	公園緑地課	施策の評価	1
施策の進捗状況	工事設計時において、特記仕様書第25条により建設機械を使用する場合は「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付建設省経機発第249号)に基づき指定されたものを使用するよう指定しています。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	飯山満土地区画整理事務所	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車の効率的利用</li> <li>・事務所の節電</li> </ul>		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	道路管理課(道路安全推進室)	施策の評価	
施策の進捗状況	該当ありません。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	道路建設課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当ありません。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	街路課	施策の評価	2
施策の進捗状況	不必要な照明の消灯・および使用していないパソコンの電源オフの徹底に努めた。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	下水道総務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	船橋市地球温暖化対策実行計画（第3次ふなばしエコオフィスパラン）実行プログラムに基づき、節減に意欲的に取り組んでいる。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	下水道河川計画課	施策の評価	2
施策の進捗状況	第3次ふなばしエコオフィスパラン実行プログラムに基づき、節減に意識的に取り組んでいる。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	下水道建設課	施策の評価	2
施策の進捗状況	工事では、発進基地に防音ハウスの設置、使用する重機等は、低騒音、低排出ガスを指定、材料では、再生骨材や再生合材、改良土を使用している。現場で発生する産業廃棄物はリサイクルをさせている。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	下水道施設課	施策の評価	2
施策の進捗状況	発注工事における仕様書にて排出ガス対策型建設機械を使用することを明記している。		
コメント			
施策展開上の課題	特になし		

課名	下水道河川管理課	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコオフィスパラン実行プログラムに基づき、温室効果ガス排出量の削減に意識的に取り組んでいる。		
コメント	昼食時の消灯の徹底や裏紙の利用など、職員全員が意識して行動している。		
施策展開上の課題	外出時のPCの電源オフを忘れてしまいがちなため、今後はより徹底する。		

課名	河川整備課	施策の評価	2
施策の進捗状況	第3次ふなばしエコオフィスパラン実行プログラムに基づき、節減に意識的に取り組んでいる。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	建築指導課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			



第2章第4節1 地球環境の保全（施策146）

課名	建築課	施策の評価	2
施策の進捗状況	消耗品の購入は、エコマークの物を購入するようにしています。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	公共建築物保全課	施策の評価	2
施策の進捗状況	電気エネルギー使用の無駄を省き、温出効果ガスの削減に努める。また印刷ミスを少なくし、紙の削減に努める。		
コメント	課内全体に節電の意識が浸透し、照明使用率が低く、また階段利用を積極的に行っている。大量に印刷する時は1部コピーをし、再確認後大量コピーをするようにしている。		
施策展開上の課題	実際の使用電気量がわからないので、目標設定がしづらい。		

課名	宅地課	施策の評価	2
施策の進捗状況	不要な照明等を消灯し、節電に努めた。		
コメント	今後も、継続して節電に努める。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	住宅政策課	施策の評価	
施策の進捗状況	施策なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	(消防局) 総務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	環境に配慮した物品を調達した。また、エネルギー使用量の削減に努めた。		
コメント	確実に温室効果ガスの排出量の削減を図る必要がある。		
施策展開上の課題	現在のところ、施策展開上の大きな課題は見受けられない。		

課名	(消防局) 予防課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室内の空調設備の効率を図るため、ブラインドを有効に活用する。</li> <li>・ unnecessaryな照明器具の消灯やOA機器等のスイッチオフを励行する。</li> <li>・ エレベーターの使用を控える。使用に際しては2アップ3ダウンの徹底を図る。</li> <li>・ 車両運行前点検において空気圧、排煙状況等を確認し、エコドライブを心掛ける。</li> </ul>		
コメント	各施策の意識の改革は確認できるが、まだ unnecessaryな照明器具の積極的な消灯は見受けられない。		
施策展開上の課題	職員一人ひとりが、自分のできること、しなければならないことを考える。		

課名	(消防局) 警防課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ unnecessaryな電子機器及び照明等の電気を切る。</li> <li>・ 車両更新時において、環境省の定める環境に配慮した低公害車を採用する。</li> </ul>		
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーヒーメーカーやポット等は、常時通電しているため、使用禁止にした効果は大きい。</li> <li>・ 車両の仕様書に、環境省の定める低公害車であることを記載し、更新している。</li> </ul>		
施策展開上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 照明のLED化等さらにエコオフィスの充実を図る。</li> <li>・ 業務用車両は、ハイブリッド等の低燃費車の導入等を推進する必要がある。</li> </ul>		

課名	（消防局）救急課	施策の評価	2
施策の進捗状況	unnecessary電気の使用を控える、車両のエコ運転を心掛ける等、各自が高い意識を持って施策を実施中である		
コメント	温室効果ガスの削減は順調に進んでいる		
施策展開上の課題	現在のところ、特に問題なし		

課名	（消防局）指令課	施策の評価	2
施策の進捗状況	指令システムがあることから、空調設備の使用を止めることはできません。但し、設定温度を25℃～26℃にしている。		
コメント	指令室以外の居室（仮眠室・食堂・事務室）にあつては、不在の場合、空調設備を使用しないよう心がけている。		
施策展開上の課題	現在のところ、施策展開上の課題は、ありません。		

課名	中央消防署	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内の節電について10%の削減</li> <li>・ペットボトルのリサイクル方法の徹底</li> </ul>		
コメント	継続して節電を心掛けることにより職員の節電やペットボトルに対するエコ意識の高揚が図れ、大きな効果が得られた。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	東消防署	施策の評価	2
施策の進捗状況	省エネに務めた。		
コメント	今後も削減に努めていく。		
施策展開上の課題	見受けられない。		

課名	北消防署	施策の評価	2
施策の進捗状況	エネルギー資源の削減実施中（節電、紙の節約）		
コメント	さらなる節電、節約を実施してエネルギー資源の削減にあたりたい。		
施策展開上の課題	問題なし。		

課名	会計課	施策の評価	2
施策の進捗状況	「船橋市環境保全率先行動計画」中のグリーン調達推進から、エコ商品購入及び使用済み用紙裏面使用を図った。		
コメント	コピー用紙の再利用をさらに努めている。		
施策展開上の課題	特になし		

第2章第4節1 地球環境の保全（施策146）

課名	(病院局) 経営企画室	施策の評価	2
施策の進捗状況	<p>○施策の実施</p> <p>1 節電の推進（診療に支障のない範囲で、適正な空調温度設定、照明の間引、こまめな消灯等）</p> <p>2 中央監視室による運転制御（全館空調の断続運転、ボイラブロー量の変更等）</p> <p>3 窓（一部）に遮熱フィルム貼付</p> <p>4 省エネルギー設備・機器への改修（施策番号174に別記）</p> <p>5 省エネ委員会を開催し、院内及び来院者へ周知</p> <p>○進捗状況</p> <p>対23年度比：ガス▲24,929 m<sup>3</sup>（約3%減）、電力112,154kwh（約1%増） ⇒CO<sub>2</sub>排出量 668ton-CO<sub>2</sub> 増</p>		
コメント	<p>平成23年度は、震災の影響による電力供給不足を受け、大規模な節電や室温の調整を行ったが、過度に暗い箇所が発生するなど、安全衛生面での問題が生じたため、平成24年度は一時外した蛍光灯の再取付を行うなどの見直しを行った。昨年に引き続き、院内に省エネ委員会を設置し、職員全体に省エネ意識を醸成するよう努め、前年度比で電力の使用量を1%の増にとどめ、ガスは3%減にすることでできたので、順調に進んでいると思われる。</p>		
施策展開上の課題	<p>病院という特性上、空調の温度設定や照明の照度などが、患者の状態に直接影響することから、一律に機器を停止するなどの措置が取れない状況にある。そのような中でも、事務室と受付の間のパーテーションの上部を切り取り通風口を開け、風通しを良くするなど、各課で省エネ活動に取り組んでいる。</p>		

課名	教育総務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<p>温室効果ガス排出量削減のため、不必要な照明を消す・上下階の移動は階段を利用する。</p>		
コメント			
施策展開上の課題	<p>課内職員に周知徹底する。</p>		

課名	財務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<p>近隣への訪問では公用車の使用を抑制した。照明点灯箇所の削減及び照明時間の縮減に努めた。</p>		
コメント	<p>施策は概ね順調に進んでいる。</p>		
施策展開上の課題	<p>特になし</p>		

課名	施設課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<p>照明の点灯箇所削減、こまめな消灯に努めた。</p>		
コメント			
施策展開上の課題	<p>特になし</p>		

課名	学務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<p>エコオフィスプラン実行プログラムに基づき、温室効果ガス排出量削減に意識的に取り組んでいる。</p>		
コメント	<p>公用車の使用方法や近隣においては自転車を利用するなど、節減を意識して努めている。</p>		
施策展開上の課題	<p>課全体の削減への意識の周知・徹底</p>		

課名	指導課	施策の評価	3
施策の進捗状況	エコオフィスパラン実行プログラムに基づき、公用車利用の節減に取り組んでいる。		
コメント	学校訪問ではできるだけ公共交通機関を使用している。		
施策展開上の課題	課内の節減意識の向上		

課名	保健体育課（児童・生徒防犯安全対策室）	施策の評価	3
施策の進捗状況	エコオフィスパラン実行プログラムに基づき、節減に意識的に取り組んでいる。		
コメント	公用車の使用方法や、近隣においては自転車を利用するなど、節減を意識して努めている。		
施策展開上の課題	課全体の節減意識のさらなる向上		

課名	総合教育センター	施策の評価	2
施策の進捗状況	公共交通機関や公用自転車を利用する。公用車使用をできるだけ控える。		
コメント	公用自転車の配備増加した。公用車使用を控えて燃料の節約につとめた。		
施策展開上の課題	学校訪問等が多いため公共交通機関利用は効率が悪い。公用車利用とならざるをえない。		

課名	社会教育課	施策の評価	2
施策の進捗状況	各施設によるエネルギー使用量の節減を実施した 平成24年4月29日に移転オープンした法典公民館に太陽光発電システム設置（10kwh）及び、開閉窓について、二重窓を設置		
コメント	特になし		
施策展開上の課題	特になし		

課名	文化課	施策の評価	
施策の進捗状況			
コメント			
施策展開上の課題			

課名	青少年課	施策の評価	3
施策の進捗状況	エコ商品の購入を推進した。		
コメント			
施策展開上の課題	予算や商品の有無等の課題があり、推進が難しい。		

課名	生涯スポーツ課	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコオフィスパラン実行プログラムに基づき、節減に意識的に取り組んでいる		
コメント			
施策展開上の課題	課全体の節減意識の更なる向上		

第2章第4節1 地球環境の保全（施策146）

課名	中央公民館	施策の評価	4
施策の進捗状況	地下機械室内に設置されている空調機用冷温水機と市民文化ホール楽屋に温水を供給するボイラーが設置されており、それぞれ都市ガス燃焼させているため温室効果ガスを排出しているが、平成24年度中は予算等の関係から改修等は行っていない。		
コメント	平成26年度に温水ボイラー設備を現行のガス燃焼式から電気式に更新するための予算要求を行っている。		
施策展開上の課題	設備改修工事概算要求額が約13,652千円と高額のため予算配当されるかどうかにより計画の是非が決まる。		

課名	東部公民館	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコ商品の購入や紙の使用を減らした。また、公用車の使用を極力減らし、アイドリングストップ等でエコドライブを心がけた。		
コメント	環境に配慮し、可能な限り省エネに努力した。		
施策展開上の課題	今後も、施設内の省エネに力を入れていく必要がある。		

課名	西部公民館	施策の評価	2
施策の進捗状況	平成20年建替え開館にあたり吸収式冷温水器、冷却塔設備、空冷ヒートポンプ装置設備、全熱交換機設備、省エネの照明設備等の導入より適切な管理に努めている。		
コメント	設備の訂正管理・点検を継続して行く。		
施策展開上の課題	設備の経年変化や劣化等の早期発見や対応。		

課名	北部公民館	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコ商品の購入や、照明・空調の省エネに努めた。		
コメント	施設管理上安全に配慮しながら、省エネに取り組むことができた。		
施策展開上の課題	可能な範囲で、施設利用者にも協力を求める必要がある。		

課名	高根台公民館	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15%の節電に努めた。</li> <li>・湯沸かし器の使用を控えた。</li> <li>・館内禁煙とした。</li> </ul>		
コメント	館外で喫煙される利用者が少数おり、煙が館内に入ってくるなどの問題があったが、禁煙の貼り紙や職員の声かけにより、改善された。		
施策展開上の課題	利用者から、もっと館内を明るくしてほしいとの要望が多かったため、その要望に応えながら、今後も省エネに可能な限り力を入れていく必要があると思う。		

課名	中央図書館	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコオフィスプラン実行プログラムに基づき、節減に意識的に取り組んでいる。		
コメント	エアコンの設定温度の管理や不要な照明の消灯など可能な限りの節電に努力した。		
施策展開上の課題	課全体の節減意識のさらなる向上。		

課名	市民文化ホール	施策の評価	2
施策の進捗状況	文化ホール、文化創造館共に照明点灯箇所の削減及び照明時間の縮減に努めた。		
コメント	施策は順調に進んでいる。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	郷土資料館	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	青少年センター	施策の評価	4
施策の進捗状況	訪問相談や補導等の際に公共交通機関を利用し、極力公用車使用を避ける		
コメント			
施策展開上の課題	センター業務遂行上、公用車を使用せざる得ない		

課名	選挙管理委員会事務局	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーターの使用の削減に努めた。</li> <li>照明器具の電源をこまめに消した。</li> <li>文書をプリントする際は、必要部数を精査し、印刷物の削減に努めた。</li> </ul>		
コメント			
施策展開上の課題	対外的文書を発送する機会も多いので削減には限度がある。		

課名	監査委員事務局	施策の評価	2
施策の進捗状況	昼休み以外の勤務時間中も不要な個所は消灯する等、さらなる節電とコピー用紙の使用削減に努める。		
コメント	照明及び電気機器は必要最低限とし、昼休みの消灯を徹底した。また、裏紙を使用するなどコピー用紙の削減に努めている。		
施策展開上の課題			

課名	農業委員会事務局	施策の評価	2
施策の進捗状況	照明点灯箇所及び照明時間の縮減に努めた。また、両面印刷や使用済み用紙の裏面活用により、紙使用量の削減に努めた。		
コメント	照明の縮減については、ほぼ達成されている。用紙使用の削減については、概ね意識が浸透しているので、事務見直し等により更なる削減に努めていく。		
施策展開上の課題			

課名	庶務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	公用車（議長車）運用の効率化。		
コメント	公用車（議長車）をハイブリッド車に更新した。		
施策展開上の課題	議長車という性格上、待機時にアイドリングストップできないことがある。		

課名	議事課	施策の評価	2
施策の進捗状況	業務に支障をきたさない範囲での、照明の一部消灯、昼休みの全消灯を行っている他、委員会室等における不必要なエアコン使用を控えるなどを実施。		
コメント	照明の消灯については全職員が常に意識し、実行している。		
施策展開上の課題	委員会室等のエアコン使用については、議員の意向を踏まえなければならないため、施策の徹底には添えない場合もある。		

個別事業	市内の温室効果ガス排出量の把握に努めます。 147
施策の実施、進捗状況	平成24年3月に策定した船橋市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に定められている温室効果ガス削減目標値の達成状況を把握するため、年1度算定し、公表している。
施策の評価	2
コメント	市民一人あたりの排出量、市の事業による排出量についても公表している。
施策展開上の課題	資料の都合上、平成24年度については平成22年度のデータが最新の値となっている。
施策担当課	環境保全課

○地球温暖化防止に向けた意識の向上

個別事業	市民団体、事業者、事業者団体、学識経験者、行政等が参加する船橋市地球温暖化対策地域協議会として、地球温暖化防止に向けた意識の向上に努めます。 148
施策の実施、進捗状況	船橋市地球温暖化対策地域協議会との連携により、環境フェアへの参加や、地球環境問題をテーマにした映画上映会や親子エコッキングを開催し、啓発を行った。
施策の評価	2
コメント	親子エコッキングには、18組38名の親子が参加した。
施策展開上の課題	予算や会場の都合上、映画上映会や親子エコッキングについては募集定員に上限を設けている。
施策担当課	環境保全課

個別事業	温室効果ガス排出抑制に関する情報提供を行い、地球温暖化問題に関する理解を深めます。 149
施策の実施、進捗状況	市ホームページや広報ふなばし、環境新聞エコふなばし等で温暖化対策につながるエコライフについて紹介した。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	インターネットや公共放送を活用した周知方法についての検討。
施策担当課	環境保全課

個別事業	市民向けの出前講座で、家庭でできる温暖化対策の紹介・説明を行います。 150
施策の実施、進捗状況	船橋市地球温暖化防止活動推進員の派遣により、平成24年度は6回実施し、市民が身近にできる地球温暖化対策について啓発を行った。
施策の評価	2
コメント	公民館や自治会、町会の依頼により出前講座を実施した。
施策展開上の課題	依頼により派遣をしているため、年度ごとの実施回数の変動がみられる。
施策担当課	環境保全課



個別事業	家庭から排出される温室効果ガスを誰でも簡単に計測でき、取り組みやすい環境家計簿「ふなばしエコノート」の周知・活用推進を図ります。 151
施策の実施、進捗状況	船橋市地球温暖化対策地域協議会との連携により、夏期の電気、ガスの削減を競うエココンテストを実施したほか、エコノートを各種イベントや市ホームページ、環境フェア等で配布、紹介し、環境家計簿の普及啓発を行った。
施策の評価	2
コメント	当該ホームページにて、電気やガスの使用量についてのサイトの紹介もしている。
施策展開上の課題	市民や事業者の事業に対する意識の向上。
施策担当課	環境保全課

個別事業	個人、団体の環境保全活動や取り組みに対して、環境啓発物品等の貸し出しなどによる支援を行います。 152
施策の実施、進捗状況	市民向けの環境講座を行う市民団体等へ、地球温暖化防止に関するパンフやエコノート等の提供を行った。
施策の評価	2
コメント	その他の一般的な環境物品等の貸し出しも行っている。
施策展開上の課題	これら施策の環境団体、個人への周知について。
施策担当課	環境保全課

個別事業	市民による地球温暖化に関する学習会等を支援するために、船橋市地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣します。 153
施策の実施、進捗状況	船橋市地球温暖化防止活動推進員の派遣により、平成24年度は6回実施し、市民が身近にできる地球温暖化対策について啓発を行った。
施策の評価	2
コメント	公民館や自治会、町会の依頼により出前講座を実施した。
施策展開上の課題	依頼により派遣をしているため、年度ごとの実施回数の変動がみられる。
施策担当課	環境保全課

個別事業	緑のカーテンの普及を推進します。 154
施策の実施、進捗状況	ゴーヤの苗の配布を一般市民や幼稚園、保育施設、小学校に配布したほか、地域ぐるみで取り組む町会や自治会をモデル地区に指定し、活動支援を行ったほか、優れた緑のカーテンに対して表彰するコンクールを昨年に引き続き開催した。
施策の評価	2
コメント	ゴーヤの苗については、約4,100株を配布した。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

〇二酸化炭素の吸収源対策

個別事業	森林と緑地の保全と整備を図ります。 155
施策の実施、進捗状況	平成24年度は5緑地を都市計画決定したほか、1緑地を整備し、4緑地の帰属を受けています。また、緑地の維持管理を随時を行っています。
施策の評価	2
コメント	平成24年度に追加された都市計画緑地 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小室1号緑地 約0.70 ha (斜面緑地)</li> <li>・小室2号緑地 約0.26 ha (斜面緑地)</li> <li>・小室3号緑地 約0.77 ha (樹林地)</li> <li>・西船4丁目緑地 約0.19 ha (樹林地)</li> </ul>
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

個別事業	屋上・壁面緑化を促進します。 156
施策の実施、進捗状況	屋上や壁面緑化に対する助成等はありませんが、船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例、環境共生まちづくり条例の特例として、屋上や壁面を緑化した場合に、当該面積(またはその一部)を緑地設置面積と見なしています。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	公園緑地課

個別事業	公共施設内及び道路沿道の緑化を推進します。 157
施策の実施、進捗状況	①市の花であるヒマワリの種を各小中学校、市立保育園等に配布しています。また、街路樹の維持管理を行っています。 ②都市計画道路3・4・20号線に低木を植栽し、都市景観の創出に努めた。 ヒラドツツジ 353本
施策の評価	①2 ②3
コメント	
施策展開上の課題	①街路樹の補植は適時実施しています。 ②街路樹などを整備する用地の確保
施策担当課	①公園緑地課 ②街路課

## 【Ⅱ オゾン層の保護、酸性雨対策の継続】

## ○オゾン層の保護

個別事業	使用済自動車やフロンを使用している家電からのフロン類の適正回収を指導します。 158
施策の実施、進捗状況	①刊行物(ごみ出しカレンダー・粗大ごみの出し方)やホームページ等を活用して、家電リサイクルの周知を図った。 ②使用済自動車の引取業、及びフロン類回収業の登録、並びに事業場への立入検査を行い、フロン類の回収の指導を行った。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①より一層の充実を図る。 ②今後もフロン類の適正回収に向けた指導を継続していく。
施策展開上の課題	①特になし
施策担当課	①クリーン推進課 ②産業廃棄物課

## ○酸性雨対策

個別事業	工場・事業場、及び自動車からの酸性雨原因物質(硫黄酸化物、窒素酸化物)の排出抑制に努めます。 159
施策の実施、進捗状況	事業者に対しては自主測定結果の市への報告及び立入検査による測定で遵守を確認し、必要な指導を実施している。また、固定局及び大気測定車による測定を実施しており、全ての項目で環境基準を満たしている。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	二酸化窒素については、より厳しい基準である県目標達成値を一部の測定局で達成していない。
施策担当課	環境保全課

個別事業	降雨の監視を継続するとともに、酸性雨に関する情報収集、市民や事業者への情報提供に努めます。 160
施策の実施、進捗状況	平成5年度から豊富局で酸性雨を測定しており、現在も監視は継続して実施している。
施策の評価	2
コメント	平成24年度は、降雨の平均pHは5.0であり、105回の降雨のうち88回で酸性雨が確認された。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

## 2 低炭素社会の形成

### 【進行管理指標の状況と評価】

表15 低炭素社会の形成

進行管理指標	基準 (平成 21 年度)	現 状 (平成 24 年度)	数値目標	
			中間年度 (平成 27 年度)	目標年度 (平成 32 年度)
駐輪場への駐輪可能台数	38,041 台	37,032 台	39,000 台	41,000 台
市内における太陽光発電システムの設置総 kW 数	3,934kW	15,167kW	★1	12,700kW
公民館への太陽光発電システムの導入館数	0 館	2 館	2 館	3 館
小中学校への太陽光発電システムの導入校数（特別支援学校を含む）	0 校	9 校	13校	（未定）

★1 目標を設定した船橋市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）においては、中期目標を平成 32 年度としており、平成 27 年度における目標値はありません。

### 【I 省エネルギーの推進】

#### ○市民に対する理解・意識高揚の推進

個別事業	家庭における省エネルギーの取り組みの理解・協力普及を進めます。 161
施策の実施、進捗状況	①8月・2月の年2回、広報ふなばしに省エネに関する記事を掲載した。 同様に8月・2月の年2回、市役所本庁舎壁面に、省エネに関する懸垂幕の掲示をした。 ②市民向けの環境講座を行う市民団体等へ、地球温暖化防止に関するパンフやエコノート等の提供を行った。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①家庭における省エネルギーの取り組みへの理解・協力をお願いした。
施策展開上の課題	②各家庭における省エネルギーに関する理解や意識の向上について。
施策担当課	①消費生活課 ②環境保全課

個別事業	市民が自主的に省エネルギーに対する取り組みを進めるための環境家計簿「ふなばしエコノート」の周知・活用推進を図ります。 162
施策の実施、進捗状況	市民向けの環境講座を行う市民団体等へ、地球温暖化防止に関するパンフやエコノート等の提供を行った。
施策の評価	2
コメント	市ホームページにおいても、ふなばしエコノートを公開している。また、当該ホームページにて、電気やガスの使用量についてのサイトの紹介もしている。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	市民向けの講座やイベントなどにおいて、エネルギーの有効利用についての広報、体験活動などを推進します。 163
施策の実施、進捗状況	①生き活き展(10月)において、地球環境保全に関するパネル展示を行った。 ②平成24年度は、地球温暖化防止活動推進員を6件の学習会等に派遣したほか、ふなばし環境フェア、塚田環境フェア等に協議会として出展し広報啓発を行った。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①イベント等において、エネルギーの有効利用について広報を行った。
施策展開上の課題	②依頼により派遣を行う出前講座等については年度ごとに変動がみられる。
施策担当課	①消費生活課 ②環境保全課

### ○事業者に対する意識改革の推進

個別事業	環境に配慮した事業活動への意識改革を進めます。 164
施策の実施、進捗状況	民間による大規模な宅地開発等において、省エネ設備や再生可能エネルギーの導入の働きかけを行った。
施策の評価	2
コメント	小規模な宅地開発等についても、環境配慮についてお願いをしている。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	夏季・冬季の省エネルギー推進のため、クールビズ・ウォームビズの定着に努めます。 165
施策の実施、進捗状況	国が進める対策に関して、市HP等を通じて市民や事業者に対して呼びかけを行った。
施策の評価	2
コメント	庁内においては、省エネルギー推進のため軽装勤務期間を拡大した。
施策展開上の課題	ウォームビズの周知については遅れがみられる。
施策担当課	環境保全課

○自動車の適正利用、自転車利用の推進

個別事業	市民や事業者に対して、アイドリング・ストップなどのエコドライブへの協力を要請します。 166
施策の実施、進捗状況	広報紙への掲載及び環境フェアにおいて啓発を実施している。
施策の評価	2
コメント	市民の協力が不可欠であり、事業への理解を図っている。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	自家用車による通勤の削減への協力を要請します。 167
施策の実施、進捗状況	ばい煙発生施設を設置している事業者に、従業員の自家用車での通勤の自粛など文書でお願いしている。
施策の評価	2
コメント	公共交通機関の利用を推進している。
施策展開上の課題	立地によっては公共交通機関の利用が難しい場合がある。
施策担当課	環境保全課

個別事業	自転車利用を促進するための情報提供、意識向上を推進します。 168
施策の実施、進捗状況	環境新聞エコふなばし等で温暖化対策を呼びかけている。
施策の評価	2
コメント	軽自動車及び二輪車登録台数は増加傾向にある。
施策展開上の課題	駐輪場用地の確保について。
施策担当課	環境保全課

個別事業	人や自転車が利用しやすい道路環境の整備（歩道や駐輪場など）に努めます。 169
施策の実施、進捗状況	①自転車レーン整備延長 550m ②歩道管理において、修繕が必要な箇所について、修繕を実施。 ③街頭指導員の配置、放置自転車の撤去作業等、歩道環境の確保、駐輪場の整備を図りました。
施策の評価	①2 ②2 ③2
コメント	①市道00-044号線 北本町地区自転車レーン整備（上下線総延長1,100m）した。 ③25年度以降も放置自転車の撤去や街頭指導員の配置、駐輪場の整備等を継続します。
施策展開上の課題	①平成26年度、自転車走行環境整備計画の策定に向け、平成25年度自転車レーン設置可能路線選定のための基礎調査を実施している。 ③駐輪場整備においては用地確保が必要なことから、各鉄道会社の協力が不可欠。
施策担当課	①道路建設課 ②道路管理課 ③都市整備課



個別事業	公共交通機関の利用を促進します。 170
施策の実施、進捗状況	船橋市地域公共交通総合連携計画に基づき、定時定路線型バスやデマンド方式による乗り合いタクシーの実証実験を行い、持続可能な公共交通サービスの提供を検討するとともに、バスガイドマップを作成し市内転入者に配布することで公共交通機関の利用促進を図った。 また、高齢者、障害者等の移動円滑化のために鉄道事業者が行う駅施設のバリアフリー化に対し、設置費の一部を補助することでバリアフリー化を推進し、誰もが利用しやすい公共交通の環境整備を図った。
施策の評価	2
コメント	平成24年度の実証実験では路線バスにおいて延べ320,694人、乗り合いタクシーにおいて延べ2,882人の利用があった。また3年間の実証実験結果をもとに、公共交通不便地域解消へ向けた仕組みを策定した。鉄道駅のバリアフリー化については、東西線西船橋駅、京成本線海神駅、東武野田線新船橋駅においてエレベーター設置による段差解消が図られた。
施策展開上の課題	公共交通機関の利用促進のため、今後も新しく策定した公共交通不便地域解消へ向けた仕組みにより、定時定路線型バスの運行に対し補助をしていく。また、鉄道駅のバリアフリー化については多額の事業費が必要となるが、国・鉄道事業者と協力し推進していく。
施策担当課	都市計画課

#### ○省エネルギー設備・機器の普及推進

個別事業	エネルギー効率の向上を図るため、家庭での高効率給湯器の設置を推進します。 171
施策の実施、進捗状況	住宅用高効率給湯器設置促進事業補助金を平成21年10月から行っており、24年度からは住宅用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)についても補助対象とした。
施策の評価	2
コメント	エコウィル 4万円、エコキュート 3万円、エコジョーズ 1.5万円、エネファーム 8万円を補助。
施策展開上の課題	予算に上限があるため、予算を超えた場合は抽選を行っている。
施策担当課	環境保全課

第2章第4節2 低炭素社会の形成

個別事業	省エネルギー設備・機器の導入・普及に向けて、市民や事業者への情報提供などに努めます。 172
施策の実施、進捗状況	①8月・2月の年2回、広報ふなばしに省エネに関する記事を掲載した。同様に8月・2月の年2回、市役所本庁舎壁面に、省エネに関する懸垂幕の掲示をした。 ②省エネ設備や再生可能エネルギーの導入された代表的な事業については市HP等に掲載している。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①省エネルギー設備・機器の導入・普及に向けて、市民への情報提供を図った。 ②省エネルギー設備費については、一部補助を実施している。
施策展開上の課題	
施策担当課	①消費生活課 ②環境保全課

個別事業	事業者へのESCO事業の活用などによる省エネルギー設備の導入を促進します。 173
施策の実施、進捗状況	①未実施である。 ②省エネルギー診断に関する紹介や、国、県等によるエネルギー対策に関する研究集会などの開催案内を適宜行っている。
施策の評価	①4 ②2
コメント	
施策展開上の課題	②ESCO事業等の検討
施策担当課	①商工振興課 ②環境保全課



個別事業	公共施設において、省エネ設備・機器の導入を推進します。 174
------	---------------------------------

課名	危機管理課(防災室)	施策の評価	2
施策の進捗状況	消耗品・備品の購入について、環境負担の軽減に努め、購入を行った。		
コメント	給水車の購入に際し、低公害車で環境負担の少ない車両の購入を行った。		
施策展開上の課題	防災備蓄品等特殊な物品はあるが、可能な限り調達した。		

課名	広報課	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコ商品を優先的に購入した。		
コメント	平成24年度は、執務室内の大型機器の購入はなかった。備品や消耗品等の購入において、優先的にエコ商品を購入した。		
施策展開上の課題	エコ商品の購入を徹底する。		

課名	市民の声を聞く課	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコ商品の購入に努める		
コメント	消耗品の購入に際しては、エコ商品を優先した。		
施策展開上の課題	エコ商品の購入の徹底を図る。		

課名	秘書課(国際交流室)	施策の評価	1
施策の進捗状況	環境に配慮した、低公害車の市長車を導入した。		
コメント	低公害車の導入を行うことができたが、今後も低公害車の情報を収集していき、次回導入の際に最善の低公害車が入られるように努めていきたい。		
施策展開上の課題	今回5年のリース契約により低公害車を導入した。リース満了後は最善の低公害車に乗り換えたいが、現時点では予算上の話ができないので、導入計画を立てるのが難しい。		

課名	政策企画課	施策の評価	2
施策の進捗状況	市有建築物への太陽光発電設備の設置方針を策定した。		
コメント	今後、太陽光発電設備の具体的な設置手法の検討や施設への設置可能性調査を行っていく。		
施策展開上の課題			

課名	財政課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

第2章第4節2 低炭素社会の形成（施策 174）

課名	管財課	施策の評価	2
施策の進捗状況	庁舎更新計画に基づき庁舎設備の更新・改修を行っている。平成26・27年度には庁舎照明器具を更新する予定である。		
コメント	庁舎照明器具の更新に向けて、省エネタイプの照明器具（LED等）の検証を進めた。		
施策展開上の課題			

課名	契約課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	男女共同参画センター	施策の評価	2
施策の進捗状況	空調設備の改修工事		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	総務課(法務室)	施策の評価	2
施策の進捗状況	印刷室にある機器を省エネ化する。		
コメント	印刷室にある機器を入れ替えた際に、省エネの機器を導入した。		
施策展開上の課題	今後も省エネの機器の導入を推進していく。		

課名	行政管理課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	職員課（人材育成室）	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	情報システム課	施策の評価	2
施策の進捗状況	情報システム機器の更新において、より消費電力の少ない機器への切り替えを図るなどしました。		
コメント	引き続き取り組んでいきます。		
施策展開上の課題			

課名	税制課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	市民税課	施策の評価	4
施策の進捗状況	新規購入の機会がある時に検討する。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	固定資産税課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	納税課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	債権管理課	施策の評価	1
施策の進捗状況	省エネ機器を導入した。		
コメント	省エネ性能が低い古いモデルではなく比較的新しいモデルのデジタルカメラを購入した。 平成25年度以降も設備・機器の導入の機会があれば、省エネ設備・機器の導入を優先的に検討する。		
施策展開上の課題			

課名	戸籍住民課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	自治振興課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

第2章第4節2 低炭素社会の形成（施策 174）

課名	市民協働課	施策の評価	2
施策の進捗状況	市民活動サポートセンターの備品等の購入に際しては、省エネ設備・機器の導入を推進した。		
コメント	従来どおり実施する		
施策展開上の課題	特になし		

課名	国民年金課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	市民安全推進課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	二宮出張所	施策の評価	4
施策の進捗状況	当該年度においては、導入実績なし。		
コメント			
施策展開上の課題	当出張所は昭和48年の建築物で、設備機器等も同様に古いものです。随所に改善の必要性もあり、今後市民の利用に支障を来す等、施設自体の建替が計画される際には、省エネ設備機器の導入に努めます。		

課名	船橋駅前総合窓口センター	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	健康政策課(指導監査室)	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコ商品の購入		
コメント	消耗品購入時に、グリーン購入を積極的に行った。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	健康増進課	施策の評価	3
施策の進捗状況	公用車の買換えの際には低公害車の車両を導入したが、省エネ設備・機器の導入はなかった。		
コメント	省エネ設備・機器を導入するのは予算的に難しいので、小規模・安価なものから導入を検討したい。		
施策展開上の課題	LED照明の導入には多額の経費がかかり予算的に困難である。		

課名	国民健康保険課(特定健康診査室)	施策の評価	4
施策の進捗状況	新規導入（購入）等の機会がある時に検討する。		
コメント	※「施策の実施、進捗状況」欄の理由により「4」を選択		
施策展開上の課題	特になし		

課名	看護専門学校	施策の評価	2
施策の進捗状況			
コメント			
施策展開上の課題	特になし		

課名	(保健所) 総務課	施策の評価	4
施策の進捗状況	H24 年度に設備・機器の導入がなかったため、実行できていない。		
コメント	特になし		
施策展開上の課題	特になし		

課名	(保健所) 保健予防課	施策の評価	3
施策の進捗状況	節電のための電源カットや夏季のエアコン使用等は、遵守できた。		
コメント			
施策展開上の課題	小まめな対応しか現状対応できないので、より効果的な対応を考えていく。		

課名	(保健所) 衛生指導課	施策の評価	1
施策の進捗状況	扇風機の利用及び窓の開放（昨年設置された網戸により可能となった）		
コメント	エアコンの利用が減少した。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	地域福祉課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	高齢者福祉課	施策の評価	2
施策の進捗状況	老朽化した空調設備を改修し、高効率化を図る		
コメント	平成 25 年度においては、社会福祉会館、朋松苑の空調設備の改修を行い、省エネルギー化を図る。		
施策展開上の課題	特になし		

第2章第4節2 低炭素社会の形成（施策 174）

課名	介護保険課	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコ商品を優先的に購入した。		
コメント	設備、機器等の導入はなかった。備品や消耗品等の購入においては、優先的にエコ商品を購入した。		
施策展開上の課題	今後もエコ商品の購入を徹底する。		

課名	包括支援課	施策の評価	4
施策の進捗状況	設備・機器の導入実績はなし。消耗器材については、「船橋市環境物品等の調達方針」に沿って購入している。		
コメント	予算執行の範囲での実施に留まっている。		
施策展開上の課題	建築設備関連の実行プログラムは、課単独では整備が進まないことから全市的な整備計画が必要と考える。		

課名	障害福祉課	施策の評価	1
施策の進捗状況	指定管理施設「北総育成園」における新棟建設工事が竣工し、太陽光発電設備による省エネを達成した。		
コメント	平成24年度中に竣工し、目標を達成した。		
施策展開上の課題			

課名	生活支援課	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休みの消灯</li> <li>・使用後のパソコンと昼休み中の電源を切る</li> </ul>		
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休みの消灯</li> <li>・使用後のパソコンと昼休み中の電源を切った。</li> </ul>		
施策展開上の課題	昼休みの消灯及び使用後のパソコンと昼休み中の電源を切ることをなお一層徹底する。		

課名	ケア・リハビリセンター	施策の評価	3
施策の進捗状況	施設内の白球電球を徐々にLEDに交換しています。		
コメント	白球電球が切れた所からLEDに交換しているが、予算の範囲内しか交換ができません。		
施策展開上の課題	予算上の問題により施設内の白球電球を一括にLEDに交換することができません。		

課名	児童家庭課	施策の評価	4
施策の進捗状況	特になし。		
コメント			
施策展開上の課題	予算等の問題から省エネ設備の導入を早急に推進していくことは困難であるが、夏季の節電など身の回りで可能なことから実施していく。		

課名	保育課	施策の評価	2
施策の進捗状況	保育園における設備改修等において、省エネルギーに配慮した製品の導入を心掛けた。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	保育施設整備課	施策の評価	1
施策の進捗状況	中央・三山・湊町・習志野台第一保育園の建て替えにあたり、省エネルギー型の空調設備（ガスヒートポンプ、全熱交換器等）を導入した。		
コメント	保育園の建て替えにあたっては省エネ設備の導入を検討している。		
施策展開上の課題			

課名	児童育成課	施策の評価	3
施策の進捗状況	順次普及推進を行っている。		
コメント	今後新しく設備・機器を購入する際に導入し、省エネを推進していく。		
施策展開上の課題			

課名	療育支援課	施策の評価	4
施策の進捗状況	24年度については、導入実績なし。		
コメント	24年度については、導入機会なし。		
施策展開上の課題	新規設置、更新の機会があれば、予算の範囲内で省エネルギー設備・機器を検討する。		

課名	環境保全課	施策の評価	2
施策の進捗状況	中央卸売市場および農業センターにおいて空調設備の改修を実施し、年間23,023kWhのエネルギー削減効果が得られている。		
コメント	設備更新時には適宜指導を行っている。		
施策展開上の課題			

課名	クリーン推進課（ごみ処理施設整備室）	施策の評価	1
施策の進捗状況	西浦資源リサイクル施設整備において、排風機モーターのインバータ制御、誘導灯や制御盤表示灯にLEDを採用。トップライトの採用、トイレに自動感知装置の採用等。		
コメント	計画通り整備した。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	産業廃棄物課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	環境衛生課	施策の評価	2
施策の進捗状況	「西浦処理場」 ・ソーラーシステムを採用し、玄関ホールの模型照明に使用している。 ・雨水の再利用システムの採用。 ・空調入替工事で省エネタイプの空調機を採用する。 ・既設の蛍光灯を順次LED蛍光灯に取り替える。		
コメント	ソーラーシステム、雨水の再利用システムは、建設時に設置している。		
施策展開上の課題	省エネ機器、LED照明は今後も採用する。		

第2章第4節2 低炭素社会の形成（施策 174）

課名	北部清掃工場	施策の評価	2
施策の進捗状況	公共施設において、省エネ設備・機器の導入を推進します。		
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明設備を間引き点灯実施。</li> <li>・不良になった機器について、省エネ設備を一部取り入れた。（プラットホーム照明器具）</li> </ul>		
施策展開上の課題	省エネ機器を取り入れることを考えなければならないが、当工場は平成 28 年度末で閉鎖となることから、現在の機器をできるだけ長く使用する。		

課名	南部清掃工場	施策の評価	1
施策の進捗状況	照明器具の間引き、及びセンサーライト等の交換、タイマーによる消灯、節水コマの使用などを取り入れている。ただし、施設の稼動が平成31年度までとなっているので新たにということは難しい。		
コメント			
施策展開上の課題	施設の延命化が平成31年度までと決定している中で、新設備、機器の新たな導入が難しい。		

課名	清掃センター	施策の評価	2
施策の進捗状況	平成 23 年 7 月に清掃センター施設の空調機をガスエンジン式空冷ヒートポンプ方式に切り替え、省エネ機器の導入の推進を図った。		
コメント	機器に切り替えたことから、省エネルギーの推進する上で効果が期待できるものと考えている。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	商工振興課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	消費生活課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	農水産課	施策の評価	3
施策の進捗状況	省エネタイプのエアコン2台を導入。		
コメント	省エネ設備の導入予定は今後はまだなく、機器についても予算の関係で具体的な予定はない。		
施策展開上の課題	各課予算計上ではなく、市全体で予算を一括計上できれば導入が早いとおもわれる。		

課名	（中央卸売市場）管理課	施策の評価	1
施策の進捗状況	冷蔵庫棟他照明設備改修工事により、冷蔵庫棟内の照明全て省エネタイプに改修した。		
コメント			
施策展開上の課題			



課名	(中央卸売市場) 業務課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	都市総務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	平成24年度は省エネルギー設備・機器への入替等は実施していない		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	技術管理課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	都市計画課(まちづくり支援室、交通政策室)	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	都市整備課	施策の評価	4
施策の進捗状況	設備、機器の導入実績なし。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	公園緑地課	施策の評価	3
施策の進捗状況	平成24年度は未実施		
コメント	公園照明に適した省エネ設備がない。そのため従来の水銀灯にて施行しました。		
施策展開上の課題	LED 灯は光の拡散性に難があり、公園に適していない場合がある。また、初期コストが高く、種類が多くない。		

課名	飯山満土地区画整理事務所	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコ商品の購入		
コメント			
施策展開上の課題			

第2章第4節2 低炭素社会の形成（施策 174）

課名	道路管理課(道路安全推進室)	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	道路建設課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	街路課	施策の評価	
施策の進捗状況	街路灯について、LED灯具を設置し、消費電力の低減に努めた。 LED街路灯設置 5基		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	下水道総務課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	下水道河川計画課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	下水道建設課	施策の評価	2
施策の進捗状況	システムの更新にあたっては省エネに配慮した機器を導入した。		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	下水道施設課	施策の評価	2
施策の進捗状況	プラント設備に対しては高効率型機器を導入し、汎用設備に対しては修繕時に省エネ対象設備を随時導入している。		
コメント			
施策展開上の課題	特になし		

課名	下水道河川管理課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	河川整備課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	建築指導課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	建築課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	公共建築物保全課	施策の評価	2
施策の進捗状況	建物及びその設備の改修や更新の相談があった場合、省エネになる方法をアドバイスする。		
コメント	最新の材料や機器を使用し改修することで省エネになることを、積極的に行うようにしている。		
施策展開上の課題	アドバイスは出来るが、最終的には設計担当課にて方法を決めてもらうことになる。		

課名	宅地課	施策の評価	1
施策の進捗状況	湯沸しポット等、省エネ機器への買換え。		
コメント	特になし		
施策展開上の課題	特になし		

課名	住宅政策課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

第2章第4節2 低炭素社会の形成（施策 174）

課名	（消防局）総務課	施策の評価	3
施策の進捗状況	一部の施設に省エネ設備・機器を導入した。		
コメント	計画的に省エネ設備・機器の導入を進める必要がある。		
施策展開上の課題	予算上の制約があるため、多くの設備・機器を更新することは難しい。		

課名	（消防局）予防課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	（消防局）警防課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	（消防局）救急課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	（消防局）指令課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	中央消防署	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	東消防署	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	北消防署	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	会計課	施策の評価	2
施策の進捗状況	不要な照明の消灯。使用していないOA機器の電源をこまめに消す。		
コメント	各職員が不要な照明はこまめに消し、OA機器は使用していない時は電源をこまめに消すよう努めている。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	(病院局)経営企画室	施策の評価	2
施策の進捗状況	1. 吸収式冷温水発生機(1台)の更新及び冷温水・冷却水ポンプ(3台)のINV化 2. 空冷スクリーチャーおよびブラインチャーの更新		
コメント	中長期的な設備・機器の保全・更新計画を策定し、施行の際には、より高効率な機器を選定することで、省エネを図っている。		
施策展開上の課題	上記1～3は、予算措置を伴うことから、今後、必ずしも計画通りに推進できない場合があり得る。		

課名	教育総務課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	財務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	ブラインド、カーテン等を利用して空調効率を高めた。使用済み用紙の裏面使用を図った。		
コメント	施策は概ね順調に進んでいる。		
施策展開上の課題	特になし		

課名	施設課	施策の評価	2
施策の進捗状況	試行的に学校照明器具の一部にLEDライトを設置した。		
コメント			
施策展開上の課題	LEDライトは、メーカーによる性能の違いがあるため、JIS規格の統一が必要である。		

課名	学務課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

第2章第4節2 低炭素社会の形成（施策 174）

課名	指導課	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコオフィスプラン実行プログラムに基づき、節減に意識的に取り組んでいる		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	保健体育課（児童・生徒防犯安全対策室）	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	総合教育センター	施策の評価	3
施策の進捗状況	エネルギー不足であることを常に念頭におき、光熱水費、空調機器などの節減に努める。		
コメント	不必要な照明の消灯に努力した。		
施策展開上の課題	建物が大きく広いため照明消費量が高い。施設設備の老朽化が目立つ。		

課名	社会教育課	施策の評価	2
施策の進捗状況	各施設によるエネルギー使用量の節減を実施した 平成 24 年 4 月 29 日に移転オープンした法典公民館に太陽光発電システム設置（10kwh）及び、開閉窓について、二重窓を設置		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	文化課	施策の評価	4
施策の進捗状況	未実施		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	青少年課	施策の評価	4
施策の進捗状況	未実施		
コメント	青少年キャンプ場に関して、平成 25 年度に電灯の一部を省エネ型へ変更する。		
施策展開上の課題	予算の関係もあり、大規模な導入は難しい。		

課名	生涯スポーツ課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	中央公民館	施策の評価	4
施策の進捗状況	省エネのために照明のLED化などを推進したいと考えているが、平成24年度中は予算等の関係から改修等はおこなっていない。		
コメント	平成27～28年度に講堂客席天井法令適合対策改修工事に併せて照明設備をLED化するための予算要求を行っている。		
施策展開上の課題	設備改修工事概算要求額が推計で約1億円を超える高額のため予算配当されるかどうかにより計画の是非が決まる。		

課名	東部公民館	施策の評価	4
施策の進捗状況	実施実績なし。		
コメント	実施実績なし。		
施策展開上の課題	機器の更新や設置時に省エネルギー設備・機器の導入を考える必要がある。		

課名	西部公民館	施策の評価	2
施策の進捗状況	平成20年建替え開館にあたり吸収式冷温水器、冷却塔設備、空冷ヒートポンプ設備、全熱交換機設備、省エネ型の照明設備等の導入より適切な管理に努めている。		
コメント	設備の訂正管理・点検を継続して行く。		
施策展開上の課題	設備の経年変化や劣化等の早期発見や対応。		

課名	北部公民館	施策の評価	4
施策の進捗状況	24年度導入実績なし。		
コメント	24年度導入実績なし。		
施策展開上の課題	機器の更新・設置時に、省エネルギー設備・機器を検討する。		

課名	高根台公民館	施策の評価	2
施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15%の節電に努めた。</li> <li>・湯沸かし器の使用を控えた。</li> </ul>		
コメント	公民館運営に支障が無い様に、節電する箇所や時間帯等に工夫をした。		
施策展開上の課題	利用者から、もっと館内を明るくしてほしいとの要望が多かったため、その要望に応えながら、今後も省エネに可能な限り力を入れていく必要があると思う。		

課名	中央図書館	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	市民文化ホール	施策の評価	3
施策の進捗状況	省エネのためにLED照明設備の部分的導入は行っているものの、大規模なLED照明設備改修は文化ホール、文化創造館共に今まで行われていない。		
コメント	現在、文化創造館ロビー等照明のLEDランプ化の為に予算要求を行っている。また、文化ホールのロビー等については、ホール天井法令適合化工事の対象となることから、改修工事の際、予算要求を行う。		
施策展開上の課題	特になし		

第2章第4節2 低炭素社会の形成（施策 174）

課名	郷土資料館	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	青少年センター	施策の評価	2
施策の進捗状況	照明や空調機器等の節電に努める		
コメント			
施策展開上の課題	施設、設備等の老朽化		

課名	選挙管理委員会事務局	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	監査委員事務局	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	農業委員会事務局	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			

課名	庶務課	施策の評価	2
施策の進捗状況	エコ商品の購入（文具類など）		
コメント	特になし		
施策展開上の課題	特になし		

課名	議事課	施策の評価	
施策の進捗状況	該当なし		
コメント			
施策展開上の課題			



## ○省エネルギー型の建築物の普及推進

個別事業	エネルギーの使用の合理化に関する法律による届出が必要な建築物に対して指導・助言を行います。 175
施策の実施、進捗状況	船橋市内で建築される延べ面積 300 m <sup>2</sup> 以上の全ての建物に対して、エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）第75条および第75条の2の届出が必要であることを連絡し、届出を促しています。
施策の評価	2
コメント	連絡後はおおむね届出がなされています。
施策展開上の課題	住宅において現行省エネ法適合である「住宅の品質確保の促進等に関する法律」等級4の割合が低く、多くは不適合ではあるが著しく不十分であるとはみなされない等級3である。
施策担当課	建築指導課

## 【Ⅱ 新エネルギー等の導入の推進】

## ○地域特性を生かした新エネルギー等の導入の推進

個別事業	家庭での太陽エネルギーを利用した設備の設置を推進します。 176
施策の実施、進捗状況	住宅用太陽光発電システム設置促進事業補助金を平成 21 年 10 月から行っており、平成 24 年度は 482 件、1,910kW に交付している。
施策の評価	2
コメント	補助金制度については、広報ひなばし等で周知をしている。
施策展開上の課題	予算に上限があるため、予算を超えた場合は抽選を行っている。
施策担当課	環境保全課

個別事業	公共施設（公民館等）への太陽エネルギーを利用した設備の導入を推進します。 177
施策の実施、進捗状況	平成 24 年 4 月 29 日に移転オープンした法典公民館に太陽光発電システム設置（10kwh）
施策の評価	2
コメント	特になし
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	社会教育課

個別事業	小中学校においては、太陽エネルギーを利用した設備を試行的に設置します。 178
施策の実施、進捗状況	H27年度までに13校設置予定。すでに9校（特別支援学校含む）の設置が完了した。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	補助金の活用が前提となってくる。
施策担当課	施設課

個別事業	廃棄物処理施設における発電や余熱の温水利用等の有効利用を継続・強化します。 179
施策の実施、進捗状況	①ごみを焼却して発生した熱は、ボイラーにより回収され場内の暖房、給湯に利用したり、蒸気タービン発電機により場内利用されている。また、余剰電力は売電している。 ②年間の発電可能電力の97%以上発電することを目標として取り組んだ。
施策の評価	①2 ②1
コメント	②設備の故障により、目標達成不可能かと考えられた期間もあったが、その後の安定運転の確保により目標達を成できた。
施策展開上の課題	①老朽化している施設なので、延命のための維持管理は必要。 ②発電設備が稼働後30年以上経過しているので、故障等で設備が停止しないよう維持管理に注意を怠らないようにする。
施策担当課	①南部清掃工場 ②北部清掃工場

○温室効果ガスの排出量の少ないエネルギーへの転換等

個別事業	生産用の機械やボイラーなどの設備機器において、温室効果ガスの排出の少ないエネルギーへの転換を促進します。 180
施策の実施、進捗状況	エコオフィスプラン推進委員会を踏まえ、エネルギー消費量の多い下水処理場や清掃工場等の施設において、再エネ設備や省エネ設備の導入を働きかけている。
施策の評価	2
コメント	設備更新時に適宜指導している。
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	バイオマス燃料や燃料電池など次世代エネルギーの導入・利用促進に向けて検討を行います。 181
施策の実施、進捗状況	①エコオフィスプラン推進委員会を踏まえ、エネルギー消費量の多い下水処理場や清掃工場等の施設において、再エネ設備や省エネ設備の導入を働きかけている。 ②可燃ごみや粗大ごみとして排出され、焼却処理されているバイオマスの利活用を目的として、有効な活用について調査・研究を進めている。 ③未実施である。
施策の評価	①2 ②3 ③4
コメント	①平成25年度は、リチウム蓄電池の設置費の一部補助を実施している。 ③なし剪定枝の処理方法の確立（なし剪定枝処理事業）など、適正な処理の推進に力を注いでいる状況であり、バイオマス燃料の検討は行っていない。
施策展開上の課題	①市民への次世代エネルギーの周知。 ②バイオマス資源の有効利用は、利用先の確保や分別収集への協力などにも課題が多い為、本市のような都市域での取組事例は少ない状況である。 ③特になし
施策担当課	①環境保全課 ②クリーン推進課 ③農水産課

### ○理解と意識高揚、情報提供等の推進

個別事業	出前講座や環境フェアでの展示などにより、新エネルギー等の普及に向けた市民、事業者の理解と意識高揚に努めます。 182
施策の実施、進捗状況	船橋市地球温暖化防止活動推進員の派遣により、平成24年度は6回実施し、市民が身近にできる地球温暖化対策について啓発を行った。
施策の評価	2
コメント	公民館や自治会、町会の依頼により出前講座を実施した。
施策展開上の課題	依頼により派遣をしているため、年度ごとの実施回数の変動がみられる。
施策担当課	環境保全課

個別事業	学校での環境教育や公民館での環境講座などにより、幅広い世代に新エネルギー等の重要性に対する理解と意識の高揚を図ります。 183
施策の実施、進捗状況	船橋市地球温暖化防止活動推進員の派遣により、平成24年度は6回実施し、市民が身近にできる地球温暖化対策について啓発を行った。
施策の評価	2
コメント	公民館や自治会、町会の依頼により出前講座を実施した。
施策展開上の課題	依頼により派遣をしているため、年度ごとの実施回数の変動がみられる。
施策担当課	環境保全課

### 3 循環型社会の形成

#### 【進行管理指標の状況と評価】

表16 循環型社会の形成

進行管理指標	基準 ★1 (平成17年度)	現 状 (平成24年度)	数値目標	
			中間年度 (平成28年度)	目標年度 (平成33年度)
ごみ発生量	247,223t	212,029t	214,000t	214,000t
ごみのリサイクル率	21.2%	23.6%	23.0%	25.0%
最終処分量	14,335t/年	5,998t/年	10,800t/年	10,000t/年

★1 本表の基準値は、本計画策定時における一般廃棄物処理基本計画（平成18年度策定）の値です。

#### 【I ごみの排出抑制、資源化の推進】

##### ○ごみの排出抑制

個別事業	大規模事業者（事業用大規模建築物の所有者等）に対して、廃棄物の減量等計画書の作成及び廃棄物管理責任者の選任を徹底させます。184
施策の実施、進捗状況	事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を求め、一部事業所については立入調査を実施した。
施策の評価	2
コメント	引き続き継続する。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	事業者に対して、ごみの減量・資源化及び適正な処理に関する指導を推進します。 185
施策の実施、進捗状況	ごみの収集契約の無い市内事業者（約8500件）に対し、事業系ごみの適正処理に関する通知を送付した。
施策の評価	2
コメント	より一層のごみ処理の適正化を図る。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	環境フェア、生き生き展などのイベントにおいて、ごみの減量と資源化の推進を呼びかけます。 186
施策の実施、進捗状況	環境フェア、生き生き展に参加し、ごみ減量、リサイクル意識の啓発を促進した。
施策の評価	2
コメント	より一層のごみ処理の適正化を図る。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	3R（リデュース、リユース、リサイクル）の普及を推進します。 187
施策の実施、進捗状況	H24.10からペットボトルのごみステーション収集を実施し、分別収集をより一層推進した。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	リサイクルについて、「リサイクル率25%以上（数値目標）を達成できておらず、雑紙の分別の徹底が困難な状況である。
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	簡易包装の取り組みやマイバッグ持参運動を推進します。 188
施策の実施、進捗状況	レジ袋削減ステッカーを作成し、JUUきたならの商店街に配布し、レジ袋削減を呼びかけた。
施策の評価	3
コメント	より一層推進する。
施策展開上の課題	多くの事業者に直接働きかけることは、困難である。
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	生ごみの水切りをする、詰め替え商品を選ぶなど、日常の生活の中で実践できるごみ減量の行動をパンフレットや自治会での説明会を活用して、理解・協力を図ります。 189
施策の実施、進捗状況	地区説明会等において施策を実施している。
施策の評価	3
コメント	より一層の拡充を図る。
施策展開上の課題	施策は実施しているが、市民全体に広げていくことは困難である。
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	船橋市廃棄物減量等推進員（クリーン船橋 530 推進員）の委嘱により、ごみの減量と資源化のシステムづくりを市民参加型で推進します。 190
施策の実施、進捗状況	第10期船橋市廃棄物減量等推進員として、597名を委嘱し、市民参加型のごみ減量、リサイクルシステムを推進した。
施策の評価	2
コメント	より一層の推進を図る。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	ごみ処理手数料について、原価を見直すことで、適正な価格設定を行います。 191
施策の実施、進捗状況	特に施策の実施はしていないが、毎年度、廃棄物の処理経費を算出し、現行の手数料との比較を行っている。
施策の評価	2
コメント	年度毎の経費比較を行うことにより、きめ細かな手数料の見直しが可能となる。
施策展開上の課題	中間処理・焼却施設の建設が続き、経費の増減が発生、適正な処理経費の算定が困難な状況にある。
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	家庭系ごみの有料化については、ごみ減量効果及び実施手法について、調査・研究を進めていきます。 192
施策の実施、進捗状況	ごみの減量効果、実施手法及び導入の是非等について、検討している。
施策の評価	3
コメント	ごみの減量効果、実施手法の検討が不十分である。
施策展開上の課題	ごみ量が減っているのに、家庭系ごみを有料化することに対し、市民の理解が得られるか懸念される。
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	事業者に対して、事業所内での分別徹底を指導します。 193
施策の実施、進捗状況	施策番号185のほか、ごみの処理方法に問題がある事業所については、個別に立入調査等を実施した。
施策の評価	2
コメント	より一層のごみ処理の適正化を図る。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課

### ○資源化の推進

個別事業	現在の可燃ごみ週3日制のうち、1日を新たな資源物の収集にあてることを検討します。 194
施策の実施、進捗状況	プラスチック容器包装の分別収集について、実施に向けた調査・検討を行ってきたが、リサイクルを重視した方針の検討や費用対効果の面からも最適な融合点を見つける検討をしている。
施策の評価	3
コメント	市民との議論ができていない。
施策展開上の課題	プラスチック製容器包装のリサイクルは、費用対効果から実施が困難な状況である。
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	資源物の分別徹底の周知を図ります。 195
施策の実施、進捗状況	地域のごみ出し説明会や有価物連絡会に参加し周知を図った。また、ごみ出しかレンダーや啓発チラシにて周知を図った。
施策の評価	2
コメント	より一層の充実を図る
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	市民団体などによる自発的な有価物・資源物の回収を推進するとともに、より効果的な回収のあり方について検討します。 196
施策の実施、進捗状況	施策番号195のほか、より効果的な回収のあり方について、関係団体等と協議を進める。
施策の評価	3
コメント	検討を重ねていく。
施策展開上の課題	回収方法の見直しについては、十分に検討する必要がある。
施策担当課	クリーン推進課



個別事業	本市における資源物の収集量や再利用状況などについて情報の提供に努め、市民の意識の向上を図ります。 197
施策の実施、進捗状況	本市における資源物の収集量や再利用状況などについて、「船橋市のごみ事情」を市ホームページに掲載するほか、説明会等で配布している。
施策の評価	2
コメント	より一層の拡充を図る。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	生ごみ処理機（生ごみ処理容器、電気式生ごみ処理機）購入費助成制度について、ごみの減量と資源化の効果を検証し、より効果的な制度となるよう検討します。 198
施策の実施、進捗状況	申請状況や近隣市との状況を比較し、制度の見直しを行う。
施策の評価	2
コメント	検討を行った結果、電気式生ごみ処理機については、平成25年度をもって廃止とする。
施策展開上の課題	生ごみ処理容器の助成についてPRを充実していく必要がある。
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	市内の廃棄物処理施設の見学などを通じたごみの減量・資源化意識の向上に努めます。 199
施策の実施、進捗状況	ごみ減量啓発バスを運行し、ごみの減量・資源化意識の向上に努めた。
施策の評価	1
コメント	より一層の充実を図る。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	フリーマーケット、バザーなどのごみの減量・資源化活動への支援に努めます。 200
施策の実施、進捗状況	小学校PTA等が主催するごみの減量・資源化活動の支援を行い、併せてごみの減量啓発を実施した。
施策の評価	2
コメント	より一層の充実を図る。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課



個別事業	事業系一般廃棄物の資源化の取り組みを事業者や関係団体に指導します。 201
施策の実施、進捗状況	施策番号184番における立入調査時に、資源化の促進について協力を促した。
施策の評価	2
コメント	より一層の充実を図る。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	事業系の食品廃棄物等の資源化を推進します。 202
施策の実施、進捗状況	事業系ごみ調査時において、積極的に情報提供や啓発を行い、さらに、保健所や食品関連団体と連携した広報活動をしていくことで、食品廃棄物等の資源化を図っている。
施策の評価	3
コメント	施策の実施による資源化の推進は見られていない。
施策展開上の課題	資源化より焼却の方が経費が安い。
施策担当課	クリーン推進課

個別事業	清掃工場の建替えに際しては、灰の無害化、減容化、資源化と最終処分量の削減を推進します。 203
施策の実施、進捗状況	灰の減容化については灰溶融施設を建設しないことにしたため不可能となった。
施策の評価	4
コメント	灰の減容化については、灰の資源化を行っている民間施設への灰の搬入の増加を図るべく、さらに検討していく。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	クリーン推進課

## 【Ⅱ 産業廃棄物の減量・資源化、適正処理】

### ○産業廃棄物の減量化・資源化、適正処理

個別事業	産業廃棄物の減量化や資源化、適正処理に関する講習会等の開催により、産業廃棄物の減量・資源化、適正処理の推進に努めます。 204
施策の実施、進捗状況	千葉県、千葉市、柏市と共催により「産業廃棄物処理業者指導事業（処理業者セミナー）」を年2回実施し、産業廃棄物の適正処理の推進を図った。
施策の評価	2
コメント	今後も関係県・市と連携を図りながら、産業廃棄物の減量化・資源化、及び適正処理に向けた啓発活動を継続していく。
施策展開上の課題	
施策担当課	産業廃棄物課

第2章第4節3 循環型社会の形成

個別事業	産業廃棄物排出事業者や処理業者への立入検査などにより、産業廃棄物の適正処理の指導を行います。 205
施策の実施、進捗状況	産業廃棄物排出事業者や処理業者の施設への立入検査を定期的に行うことにより、適正処理の指導を行った。
施策の評価	2
コメント	今後も産業廃棄物の減量化・資源化、及び適正処理に向けた指導を継続していく。
施策展開上の課題	
施策担当課	産業廃棄物課

個別事業	産業廃棄物の多量排出事業者に対し、産業廃棄物の減量化・資源化及び適正処理の推進を指導します。 206
施策の実施、進捗状況	前年度の産業廃棄物の排出量1,000t以上、又は特別管理産業廃棄物の排出量50t以上の事業者から産業廃棄物処理計画書、及び産業廃棄物処理計画実施状況報告書を提出させることにより、産業廃棄物の減量化・再資源化、及び適正処理に関して指導を行った。
施策の評価	2
コメント	今後も産業廃棄物の減量化・資源化、及び適正処理に向けた指導を継続していく。
施策展開上の課題	
施策担当課	産業廃棄物課

個別事業	産業廃棄物処理業者に対し、処理実績報告書の提出を求め、産業廃棄物の処理・処分の状況を把握します。 207
施策の実施、進捗状況	市内の産業廃棄物処分業者より前年度の処理実績報告書をさせ、処理状況の把握を行った。
施策の評価	2
コメント	今後も産業廃棄物の減量化・資源化、及び適正処理に向けた指導を継続していく。
施策展開上の課題	
施策担当課	産業廃棄物課

## 第5節 協働による環境保全への取り組み

環境保全の取り組みを進めるためには、一人ひとりが様々な環境問題に対して理解を深め、市民、事業者、市のすべての関係者が適正な役割分担のもとで相互に協力・連携し、自主的かつ積極的な取り組みへの参加を図ることが必要です。

本計画では、市民や事業者の環境保全への取り組みが促進されるよう、環境学習や環境教育を推進し、日常生活や事業活動、地域活動などのあらゆる場面において環境に配慮した行動を自発的に行うことのできる人を育成するとともに、市民、事業者、市が協働して環境の保全に取り組むことのできる人づくりやしくみづくりを進めることにより、恵み豊かな環境を市民、事業者、市等でつくり、未来へつなげていくものとしています。

### 1 環境学習・環境教育の推進

#### 【進行管理指標の状況と評価】

表17 環境学習・環境教育の推進

進行管理指標	基準	現状 (平成22～24 年度の平均)	数値目標	
			中間年度 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
環境に関する講座の参加延人数 ★1	2,212 人 ★2	1,718 人	2,300 人以上（毎年度）	
環境フェア来場者数	4,766 人 ★3	4,600 人	4,800 人（毎年度）	

★1 環境に関する講座の具体的内容

- ・環境に関する出前講座、訪問学習、環境学習講座
- ・公民館で実施する環境に関する講座

★2 環境に関する講座の参加延人数は、年度ごとに変動が大きいため、基準値は平成19～21年度の平均としております。

★3 環境フェア来場者数は、年度ごとに変動が大きいため、基準値は平成20～22年度の平均としております。

【I あらゆる場での環境教育の推進】

○自然とふれあう機会の創出

個別事業	自然観察会や生き物調査など、自然に関する学習の機会を充実します。 208
施策の実施、進捗状況	①毎年、運動公園、アンデルセン公園、行田公園を会場にセミの抜けがら調査を行い、自然とふれあう機会を設けている。 ②別表1、2参照（P139、P140）
施策の評価	①2 ②2
コメント	①定員を超える応募があり、事業に対する関心が高い。 ②特になし
施策展開上の課題	①・多数の市民が集まる場合には、安全面での配慮が欠かせない。 ・屋外での活動中は、熱中症など健康面での安全配慮も欠かせない。 ②公民館での実施事業により、現代的課題や地域住民のニーズに左右される。
施策担当課	①環境保全課 ②社会教育課

個別事業	自然散策会など、自然の中で行うレクリエーションの機会を充実します。 209
施策の実施、進捗状況	①自然散策マップは作成後10年以上が経過し、現状とそぐわなくなったので配布を中止した。自然観察会も中止している。 自然環境調査を実施したのち、その成果を散策マップとして公表する予定である。 ②別表1、2参照（P139、P140）
施策の評価	①4 ②2
コメント	①自然散策マップをリニューアルし、散策会を実施したい。 ②特になし
施策展開上の課題	①前回の自然散策マップの作成者が高齢化しており、同様の方法で作成することが困難である。 ②公民館での実施事業により、地域住民のニーズに左右される
施策担当課	①環境保全課 ②社会教育課

個別事業	自然にふれあうことのできる場所や施設を広くPRし、利用の推進を図ります。 210
施策の実施、進捗状況	自然散策マップは作成後10年以上が経過し、現状とそぐわなくなったので配布を中止した。自然観察会も中止している。 自然環境調査を実施したのち、その成果を散策マップとして公表する予定である。
施策の評価	4
コメント	自然散策マップをリニューアルし、散策会を実施したい。
施策展開上の課題	前回の自然散策マップの作成者が高齢化しており、同様の方法で作成することが困難である。
施策担当課	環境保全課

個別事業	河川を会場としたイベントを通し、河川環境の保全に向けた意識の向上を図るとともに、親水空間などの環境教育の場の整備について検討します。 211
施策の実施、進捗状況	①ビジュアルボード、秋季イベント、印旛沼流域環境体験フェア等を通して、治水や河川環境への意識啓発を図った。 ②パネル等の展示及び啓発物品の配布を行っている
施策の評価	①1 ②2
コメント	①啓発活動を行っているが、市内で河川を会場としたイベントは行っていない。また、流域によって活動内容にバラツキがある。
施策展開上の課題	①今後は、環境教育の場の整備や河川を会場としたイベントを検討 ②イベント会場への市民の誘導
施策担当課	①下水道河川計画課 ②環境保全課

個別事業	三番瀬については、市民や小中学生などが海や干潟に親しみながら環境学習に取り組める場として利用を図ります。 212
施策の実施、進捗状況	ふなばし環境フェア、三番瀬クリーンアップ、三番瀬生き物さがしを活用し、三番瀬の紹介を行っているが、H23年度はクリーンアップと生き物さがしは大震災の影響により中止した。
施策の評価	3
コメント	環境フェア、環境パネル展で三番瀬の展示を行った。 三番瀬クリーンアップ、三番瀬生き物さがしを再開したい。
施策展開上の課題	海浜公園内に展示スペースを確保するとともに、観察会等での活用が望まれる。
施策担当課	環境保全課

○家庭や学校での環境教育の推進

個別事業	小中学校などにおいて、年齢や学習段階に応じた環境教育の推進を支援します。 213
施策の実施、進捗状況	小中学校においては生活科や理科を中心に、生物の体のづくり、生物と環境とのつながり、環境保全に関すること、循環型社会の形成に関する事など、横断的に学習が進められている。
施策の評価	2
コメント	学習内容については、社会科、理科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などの学習指導要領に則り、各学校の実態、地域性や環境などに応じて実施していることから、2とした。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	指導課

個別事業	小中学生による市役所への訪問学習について支援し、身近な環境問題への意識の高揚を図ります。 214
施策の実施、進捗状況	①小中学校における市役所の訪問学習は、各学校の教育課程の中で要請に応じて進めている。 ②小学生から大学生まで環境問題だけではなく環境の仕事について調べに市役所へ訪れている。調査内容を事前に聴き取り、各担当者が分担して回答・資料の提供を行っている。 ③市内の小中学校に出向き、環境学習の一環として、ごみ収集体験や船橋市のごみ事情を説明した。
施策の評価	①3 ②2 ③1
コメント	①学校から環境問題での市役所訪問の要請がなかった。 ②様々な要望に応えられるよう資料等も準備している。 ③引き続き推進していく。
施策展開上の課題	①市役所への訪問学習では、どのような課がどのような内容で環境学習を実施してもらえるか、状況の確認が必要である。 ②対応者により回答内容に差が生じないよう回答のデータベース化や最新データへの更新が課題である。 ③特になし
施策担当課	①指導課 ②環境保全課 ③クリーン推進課



個別事業	学校や家庭での省エネの推進の呼びかけや環境問題への意識の高揚を図ります。 215
施策の実施、進捗状況	①8月・2月の年2回、広報ふなばしに省エネに関する記事を掲載した。同様に8月・2月の年2回、市役所本庁舎壁面に、省エネに関する懸垂幕の掲示をした。 ②児童生徒向けの地球温暖化対策のパンフレットや、船橋市地球温暖化対策地域協議会が公募し選定したマスコットキャラクター「ふなわりくん」の啓発品を配布し意識付けを図った ③各学校では、小学校4年生の社会科の「住みよい暮らし」の単元で「暮らしと水道」「ごみの処理と利用」という題材で生活環境への取り組みを指導している。また、6年生で地球環境の調べ学習を行い、中学校2年生の社会科、3年生の理科において資源・エネルギーとの関連から省エネについて指導している。
施策の評価	①2 ②2 ③2
コメント	②家庭での省エネの推進の呼びかけや環境問題への意識の高揚が図られた。 ③学習指導要領に準じて各教科等で進めている。
施策展開上の課題	③特になし
施策担当課	①消費生活課 ②環境保全課 ③指導課

個別事業	体験学習を通して、子どもたちの環境への関心を高めます。 216
施策の実施、進捗状況	①三番瀬クリーンアップにおける清掃体験を通して、三番瀬の保全について考える取り組みを進めてきた。平成23年度及び平成24年度は、東日本大震災の影響により中止した。 ②別表1、2参照（P139、140）
施策の評価	①4 ②2
コメント	①三番瀬クリーンアップは、昨年度に引き続き2年連続で中止となったが、平成25年度には再開した。 ②特になし
施策展開上の課題	①屋外イベントは、天候に左右されやすく、開催延期も難しい。 ②公民館での実施事業により、地域住民のニーズに左右される
施策担当課	①環境保全課 ②社会教育課

### ○事業所での環境教育の推進

個別事業	事業者に対して、従業員向けの環境教育を促進します。 217
施策の実施、進捗状況	千葉県環境保全協議会船橋部会の研修において環境保全行動の必要性、環境イベントの説明を行い、従業員も含めた事業所における取組の推進を図っている。
施策の評価	2
コメント	環境基本計画についても説明した。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	環境保全課

個別事業	事業者に対して、環境フェアへの参加・出展を呼びかけます。 218
施策の実施、進捗状況	広報ふなばしや市ホームページだけではなく、千葉県環境保全協議会船橋部会の協力を得て環境フェアへの参加を呼び掛けている。
施策の評価	2
コメント	10事業者が参加した。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	環境保全課

○総合的な環境教育の推進

個別事業	公民館で環境に関する講座を環境団体などと協働で実施したり、公民館、自治会館、集会所で出前講座を開催することなどにより、環境学習の機会を増やします。 219
施策の実施、進捗状況	①様々な団体からの依頼を受け、公民館等を会場に出前講座を開催している。 ②小学校や地域の会合に出向いて、ごみ事情やごみの減量・資源化について説明を行った。 ③別表1、2参照（P139、P140）
施策の評価	①2 ②1 ③2
コメント	①出前講座を6回開催した。テーマはすべて、地球環境問題であった。 ②引き続き推進していく。 ③特になし
施策展開上の課題	①市民（団体）から希望テーマは偏る傾向にある ②特になし ③公民館での実施事業により、現代的課題や地域住民のニーズに左右される
施策担当課	①環境保全課 ②クリーン推進課 ③社会教育課

個別事業	環境フェアを通して、環境保全意識の高揚を図ります。 220
施策の実施、進捗状況	市域内での環境保全行動の促進や環境情報提供等の目的を達成するため参加団体との協働で進めている。平成24年度は約4,100人が入場した。
施策の評価	2
コメント	平成24年度は環境フェアの開催が15回目であることを記念して、2日間開催とし、2日目には3人の講師を招き、生物多様性シンポジウムを行った。
施策展開上の課題	入場者数は天候に左右されやすい。
施策担当課	環境保全課



個別事業	三番瀬の保全など本市の教育施策上有益な行事・イベント、市民向けの環境教育などに対して、支援を行っています。 221
施策の実施、進捗状況	①塚田環境フェア、環境シンポジウム千葉会議、明治大学マンドリンOB 倶楽部チャリティコンサートなどを後援した。 ②NGO 団体等に対する教育委員会の後援承認 「親子で魚文化に触れて、貝殻島探検と三番瀬・東京湾クルージング！」 「御菜浦・三番瀬ふなばし港まつり」
施策の評価	①2 ②2
コメント	①イベントの企画段階から相談に乗っている。内容によっては、主催者に要請し、市の事業の展示を行っている。 ②特になし
施策展開上の課題	①内容により、環境保全に関わらないと判断される場合は他課をあっせんしている。
施策担当課	①環境保全課 ②社会教育課

## 【Ⅱ 環境情報の提供、環境学習の場所・機会の整備】

### ○環境情報の提供

個別事業	市民一人ひとりがよりよい環境づくりに関心を持ち、まちづくりの主体として自主的に行動できるよう、環境情報の提供に努めます。 222
施策の実施、進捗状況	環境フェアなどのイベントだけではなく、広報ふなばし、環境新聞「エコふなばし」、ホームページ、市環境白書など様々な媒体を用いて環境情報を提供している。
施策の評価	2
コメント	ケーブルテレビ、ミニコミ誌などの取材に積極的に応じている。
施策展開上の課題	市民が欲する情報が何かを把握したのち、わかりやすく提供するかが課題である。
施策担当課	環境保全課

個別事業	広報や環境新聞「エコふなばし」、ホームページなどでの環境関連情報の充実を図ります。 223
施策の実施、進捗状況	環境新聞では、アイドリングストップや排水対策、生物多様性など、幅広い内容の記事を掲載した。また、ホームページでは過去の環境新聞についても閲覧可能としている。
施策の評価	2
コメント	環境フェア等のイベントにおいても、情報の提供を行った。
施策展開上の課題	市民が欲する情報が何かを把握したのち、わかりやすく提供するかが課題である。
施策担当課	環境保全課

個別事業	各種の行事の中で、環境関連情報を積極的に提供します。 224
施策の実施、進捗状況	①各地区の環境指導員が地区の会合に参加し情報提供した。また、環境フェアや環境パネル展で省エネの資料を提供した。 ②環境指導員が地区の会合等に参加し、情報提供を行った。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①特になし ②引き続き推進していく。
施策展開上の課題	①時期を得た資料の作成が課題である。 ②特になし
施策担当課	①環境保全課 ②クリーン推進課

○環境学習の場所・機会の整備

個別事業	公共施設における環境学習の開催や各種団体の交流などの多様な活動を行えるよう、場所・機会の整備・充実を検討します。 225
施策の実施、進捗状況	公民館での環境学習講座・イベントの開催について、相談に乗り、後援も行った。
施策の評価	2
コメント	平成24年度は3事業の後援を行った。
施策展開上の課題	環境情報の常設展示や講座の開催が常時行える会場の確保が望まれる。
施策担当課	環境保全課

個別事業	三番瀬海浜公園やアンデルセン公園等を会場とする学習講座の開催などを推進します。 226
施策の実施、進捗状況	アンデルセン公園でのセミの抜け殻調査は実施した。しかし、三番瀬クリーンアップ、三番瀬生き物さがしは大震災の影響で中止した。
施策の評価	2
コメント	三番瀬クリーンアップ、三番瀬生き物さがしは、会場がふなばし三番瀬海浜公園であったので、安全面をかんがみて中止した。
施策展開上の課題	多数の市民が集まる場合には、安全面での配慮が欠かせない。
施策担当課	環境保全課

## 2 環境保全活動の推進

### 【進行管理指標の状況と評価】

表18 環境保全活動の推進

進行管理指標	基準 (平成21年度)	現状 (平成24年度)	数値目標	
			中間年度 (平成27年度)	目標年度 (平成32年度)
こどもエコクラブ登録団体数	8クラブ	4クラブ	増加(毎年度)	
エコアクション21の認証・登録事業者数	10件	16件	増加(毎年度)	

### 【I 一人ひとりの環境保全の取り組みの推進】

#### ○市民の取り組みの推進

個別事業	地域における各種の環境保全活動・ボランティア活動などを推進・支援します。 227
施策の実施、進捗状況	環境フェア及び環境パネル展にて、発表の場の提供を行った。
施策の評価	3
コメント	特になし
施策展開上の課題	紹介スペースの十分な確保が課題である。
施策担当課	環境保全課

個別事業	こどもエコクラブなど子どもたちの環境保全活動を推進・支援します。 228
施策の実施、進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校や、全国事務局とのつなぎ役として各こどもエコクラブにイベントや環境講座を案内している。</li> <li>・環境新聞「エコふなばし」でエコクラブの案内をしている。</li> </ul>
施策の評価	2
コメント	特になし
施策展開上の課題	短期間で終わるクラブが多く、継続性が課題です。
施策担当課	環境保全課

第2章第5節2 環境保全活動の推進

個別事業	市民が自らの手で実行できる環境保全のための活動について、広報やホームページなどによる情報提供を推進します。 229
施策の実施、進捗状況	広報ふなばし、環境新聞「エコふなばし」、ホームページ、市環境白書など様々な媒体を用いて環境情報を提供している。
施策の評価	2
コメント	ケーブルテレビ、ミニコミ誌などの取材に積極的に応じている。
施策展開上の課題	市民が欲する情報が何かを把握したのち、いかにわかりやすく提供するかが課題である。
施策担当課	環境保全課

個別事業	地域における環境保全活動を推進する団体・NPOなどの育成・活性化に努めます。 230
施策の実施、進捗状況	環境団体やNPOなどを育成・活性化するため、次のような事業を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境フェアなどでの発表の場の提供</li> <li>・各種イベントへの後援</li> <li>・環境学習機材の提供や貸出</li> </ul>
施策の評価	2
コメント	各団体からの各種相談にもものっています。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	環境保全課

個別事業	環境保全活動の実施者に対する表彰・顕彰を行い、持続的な活動を促進します。 231
施策の実施、進捗状況	環境フェアの場において、市民団体の活動状況の情報を集めています。参加団体ガイドブックを発行しました。団体の推薦はありませんでした。
施策の評価	1
コメント	ガイドブックは5年に1回発行しています。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	環境保全課

## ○事業者の取り組みの推進

個別事業	自主的な環境保全の取り組みのため、「ISO14001」、「エコアクション21」などの認証取得を推進・支援します。 232
施策の実施、進捗状況	平成24年度の実績はISO14001：2件、エコアクション21：1件（参考）「ISO14001」に対しては平成9年度から、平成21年度からは「エコアクション21」も加え、それぞれ認証取得の経費の一部を支援してきている。当該補助事業の実績として、 平成21年度・ISO14001：1件、エコアクション21：1件 平成22年度・ISO14001：1件、エコアクション21：0件 平成23年度・ISO14001：1件、エコアクション21：0件 平成24年度・ISO14001：2件、エコアクション21：1件
施策の評価	3
コメント	施策の利用実績は上がっていないが、企業に環境への取組みを認識させるため制度を存続させている。
施策展開上の課題	実績は過去4年間でISO14001が5件、エコアクション21が2件、環境への企業の取組みは必要であるが、企業業績が振るわない現状から今後制度の活用が図られるかが課題。
施策担当課	商工振興課

個別事業	環境保全活動の実施者に対する表彰・顕彰を行い、持続的な活動を促進します。 233
施策の実施、進捗状況	環境フェアの場において、市民団体の活動状況の情報を集めています。参加団体ガイドブックを発行しました。団体の推薦はありませんでした。
施策の評価	1
コメント	ガイドブックは5年に1回程度発行しています。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	環境保全課

## ○市の取り組みの推進

個別事業	市民や事業者、学校、各種団体での環境保全の取り組みへの支援を行います。 234
施策の実施、進捗状況	各主体の取組を支援するため、講師の派遣や紹介、啓発資材の提供を行いました。
施策の評価	2
コメント	相談も適宜受け付けています。
施策展開上の課題	各主体が市に要望する内容が何か把握する方法を確立する必要がある。
施策担当課	環境保全課

個別事業	市が発注する事業では、環境に配慮した工法や再生資材の利用などを推進します。 235
施策の実施、進捗状況	エコオフィスプランにおいて進行管理を行ったところ、環境に配慮した工法の導入や建設廃材のリサイクルについて、ほとんどの工事で実施された。
施策の評価	2
コメント	
施策展開上の課題	
施策担当課	環境保全課

個別事業	一人ひとりが環境保全活動に参加しやすくなるよう、千葉県が実施している環境学習指導者養成講座を参考に、地域や団体をまとめるリーダー役の養成研修を検討します。 236
施策の実施、進捗状況	①セミの抜け殻調査において、講師の養成も行っています。また、県の事業に協力し、チラシ等の配布を行いました。 ②該当なし
施策の評価	①2
コメント	①調査終了後に反省会を開催し、レベルアップを図っています。
施策展開上の課題	①講師の高齢化が課題です。
施策担当課	①環境保全課 ②社会教育課

## 【Ⅱ 各種団体等との連携・協力の推進】

### ○人の交流や情報交換による環境保全活動の活発化

個別事業	環境フェアなどへの参加団体どうしの交流を深めます。 237
施策の実施、進捗状況	環境フェアには45団体が参加し、実行委員会方式で運営された。実行委員会、運営委員会、部会等の開催により、参加団体間の交流を深めた。
施策の評価	2
コメント	特になし
施策展開上の課題	役員の固定化、各参加団体の高齢化。
施策担当課	環境保全課

個別事業	市民活動サポートセンターにおいて、市民の環境保全活動などに関する情報の提供、交流の場、作業の場の提供を継続・拡大します。 238
施策の実施、進捗状況	市民活動サポートセンターにおいて、環境保全活動に関する情報を市民に提供するとともに、環境保全活動に取り組む市民活動団体に対して打ち合わせの場所を提供している。
施策の評価	2
コメント	従来どおり施策を実施する
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	市民協働課

個別事業	市民活動サポートセンターにおいて、市が収集した情報を基に、環境保全活動などに興味を持つ市民や団体を繋ぐコーディネート機能を持たせることについて検討します。 239
施策の実施、進捗状況	市民活動サポートセンターにおいて、環境保全活動などに興味を持つ市民に対して、環境保全に取り組む市民活動団体の情報を提供している。
施策の評価	2
コメント	平成24年度から市民活動サポートセンター運営協議会を設置して、市民活動団体を繋ぐ事業を実施している。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	市民協働課

個別事業	商工団体などの業界団体を通して事業者との連携を図り、事業所における環境保全行動を促進します。 240
施策の実施、進捗状況	千葉県環境保全協議会船橋部会の研修において環境保全行動の必要性の説明を行うとともに、情報交換を行っています。また、EA21などの取組を推進しています。
施策の評価	2
コメント	研修は1回開催しました。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	環境保全課

個別事業	環境保全活動などを通じた各種団体、地域間の交流を図り、人の交流や情報交換による環境保全活動の活性化を推進します。 241
施策の実施、進捗状況	環境フェアでの発表の場の提供を行った。また、団体を紹介するため、参加団体ガイドブックを発行した。
施策の評価	2
コメント	特になし
施策展開上の課題	参加団体の固定化が課題です。
施策担当課	環境保全課



個別事業	町内会などの地域社会が健全に機能している地域は、住民の環境保全に対する意識が高く、ごみのリサイクルや地域の環境保全活動も活発に行われていることから、一人ひとりの自発的な環境保全への取り組みを推進するため、地域社会におけるコミュニケーションを図り、地域コミュニティの活性化を推進します。 242
施策の実施、進捗状況	①塚田環境フェアの後援を行いました。また、自主的な取り組みの講師の派遣や啓発資材の提供を行いました。 ②施策番号224のほか、地域の要請に応じて、情報提供やリサイクルに対する啓発を推進した。
施策の評価	①2 ②2
コメント	①活動の輪が広がっています。 ②引き続き推進していく。
施策展開上の課題	①特になし ②特になし
施策担当課	①環境保全課 ②クリーン推進課

個別事業	地球温暖化問題などの広範囲な環境問題の解決に向けて、国や県などと積極的に情報交換をしながら協力体制を形成し、有効な取り組みを推進します。 243
施策の実施、進捗状況	県環境行政連絡協議会研修会等で職員の資質の向上や情報交換を行っています。
施策の評価	2
コメント	温暖化防止に係る県内の取組や最新の知見を入手しています。
施策展開上の課題	特になし
施策担当課	環境保全課



別表1 平成24年度 自然観察会の参加人数

公民館	事業名	内容	人数
中央	ふなばし・ぶらぶら・散歩塾	西船～葛飾川を沿って 成瀬家の史跡等	25 名
		本町・宮本～海老川沿いを歩く	28 名
		谷津～谷津干潟・自然観察センター	21 名
宮本	自然フォト講座	「葛西臨海公園」で自然観察&写真撮影	19 名
飯山満	はさま“いきいき塾”まるごと船橋探検	自然を学ぶ～ふるさと「ハサマ」の散策～	21 名
		初夏の鈴身川周辺を散策	20 名
	はさま自然ウォーク	船橋西部地区の巨木・古木巡り	19 名
丸山	自然をたずねて	いちほら市民の森の自然観察	17 名
塚田	つかだハッピーサタデー	どんぐりウォッチング（森に親しむ）	22 名
	夏休み自然教室	真夏のバスハイク 成田西陵高校（生態館）見学 他	44 名
		セミの抜け殻調査	26 名
	花めぐりウォーキング	花を訪ねながらウォーキング	57 名
北部	自然散策教室	新緑の北部の田園を歩く	17 名
		北部地区の散策	15 名
海老が作	自然観察教室	ユーカーリが丘大谷津の自然を歩く	23 名
小室	北総線の小さな旅	印西牧の原駅より深草の森方面	20 名
		印西日本医大駅より東祥寺方面	20 名
		北国分駅より里見公園方面	18 名
坪井	利用団体交流バス見学会	「紅葉彩る養老溪谷へ」養老溪谷～弘文洞跡ハイキングコース	36 名
高根	子ども自然観察教室	自然観察・昆虫観察	19 名
		ホタル観察会	37 名
自然観察会等の参加延人数（合計）			524 名

## 別表

別表2 平成24年度 環境に関する講座の参加人数

公民館	事業名	内容	人数
中央	夏休みこども教室	「環境落語」体験学習「ソーラーカーでポップコーン作り」他	28名
		「こども環境白書」体験学習「燃料電池」他	26名
		「エネルギーについて」体験学習「いろいろな発電」	16名
	家庭教育セミナー	子どもの未来と地球にやさしいエコ洗剤（エコ洗剤とたわし作り）	52名
海神	女性セミナー	家庭でできるエコライフ（エコ尺を使って）	30名
東部	環境講座「水と地球と私」	水がつなく、生物多様性	49名
		“おいしい水”ってどんな水？～飲料水を調べてみよう～	47名
		水の通り道見学～飲み水から海に帰るまで～	37名
		豊かな水を未来へ～原発事故による放射能流出からその後～	40名
三田	環境講座	紙芝居とクイズ及びゴーヤの定植・ソーラークッカー他	11名
		体験コーナー及びゴーヤの収穫と料理 他	10名
飯山満	はさま“いきいき塾” まるごと船橋探検	環境を学ぶ 鳥たちのくらしウォッチング他	34名
薬円台	ハッピーサタデー推進 事業～子ども環境講座～	地球温暖化の学習、ソーラーでポップコーン作り	24名
法典	子どもエコシリーズ Part 1	エコクイズ大会 食とエネルギーについて	16名
		私たちの使った水はどうなるの？	16名
		リサイクルガラスで工作	13名
	子どもエコシリーズ Part 2	太陽光で走るミニカーを作ろう！	23名
		風力・水力・太陽光→電気のしくみ！ ふなわりくんの缶バッチを作ろう！	18名 23名
二和	ふなばしハッピーサタデー	再生可能エネルギー・地球資源についての講話・発電体験	32名
小室	環境講座	レジ袋削減エコバック推進 古傘地でエコバック作り	5名
		地球温暖化防止策（わかりやすい地球温暖化のお話し）	3名
八木が谷	ふなばしハッピーサタデー	子どもエコ体験・ストップザ地球温暖化講座	31名
三咲	環境講座 地球の未来を 考えるヒントを探る	環境漫談・再生可能エネルギー・地球の鼓動を聞いて	13名
坪井	ふなばしハッピーサタデー	「キッズ・エコ教室」ソーラーミニカーを作ろう！	19名
	夏休み子ども体験教室	科学工作～エコロボットを作ろう～	20名
		粘土でLEDライトを作ろう	20名
		ゴミ処理施設と福祉施設見学	14名
高根台	環境講座	船橋市の植物に見る環境問題	22名
		千葉県・全国各地の植物に見る環境問題	24名
新高根	ふなばしハッピーサタデー	モルディブカレー作り&環境問題の学習 他	16名
環境保全課	環境を考えるⅣ～水のはなし	1回（出前講座）	40名
クリーン推進課	みんなで考えよう「ごみ減らし」	1回（出前講座）	20名
環境に関する講座の参加延人数			792名

## 第3章

### 船橋市環境基本計画の進捗の総合的評価

## 1 進行管理指標の状況と評価

表19には、進行管理指標において基準年度の数値を下回る項目数を示しました。  
平成24年度においては、基準値を下回るものが11項目みられました。

- 「大気環境の保全」、「干潟の保全」については、自然環境の影響を大きく受ける項目で基準値を下回りました。
- 「樹林地・農地の保全」、「自然とふれあう場の確保」については、東日本大震災の影響により基準値を下回る項目がみられたと考えられます。
- 「低炭素社会の形成」では、民間事業者の協力が必要な項目で基準値を下回りました。
- 「地球環境の保全」、「環境学習・環境教育の推進」、「環境保全活動の推進」については、地域住民のニーズや現代的課題に左右されやすい項目が基準値を下回りました。
- 「水環境の保全」における排水規制に係る立入検査実施率の低下については見直しを行った結果、事業場数が増加し相対的に実施率が低下したため基準値を下回りました。

表19 進行管理指標設定項目数及び基準年度の数値を下回る項目数

施策分野	基本施策	進行管理指標 設定項目数	基準年度の数値を 下回る項目数
安全な生活環境の 保全	大気環境の保全	6	0
	水環境の保全	6	1
	身近な生活環境の保全	2	0
		14	1
生物多様性の確保	水辺と緑の保全	1	0
	樹林地・農地の保全	1	1
	干潟の保全	3	2
		5	3
快適な地域環境の 保全	自然とふれあう場の確保	2	1
	良好な生活空間の保全	1	0
		3	1
未来に向けた 地球環境の保全	地球環境の保全	5	2
	低炭素社会の形成	4	1
	循環型社会の形成	3	0
		12	3
協働による環境 保全への取り組み	環境学習・環境教育の推進	2	2
	環境保全活動の推進	2	1
		4	3
合	計	38	11

## 2 個別施策の実施、進捗状況と評価

表 20 には個別施策の進捗状況について、基本施策、施策分野ごとに示しました。

全個別事業のうち192の事業（79.0%）で“目標・課題を達成・解決”または“順調に進んでいる”と評価されています。一方で、51の個別事業（21.0%）で“遅れがみられる”または“未実施”とわかりました。これら“遅れがみられる”、“未実施”の評価の個別事業では、見直しを進めている、計画段階である、東日本大震災による影響が続いているといったコメントがみられました（一部抜粋）。

表 20 施策の進捗状況調査結果

個別事業の数

施策分野	基本施策	施策の評価					合計
		達成・解決	目標・課題を進んでいる	順調にみられる	遅れがみられる	未実施	
		1	2	3	4		
安全な生活環境の保全	大気環境の保全	1	15	0	1	17	
	水環境の保全	0	15	3	1	19	
	身近な生活環境の保全	0	18	2	2	22	
		1	48	5	4	58	
生物多様性の確保	水辺と緑の保全	0	7	3	1	11	
	樹林地・農地の保全	0	11	4	0	15	
	干潟の保全	0	5	3	3	11	
		0	23	10	4	37	
快適な地域環境の保全	自然とふれあう場の確保	1	13	4	2	20	
	良好な生活空間の保全	5	20	3	1	29	
		6	33	7	3	49	
未来に向けた地球環境の保全	地球環境の保全	0	14	2	0	16	
	低炭素社会の形成	0	21	2	0	23	
	循環型社会の形成	1	16	6	1	24	
		1	51	10	1	63	
協働による環境保全への取り組み	環境学習・環境教育の推進	0	12	6	1	19	
	環境保全活動の推進	2	13	2	0	17	
		2	27	6	1	36	
合	計	10	182	38	13	243	

### 3 船橋市環境基本計画の進捗状況の総合的評価

進捗状況を総合的に検討するために、基本施策ごとの評価値の平均及び施策分野ごとの評価値の平均を図2、図3に示しました。

基本施策ごとの評価値の平均（図2）では、干潟の保全に係る施策が他の基本施策と比べて遅れていることがわかりました。また、全体的に評価値が1.8～3を推移しており、順調に進行しているが一部の事業で遅れがみられると考えられます。

施策分野ごとの評価値の平均（図3）をみると、「生物多様性の確保」以外の施策分野については、2.0～2.2の値を示しており、比較的順調に施策が進んでいると考えられます。しかしながら、「生物多様性の確保」については、2.62であり、施策は遅れぎみであると考えられます。これは、「生物多様性の確保」の基本施策である干潟の保全が遅れていることが原因だと思慮されます。

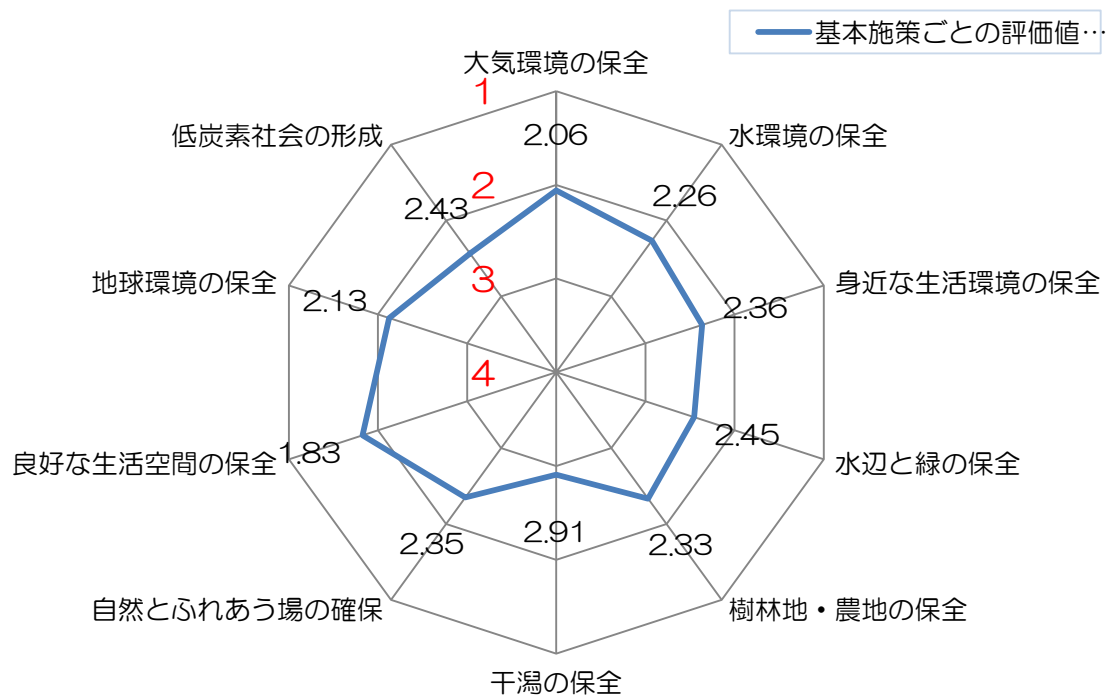


図2 基本施策ごとの評価値の平均

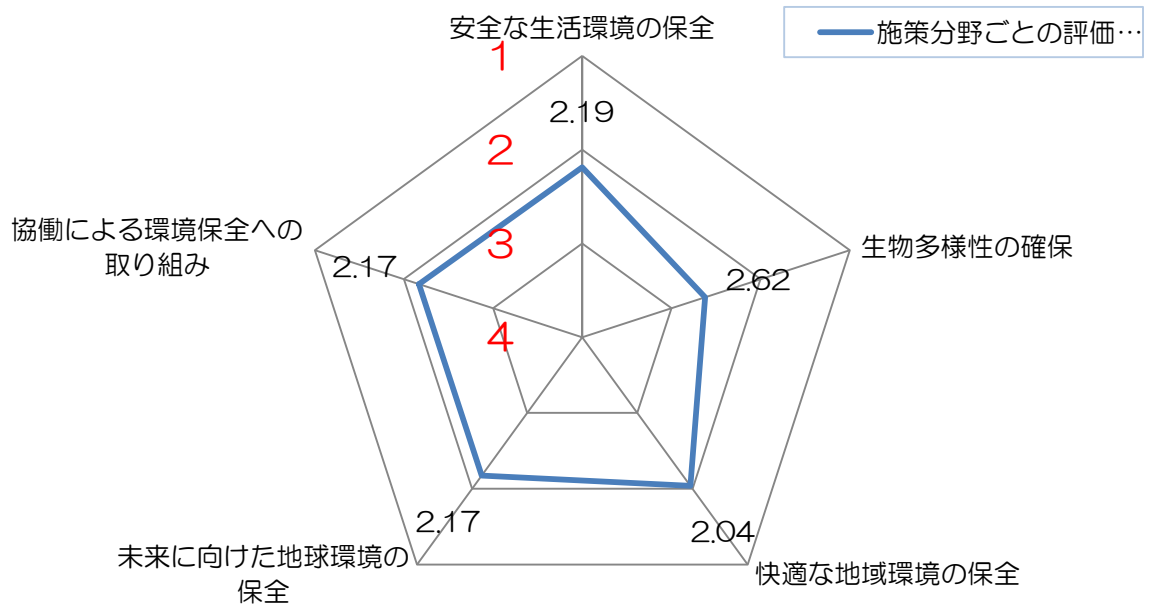


図3 施策分野ごとの評価値の平均

### 資料

1. 船橋市実施計画【計画期間：平成25年度～平成27年度】（船橋市総合計画 ～生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし～）
2. 船橋市環境基本計画
3. 船橋市環境基本計画 概要版